

Azure AD Domain Services と OnTime Group Calendar for Microsoft を 50 分で実装体験してみよう

OnTime Group Calendar Direct Shop
(有限会社アクセル)
代表取締役

岡本 敏弘

IntraVision Aps
CEO & Founder

Jens Overgaard Dinesen



CI63

Azure AD Domain Services と OnTime Group Calendar for Microsoft を 50 分で実装体験してみよう

有限会社アクセル
代表取締役

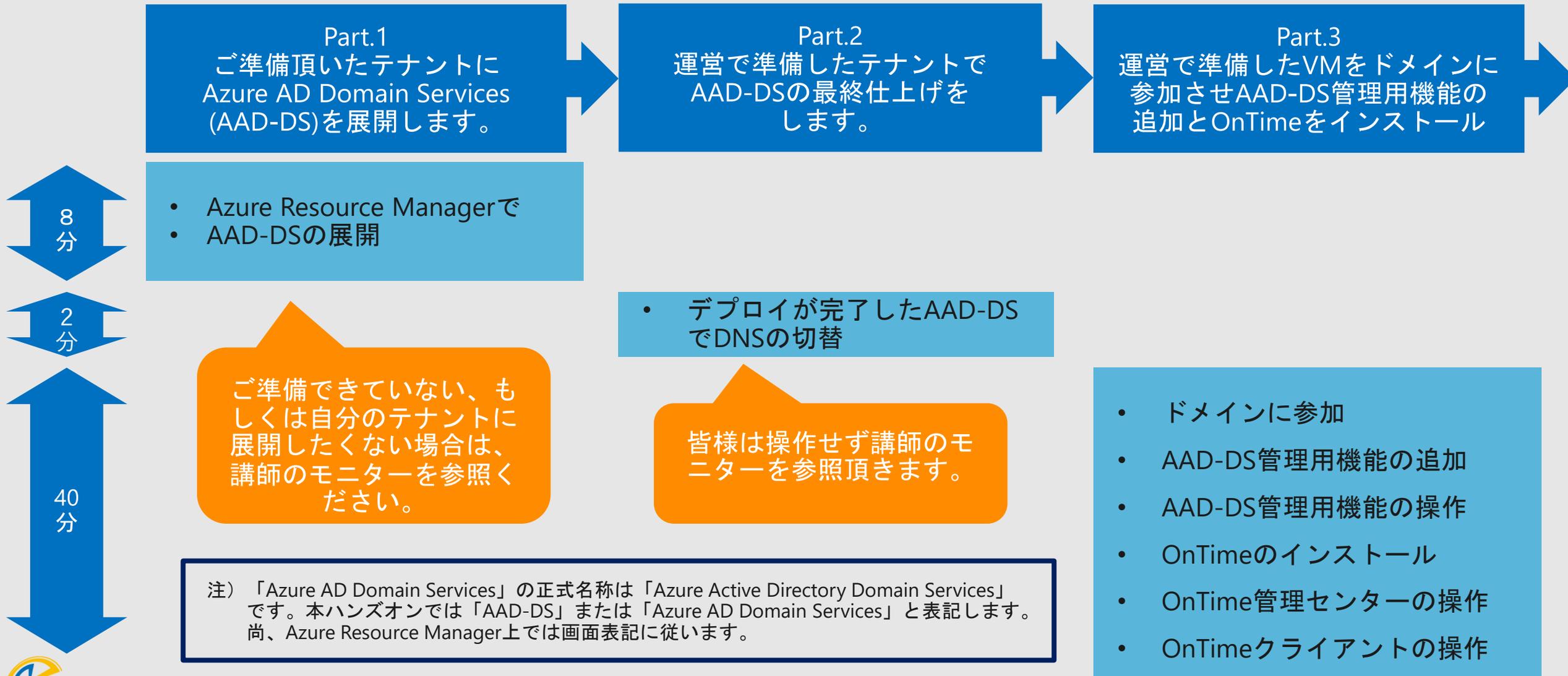
岡本 敏弘

IntraVision Aps
CEO & Founder

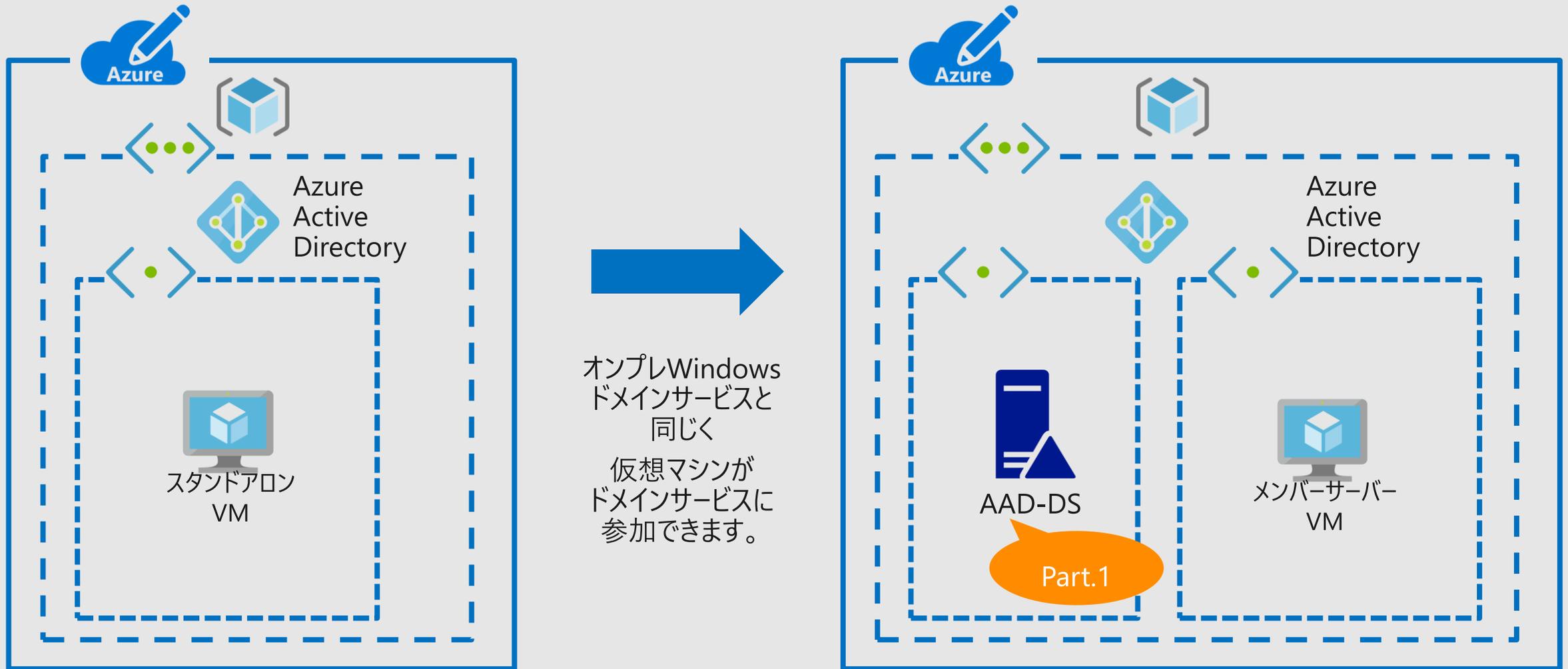
Jens Overgaard Dinesen

ハンズオンのオリエンテーション

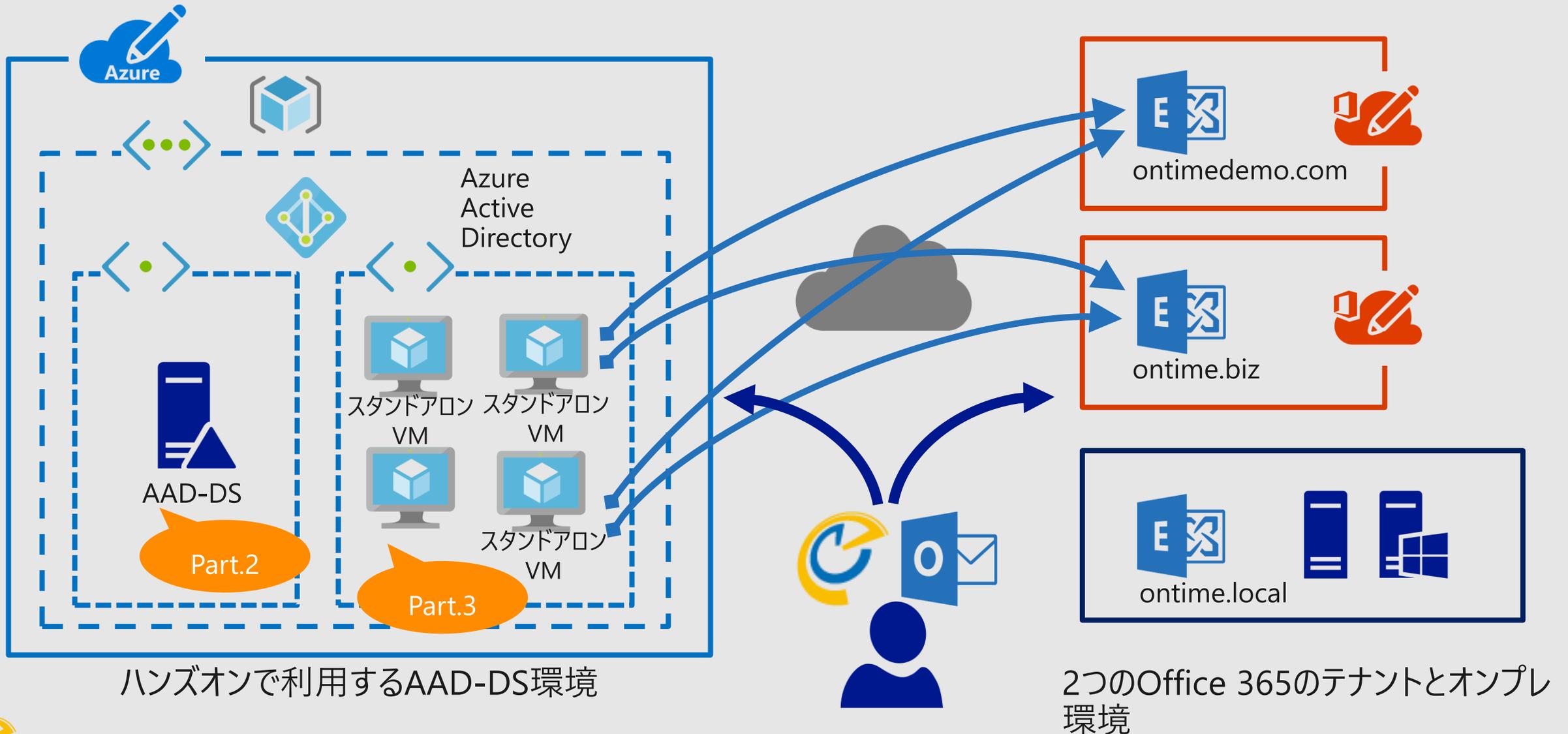
本ハンズオンセッションの構成とタイムテーブル



ご準備頂いた環境にAAD-DSを展開します



今回のハンズオンで運営側が準備した環境



ハンズオンで利用するAAD-DS環境

2つのOffice 365のテナントとオンプレ環境

テキストの構成

demo99やdemovm99と"99"という表記が出てきましたらお席の番号に読み替えてください。例) demo21やdemovm21など。

デプロイが完了したAAD-DSでDNSを切替します

The screenshot shows the Azure portal interface for an Azure AD Domain Services (AAD-DS) instance. The main content area displays a task titled '仮想ネットワークの DNS サーバー設定の更新' (Update DNS server settings for virtual network). Below the task title, there is a description and a '構成' (Configure) button. An orange box highlights the '構成' button, and an orange arrow points from this box to a callout text box that says '「構成」をクリックします。' (Click 'Configure').

- ✓ デプロイが完了したあと、引き続き2つの作業を必要とします。
 1. 仮想ネットワークが参照するDNSの変更
 2. AAD-DSへのユーザーのパスワードハッシュの同期
- ✓ 画面では「仮想ネットワークのDNSサーバー設定の更新」を行うボタンが準備されています。

「構成」をクリックします。

(参考) パスワードハッシュ同期の有効化について

1. もう一つ行う手順として「パスワードハッシュの同期の有効化」があります。
2. AAD-DSが作成されてもパスワードハッシュはAAD-DSに自動的に反映はされません。また同期には通常20分以内程度を必要とします。
3. AAD-DSにパスワードハッシュを同期するためには、ユーザーが改めAzure ADが同期するADでパスワードの変更作業を行う必要があります。
4. 今回のデモ環境では事前にパスワード変更を行っています。

主に解説です

本ハンズオンで行う
操作手順です

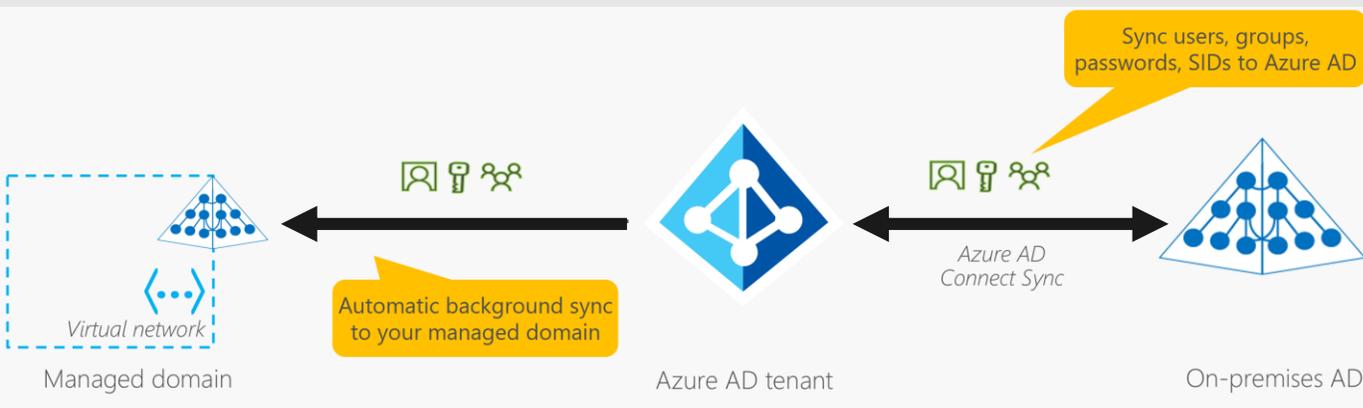
限られた時間なので
ここだけを追いかけて
ください。
ご質問等はセッション
後にお受けします。

主に補足説明です

Azure AD Domain Servicesとは

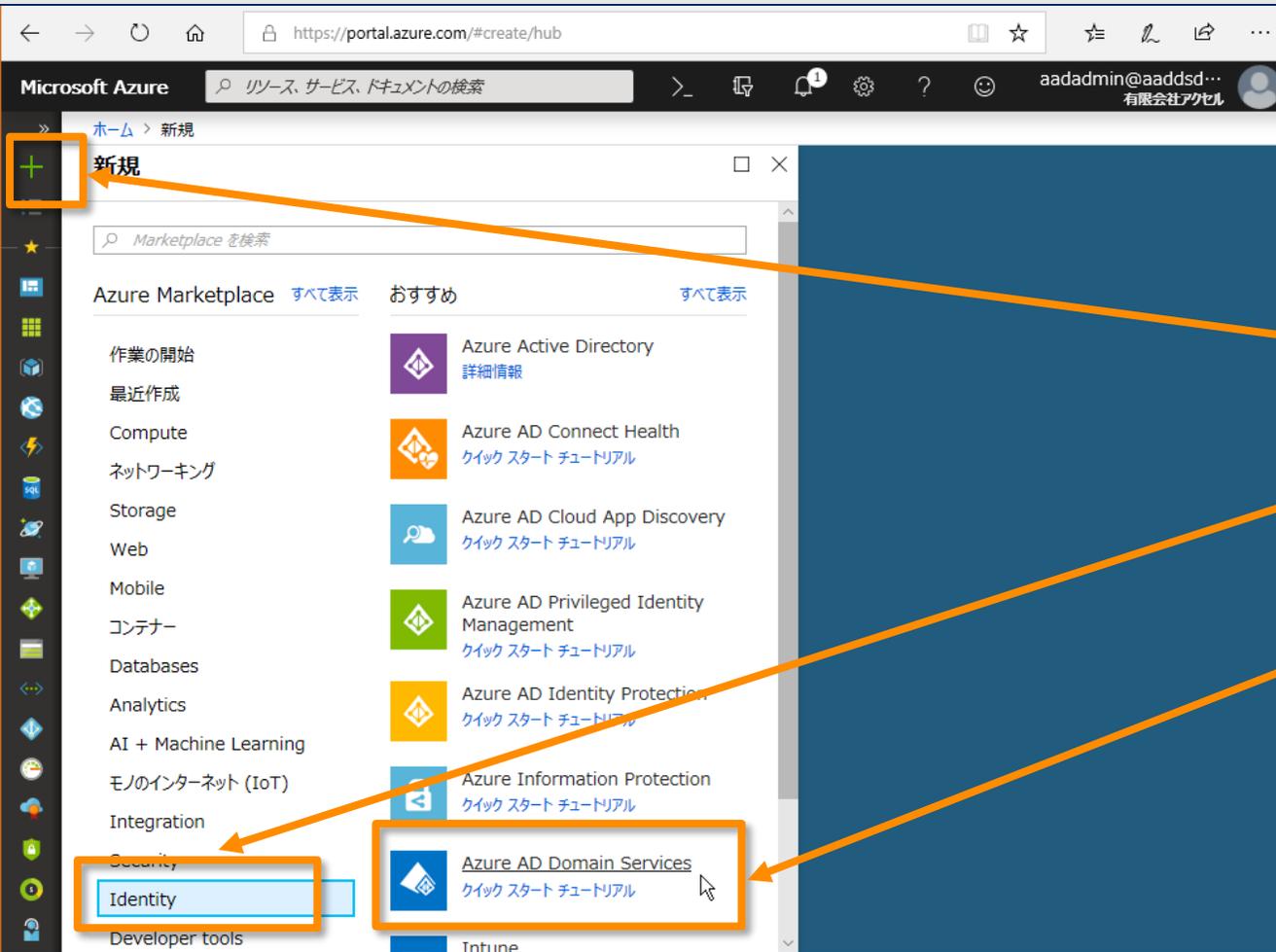


- ✓ Azure Active Directoryの情報をベースに従来型のドメインサービスをAzureのPaaSとして提供するサービスです。
- ✓ 簡単に言うとドメイン コントローラーをデプロイせずに、Azure 仮想マシンをドメイン参加させることができます。
- ✓ ドメイン参加、Kerberos認証、LDAP、NTLMなどオンプレミスで実行中の従来のディレクトリ認識型アプリケーションをAzureに移行できます。
- ✓ オンプレActive DirectoryともAzure AD Connectで接続されたAzure Active Directoryと同期が可能です。
- ✓ フォレストを構築できないなどオンプレのActive Directory Domain Servicesと同じサービスではない。
- ✓ ユーザーやパスワードハッシュはAzure Active Directoryからの片方向同期です。
- ✓ とにかくオンプレのActive Directory のように可用性などを考えず済むので条件さえ合えば運用管理者にとってはとても楽ができるサービスです。



「Azure AD Domain Services」の展開

「Azure AD Domain Services」を作成します



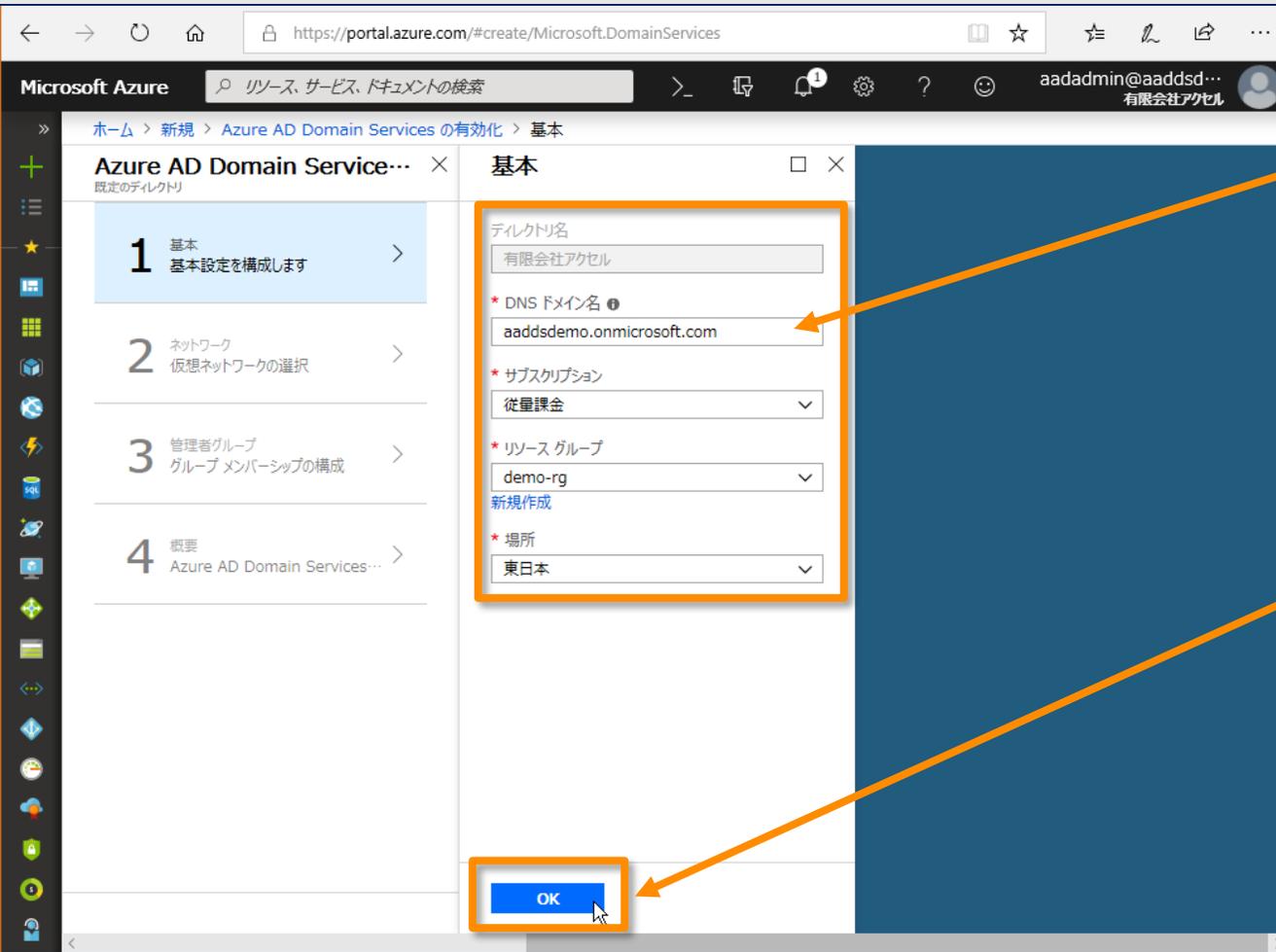
- ✓ 前提条件として仮想ネットワークが必要です。未作成であればウィザードの中で作成しますので挙手お願いいたします。

「リソースの作成」をクリックします。

Azure Marketplaceの中から「Identity」をクリックします。

おすすめから「Azure AD Domain Services」をクリックします。

基本設定を構成します



1. DNSドメインを指定します。
本ハンズオンではテナント取得時のドメインで作業します。
2. ご利用のサブスクリプションを指定します。
3. 次に本ハンズオンでは紐付いているリソースグループを指定しています。
4. 同様にリージョンがリソースグループから指定されます。

「OK」をクリックします。

- ✓ インターネットに接続する予定のいずれでも使用されていないドメインであることが条件です。
- ✓ お持ちのドメインのサブドメインも可能です。
- ✓ Azure AD ConnectでオンプレActive Directoryと繋いでいる場合はそちらも利用可能。

ネットワークを設定します

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

aadadmin@aaddsd... 有株式会社アクセル

ホーム > 新規 > Azure AD Domain Services の有効化 > ネットワーク > 仮想ネットワークの選択

Azure AD Domain Service... x ネットワーク x 仮想ネットワークの選択

既定のディレクトリ

- 1 基本
基本設定を構成します ✓
- 2 ネットワーク
仮想ネットワークの選択 >
- 3 管理者グループ
グループ メンバーシップの構成 >
- 4 概要
Azure AD Domain Services... >

この管理対象ドメインの専用サブネットを作成します。管理対象ドメインを作成した後で別のサブネットに移動させることはできません。

ネットワーク

- * 仮想ネットワーク
- 仮想ネットワークの選択 >
- * サブネット
- サブネットの選択 >

選択したサブスクリプションおよび場所 '東日本' に 仮想ネットワーク が存在します。

+ 新規作成

DEMO-VNET
demo-rg

OK

- ✓ Azure AD Domain Servicesを展開する仮想ネットワークを指定します。
- ✓ この仮想ネットワーク上では作成するAAD-DSが2台のDNSを準備するのでAAD-DSに参加するこの仮想ネットワークのVMは準備されるDNSを参照することになります。
- ✓ AAD-DSが作成された後、この仮想ネットワークでは参照するDNSのデフォルトを設定します。DHCPも展開するドメインサービスのDNSが指定されるようになります。

「仮想ネットワークの選択」をクリックします。

本ハンズオンではご準備された仮想ネットワークを選択します。

未作成であればウィザードの中で作成しますので挙手お願いいたします。

AAD-DS用サブネットを作成します

The screenshot shows the 'Add Subnet' configuration page in the Microsoft Azure portal. The page is in Japanese. The main content area is titled 'サブネットの追加' (Add Subnet) and shows the following fields and options:

- 名前 (Name):** AADDS-SN
- アドレス範囲 (CIDR ブロック) (Address Range (CIDR Block)):** 10.3.0.0/24
- ネットワークセキュリティグループ (Network Security Group):** なし (None)
- ルートテーブル (Route Table):** なし (None)
- サービスエンドポイント (Service Endpoints):** 0 項目が選択されました (0 items selected)
- サブネットの委任 (Subnet Delegation):** サブネットをサービスに委任 (Delegate subnet to service) is set to なし (None)

On the left side, there are two radio buttons: '新規作成' (New creation) is selected, and '既存のものを使用' (Use existing) is unselected. Below these are two buttons: 'サブネット' (Subnet) and 'サブネットの追加' (Add subnet). At the bottom right, the 'OK' button is highlighted.

「新規作成」が選択されているのを確認し「サブネットの追加」をクリックします。

名前は本ハンズオンでは「AADDS-SN」とします。

アドレス範囲を指定します。
表示されたアドレスをそのまま使用します。

- ✓ サブネットはドメインサービス専用のサブネットを新規で作成します。
- ✓ サブネットクラスは少なくとも/29 (255.255.255.248) 以上のサブネットで構築します。
- ✓ ネットワークセキュリティグループ、ルートテーブルも「なし」のまま自動生成することになります。

残りもデフォルトのままにします。
「OK」をクリックします。

ネットワークの設定を完成させます

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

aadadmin@aaddsd...
有会社アクセル

ホーム > 新規 > Azure AD Domain Services の有効化 > ネットワーク

Azure AD Domain Service...
既定のディレクトリ

- 1 基本
基本設定を構成します ✓
- 2 ネットワーク
仮想ネットワークの選択
- 3 管理者グループ
グループメンバーシップの構成
- 4 概要
Azure AD Domain Services...

ネットワーク

管理対象ドメインを作成した後で別のサブネットに移動させることはできません。

ネットワーク

- * 仮想ネットワーク
- DEMO-VNET

サブネット

使用可能な IP アドレスを 3 つ以上持つ専用サブネットを作成します。

新規作成 既存のものを使用

サブネット
(新規) AADS-SN

ネットワーク セキュリティ グループが自動的に作成されてサブネットに関連付けられ、AAD Domain Services を保護します。ネットワーク セキュリティ グループは、NSG 構成に関するガイドラインに従って構成されます。

OK

- ✓ サブネットの設定を閉じると画面上にはネットワークセキュリティグループを自動作成する旨インフォメーションが表示されます。



ネットワーク セキュリティ グループが自動的に作成されてサブネットに関連付けられ、AAD Domain Services を保護します。ネットワーク セキュリティ グループは、NSG 構成に関するガイドラインに従って構成されます。

確認後に「OK」をクリックします。

管理者グループを構成します



- ✓ AAD-DSを管理するグループ「AAD DC Administrators」が自動的に作成されます。
- ✓ ここではアサインするメンバーを構成します。

「グループメンバーシップの管理」をクリックします。

グループメンバーシップを管理します

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

aadadmin@aaddsd... 有会社アキセル

ホーム > 新規 > Azure AD Domain Services の有効化 > 管理者グループ > メンバー

メンバー

+メンバーの追加 更新

名前	種類
デモ アドミン	User
demo01	User
demo02	User
demo03	User
demo04	User
demo05	User
demo06	User
demo07	User
demo08	User
demo09	User
demo10	User
demo11	User
demo12	User

- ✓ テナント管理者は自動的にメンバーに登録されます。
- ✓ 追加の必要があるメンバーがいる場合は追加します。
- ✓ 本ハンズオンでは後ほど皆さんがそれぞれ自身のアカウントでドメインに参加させるため全員を追加しています。

右上の×で閉じます。

管理者グループの構成を完了します

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

aadadmin@aaddsd...
有限会社アクセル

ホーム > 新規 > Azure AD Domain Services の有効化 > 管理者グループ

Azure AD Domain Service... × 管理者グループ ×

既定のディレクトリ

- 1 基本
基本設定を構成します ✓
- 2 ネットワーク
仮想ネットワークの選択 ✓
- 3 管理者グループ
グループメンバーシップの構成 >
- 4 概要
Azure AD Domain Services... >

"AAD DC Administrators" というグループがこのマネージドドメインを管理するために作成されました。以下をクリックしてこのグループのメンバーシップを管理するか、[OK] をクリックして続行します。

AAD DC Administrators ⓘ
グループメンバーシップの管理 >

OK

メンバーの確認が済めば「OK」をクリックします。

AAD-DSの構成を確認して展開します

The screenshot shows the Azure portal interface for configuring Azure AD Domain Services. The left sidebar lists four steps: 1. Basic (Basic settings), 2. Network (Virtual network selection), 3. Admin groups (Group membership), and 4. Overview (Overview). The 'Overview' step is currently selected. The main content area displays the configuration details for the domain 'aaddsdemo.onmicrosoft.com'. At the bottom of the configuration page, there is a blue 'OK' button, which is highlighted with an orange circle and an arrow pointing to it from the right.

基本	名前	サブスクリプション	リソース グループ	場所
	aaddsdemo.onmicrosoft.com	従量課金	demo-rg	東日本

ネットワーク	仮想ネットワーク	サブネット	サブネット アドレス	ネットワーク セキュリティ グループ (新規)
	DEMO-VNET	AADDS-SN	10.3.0.0/24	AADDS-aaddsdemo.onmicrosoft.com-NSG

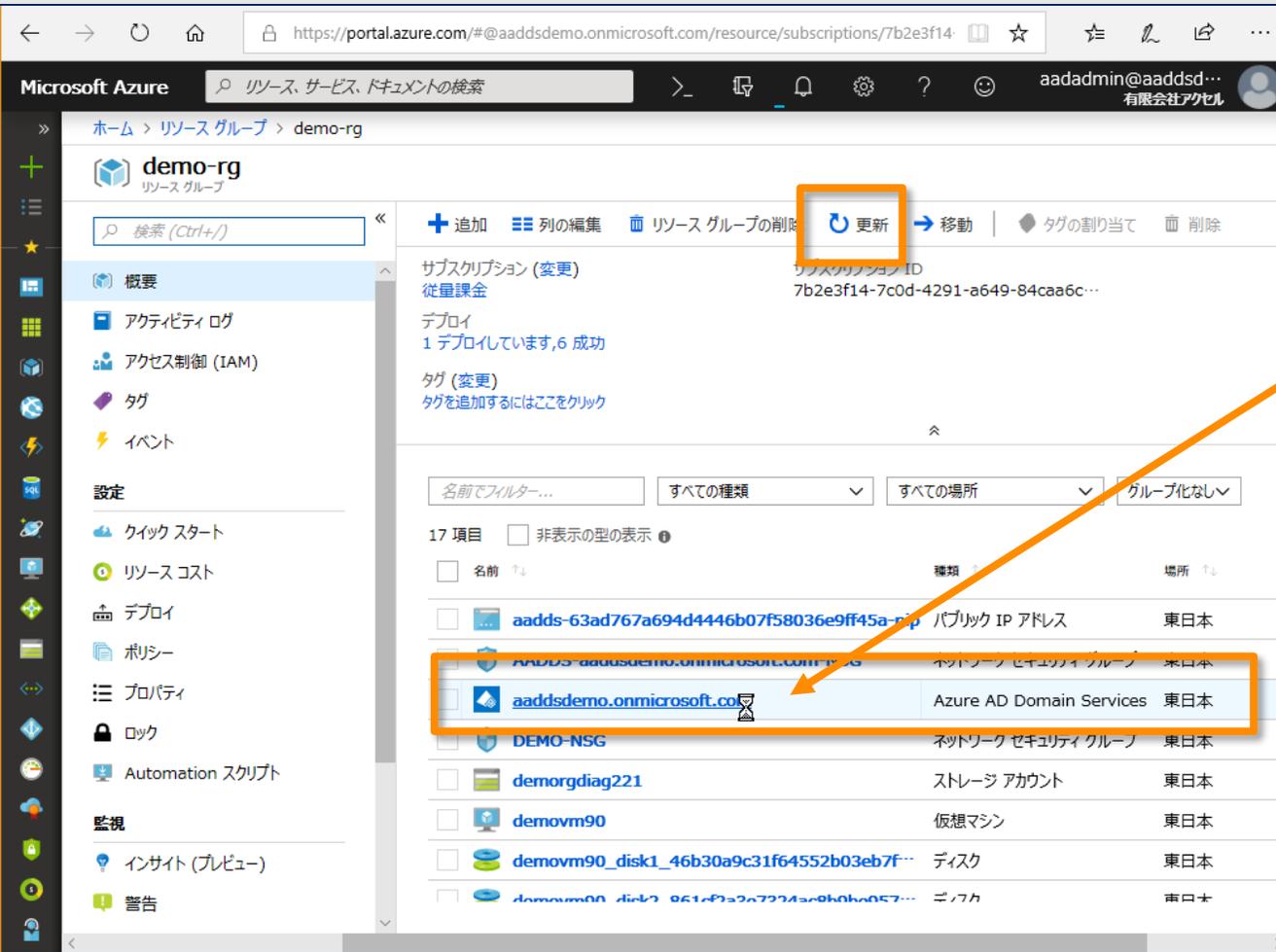
管理者グループ	管理者グループ	メンバーシップの種類
	AAD DC Administrators	割り当て済み

- ✓ 作成すると Azure Active Directory に資格情報のハッシュを保存して NTLM および Kerberos 認証が使用できるようになります。

このディレクトリに Azure AD Domain Services を有効にすると、NTLM および Kerberos 認証に必要な資格情報のハッシュを Azure AD に保存することに同意したものと見なされます。

概要を確認したら「OK」をクリックします。

リソースグループに戻りAAD-DSを開いてみます



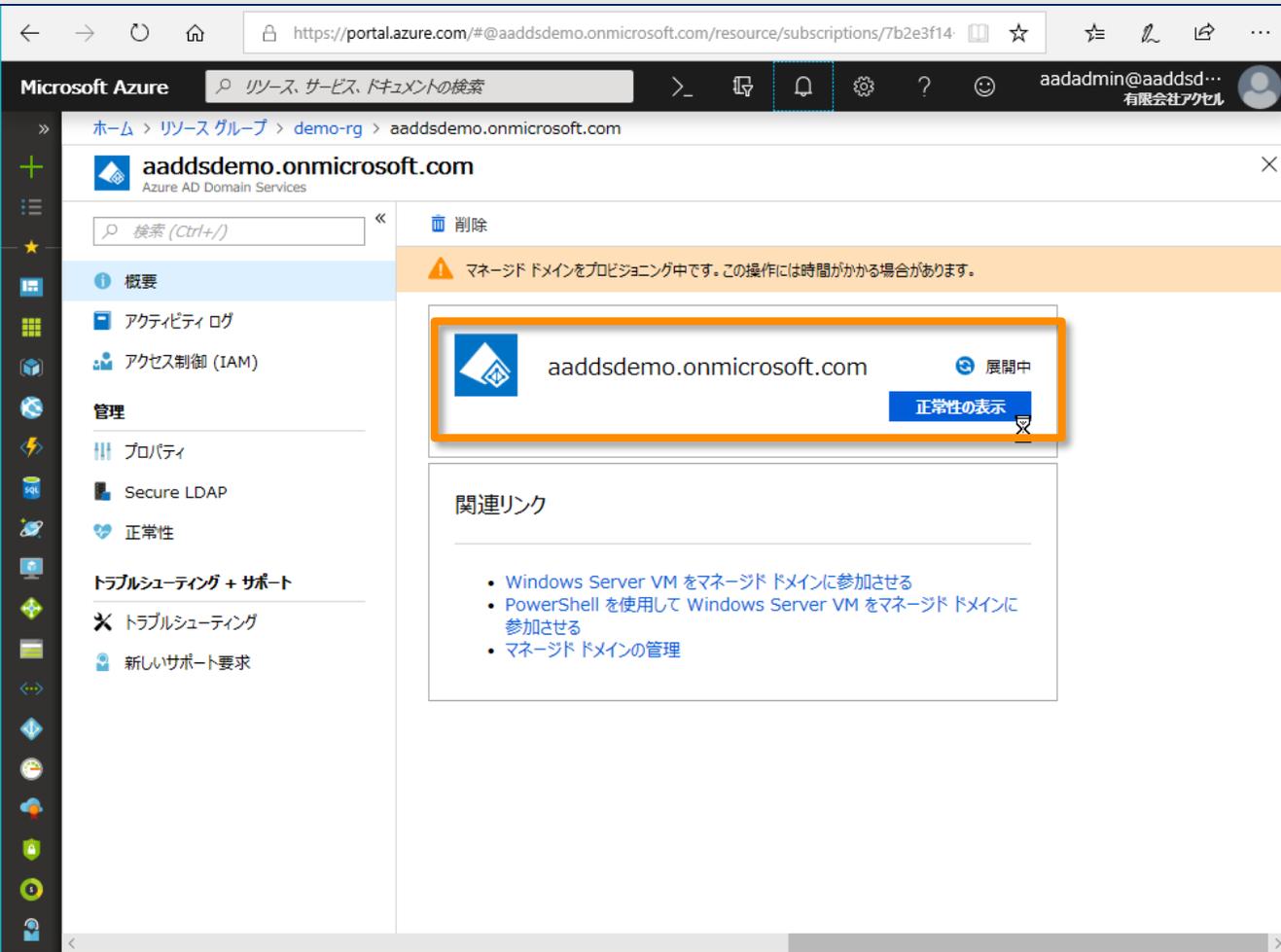
- ✓ 作成したリソースグループには既に各種AAD-DSに関連するリソースが出来ていくのを確認することが出来ます。

名前が先ほど作成したドメイン名で種類が「Azure AD Domain Services」のリソースをクリックします。表示されていない場合は「更新」をクリックします。

- ✓ 参考
全ての作成が完了すると以下の様なリソースが出来上がります。AAD-DSはあくまでもSaaSなので2台のドメインコントローラーは見えません。

<input type="checkbox"/>	aadds-17cfd301e024474eabdba65f27690ddf-nic	ネットワーク インターフェイス	東日本
<input type="checkbox"/>	aadds-63ad767a694d4446b07f58036e9ff45a-lb	ロード バランサー	東日本
<input type="checkbox"/>	aadds-63ad767a694d4446b07f58036e9ff45a-pip	パブリック IP アドレス	東日本
<input type="checkbox"/>	AADDS-aaddsdemo.onmicrosoft.com-NSG	ネットワーク セキュリティ グループ	東日本
<input type="checkbox"/>	aadds-b7a11838e339424389f2a22443981211...	ネットワーク インターフェイス	東日本
<input type="checkbox"/>	aaddsdemo.onmicrosoft.com	Azure AD Domain Services	東日本

AAD-DSのデプロイには約 1 時間かかります



- ✓ AAD-DSのデプロイは約1時間かかります。
- ✓ 画面上では「展開中」と表示されています。「正常性の表示」も最初はグレーです。
- ✓ 本ハンズオンでは以後のステップは運営側が準備したデプロイを完了しているデモ環境に切り替えて最終作業を行います。
- ✓ その後に準備したWindowsのVMをAAD-DSに参加させていただきます。
- ✓ さらに管理ツールのインストールを行った後に認証を必要とするアプリケーションとして本ハンズオンで「OnTime for Microsoft」をインストールして他テナントのOffice 365に接続して正常動作する事を確認します。

※ ここから講師だけが操作します

デプロイが完了したAAD-DSでDNSを切替します

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

aadadmin@aaddsd... 有株式会社アクセル

ホーム > aaddsdemo.onmicrosoft.com

aaddsdemo.onmicrosoft.com Azure AD Domain Services

検索 (Ctrl+/)

削除

概要

アクティビティ ログ

アクセス制御 (IAM)

管理

プロパティ

Secure LDAP

正常性

トラブルシューティング + サポート

トラブルシューティング

新しいサポート要求

aaddsdemo.onmicrosoft.com 実行中

正常性の表示

必要な構成手順

DNS 仮想ネットワークの DNS サーバー設定の更新

ご使用の仮想ネットワークの DNS サーバーの設定を更新し、Azure AD Domain Services を利用できる IP アドレス (10.3.0.4 と 10.3.0.5) を指定する必要があります。

詳細 構成

構成

Azure AD Domain Services パスワードハッシュ同期の有効化

Azure AD Domain Services に対してパスワード ハッシュ同期を有効にするまで、ユーザーが Secure LDAP を使用してバインドしたり、マネージド ドメインにサインインしたりすることはできません。Azure AD ディレクトリ内のユーザーの種類に応じて、以下の手順に従ってください。Azure AD ディレクトリにクラウド専用ユーザー アカウントと同期ユーザー アカウントが混在している場合は、手順のセットを両方とも実行します。

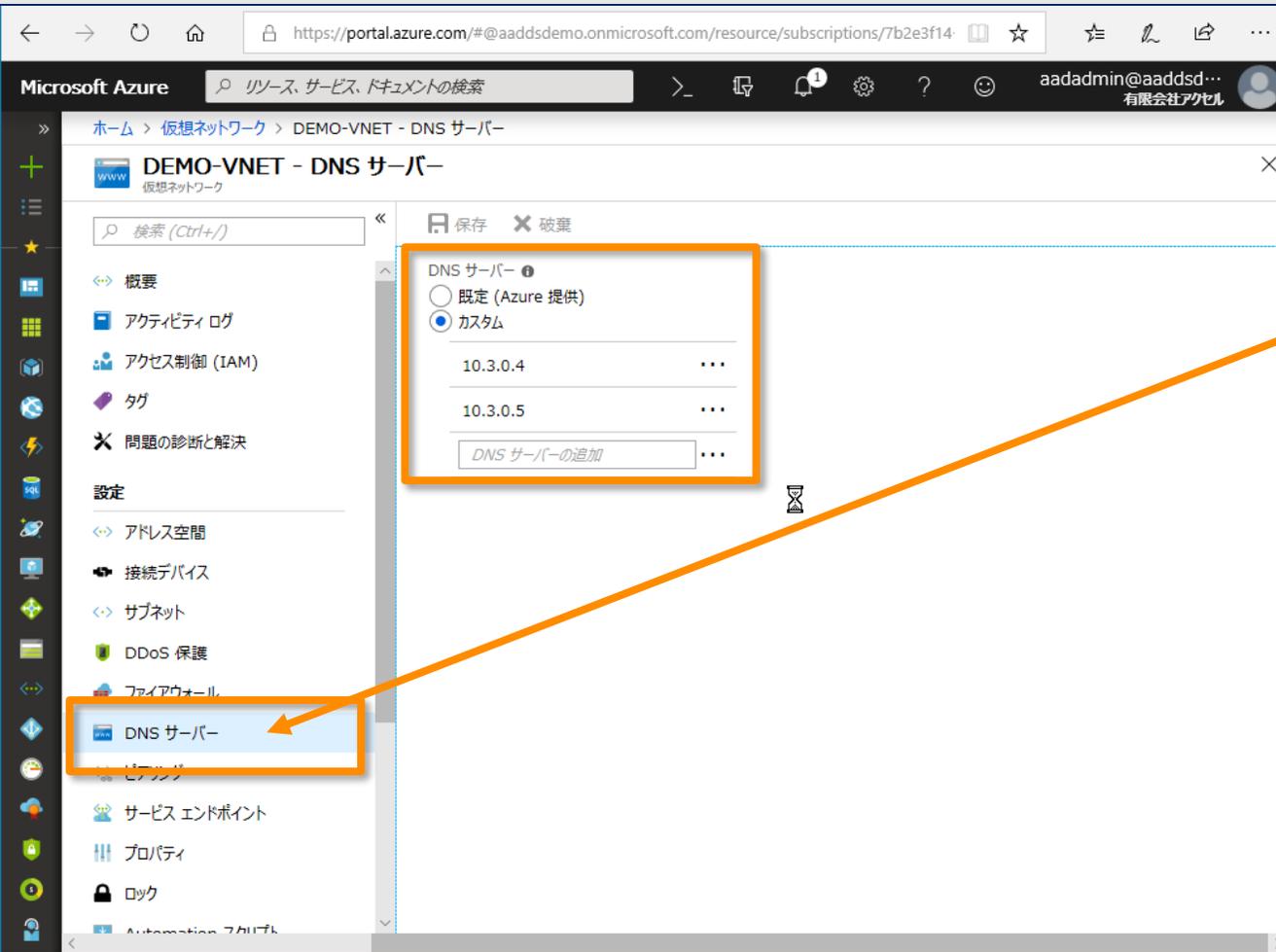
- ✓ デプロイが完了したあと、引き続き2つの作業を必要とします。
 1. 仮想ネットワークが参照するDNSの変更
 2. AAD-DSへのユーザーのパスワードハッシュの同期
- ✓ 画面では「仮想ネットワークのDNSサーバー設定の更新」を行うボタンが準備されています。

「構成」をクリックして仮想ネットワークのDNS設定の変更を実行します。

(参考) パスワードハッシュ同期の有効化について

1. もう一つ行う手順として「パスワードハッシュの同期の有効化」があります。
2. AAD-DSが作成されてもパスワードハッシュはAAD-DSに自動的に反映はされません。また同期には通常20分以内程度を必要とします。
3. AAD-DSにパスワードハッシュを同期するためには、ユーザーが改めAzure ADか同期するADでパスワードの変更作業を行う必要があります。
4. 今回のデモ環境では事前にパスワード変更を行っています。

仮想ネットワークのDNSの構成を確認します



- ✓ 実際にDNSがデフォルトから独自のAAD-DSのDNSに変更されているかを確認しましょう。

リソースグループから仮想ネットワークを選択します。
設定から「DNSサーバー」を選択します。

- ✓ 画面上では先ほど作成したAAD-DS用のサブネット上のアドレスが指定されています。
- ✓ この2つはAAD-DS上ではドメインサービスを実行するドメインサーバーに相当します。

※ ここからお手元のSurfaceから
運営が準備したVMに接続します

接続する仮想マシン(VMM)について

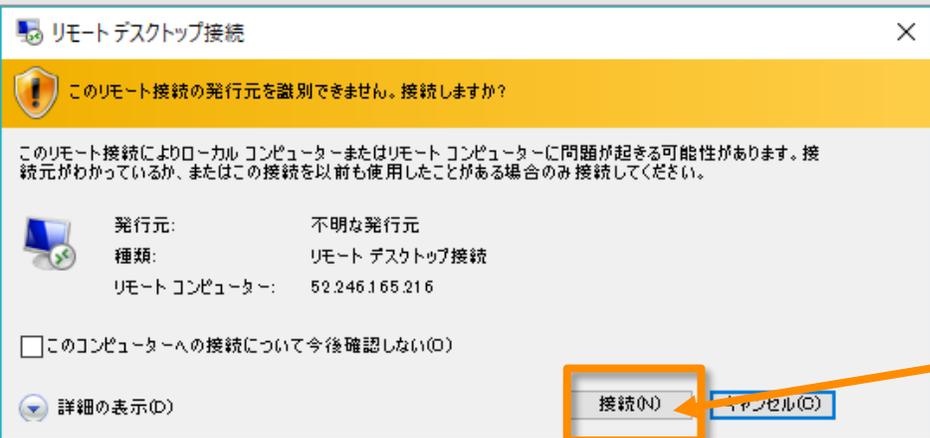
The screenshot shows the Windows Server Manager interface. The left-hand navigation pane is open to 'ローカルサーバー' (Local Servers). The main area displays the 'プロパティ' (Properties) for the virtual machine 'demovm90'. The 'ワークグループ' (Workgroup) is set to 'WORKGROUP'. Below this, various system settings are listed, including Windows Firewall, Windows Defender, and network settings. At the bottom, the 'イベント' (Events) pane shows a list of error events from Microsoft-Windows-WMI.

サーバー名	ID	重大度	ソース	ログ	日付と時刻
demovm90	10	エラー	Microsoft-Windows-WMI	Application	2018/10/16 23:41:59
demovm90	24	エラー	Microsoft-Windows-WMI	Application	2018/10/16 23:41:59
demovm90	24	エラー	Microsoft-Windows-WMI	Application	2018/10/16 23:41:59

- ✓ 以後の作業は予め運営側がAzure上に準備したVMで行います。
- ✓ 日本語化したVMに必要なファイルを配備してテンプレートから作成しています。
- ✓ 22台の仮想マシンと22人のドメイン管理者ユーザーを準備しています。
- ✓ 各VMはデモ用に準備したテナントに属しますがドメインには参加していません。
- ✓ 先ほど操作した仮想ネットワーク「DEMO-VM」、サブネット「DEMO-SN」に属しています。
- ✓ まだドメインに参加していないスタンドアロンのVMなのでAzure標準のDNSを参照しています。
- ✓ 講師の指示するフォルダのRDPファイルを使用して接続します。

VMのドメイン参加

リモートデスクトップ接続でVMに接続します



- ✓ 講師の案内するフォルダを開きます。
- ✓ ファイル名はVMの名前です。

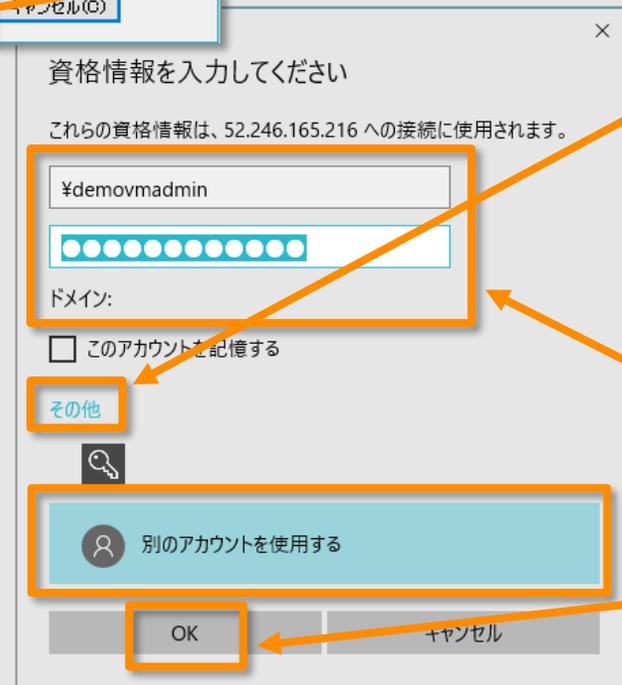
RDPファイルをダブルクリックして起動します。
「接続」をクリックします。

「その他」をクリックします。
「別のアカウントを使用する」を選択します。

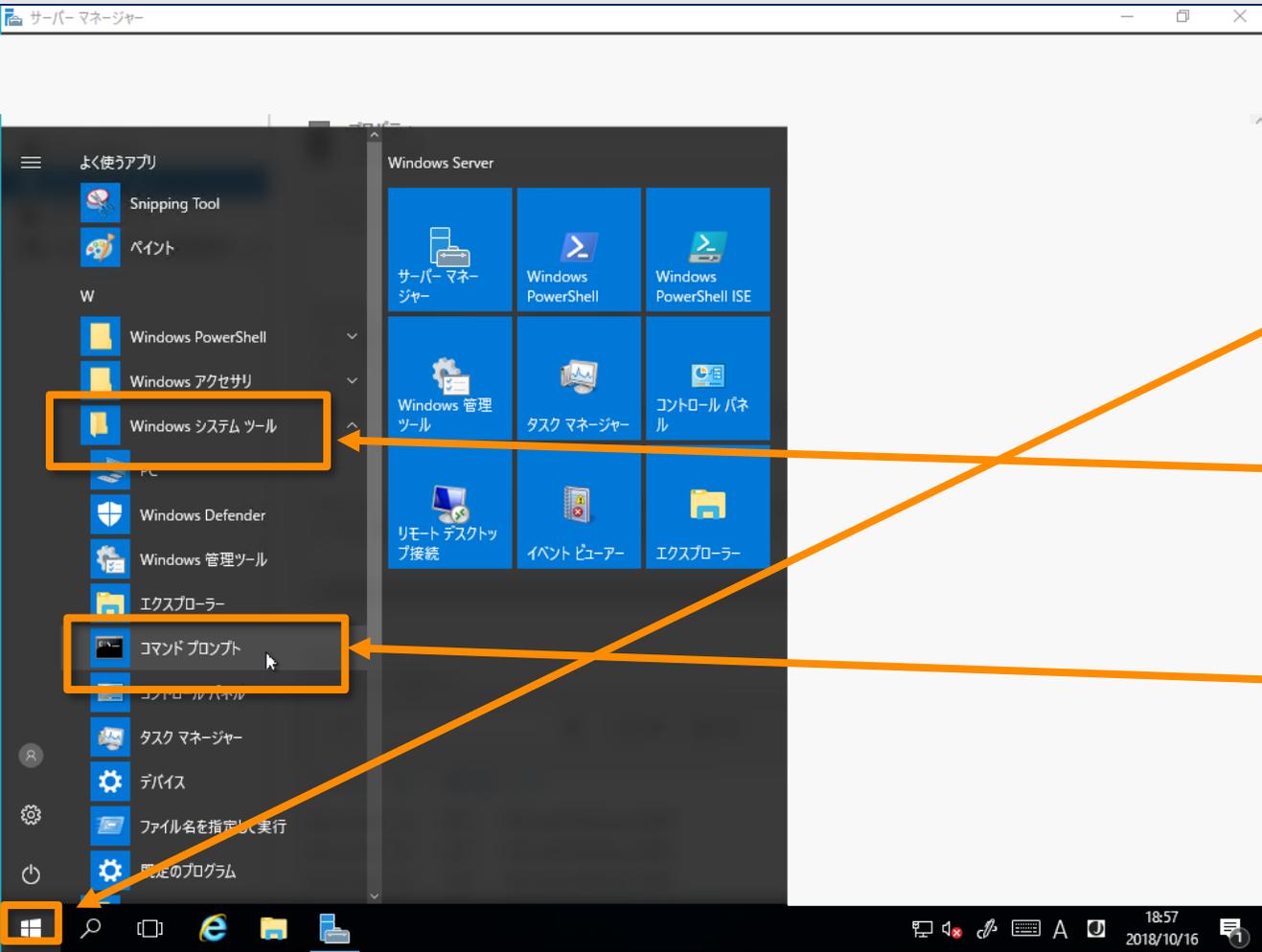
- ✓ ユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名 : demovmadmin
パスワード : OnTime123456
を入力します。

「OK」をクリックします。



コマンドプロンプトを開き現在の環境を確認します



左下のWindowsアイコンをクリックしアプリ一覧を表示。

「Windowsシステムツール」を開きます。

「コマンドプロンプト」をクリックして開きます。

“SET”でWORKGROUPに参加を確認します

```
C:\Users\demovmadmin>set
ALLUSERSPROFILE=C:\ProgramData
APPDATA=C:\Users\demovmadmin\AppData\Roaming
CLIENTNAME=WINMAC
CommonProgramFiles=C:\Program Files\Common Files
CommonProgramFiles(x86)=C:\Program Files (x86)\Common Files
CommonProgramW6432=C:\Program Files\Common Files
COMPUTERNAME=demovm90
ComSpec=C:\Windows\system32\cmd.exe
HOMEDRIVE=C:
HOMEPATH=C:\Users\demovmadmin
LOCALAPPDATA=C:\Users\demovmadmin\AppData\Local
LOGONSERVER=\\demovm90
NUMBER_OF_PROCESSORS=2
OS=Windows_NT
Path=C:\Windows\system32;C:\Windows;C:\Windows\System32\WindowsPowerShell\v1.0%;C:\Users\demovmadmin\AppData\Local\Microsoft\WindowsApps;
PATHEXT=.COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC
PROCESSOR_ARCHITECTURE=AMD64
PROCESSOR_IDENTIFIER=Intel64 Family 6 Model 79 Stepping 1, GenuineIntel
PROCESSOR_LEVEL=6
PROCESSOR_REVISION=4f01
ProgramData=C:\ProgramData
ProgramFiles=C:\Program Files
ProgramFiles(x86)=C:\Program Files (x86)
ProgramW6432=C:\Program Files
PROMPT=$P$G
PSModulePath=C:\Program Files\WindowsPowerShell\Modules;C:\Windows\system32\WindowsPowerShell\v1.0\Modules
PUBLIC=C:\Users\Public
SESSIONNAME=RDP-Tcp#9
SystemDrive=C:
SystemRoot=C:\Windows
TEMP=C:\Users\DEMOMVM_1\AppData\Local\Temp#2
TMP=C:\Users\DEMOMVM_1\AppData\Local\Temp#2
USERDOMAIN=demovm90
USERDOMAIN_ROAMINGPROFILE=demovm90
USERNAME=demovmadmin
USERPROFILE=C:\Users\demovmadmin
windir=C:\Windows

C:\Users\demovmadmin>
```

✓ “SET”コマンドで環境変数を確認します。

“SET”を入力し改行キーを入力します。

USERDOMAIN=demovm90

✓ 実際は“WORKGROUOP”というワークグループに所属しています。

✓ USERDOMAINがCOMPUTER名でワークグループ環境の表示であることが確認出来ます。

✓ 詳細については以下をご確認下さい。

● <https://www3.ontimesuite.jp/userdomain/>

参照先DNSはAzureのデフォルトです

```
管理者: コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.14393]
(c) 2016 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\demovmadmin> ipconfig /all

Windows IP 構成

ホスト名. . . . . : demovm90
プライマリ DNS サフィックス . . . . . :
ノード タイプ . . . . . : ハイブリッド
IP ルーティング有効 . . . . . : いいえ
WINS プロキシ有効 . . . . . : いいえ
DNS サフィックス検索一覧 . . . . . : 3repsybecfsufidsug5jd4mlrc.lx.internal.cloudapp.net

イーサネット アダプター イーサネット 3:

接続固有の DNS サフィックス . . . . . : 3repsybecfsufidsug5jd4mlrc.lx.internal.cloudapp.net
説明 . . . . . : Microsoft Hyper-V Network Adapter #3
物理アドレス . . . . . : 00-0D-3A-52-4D-AA
DHCP 有効 . . . . . : (はい)
自動構成有効 . . . . . : (はい)
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . . : fe80::9de8:1fd8:e04c:f3f0%3(優先)
IPv4 アドレス . . . . . : 10.3.1.5(優先)
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
リース取得 . . . . . : 1882年9月9日 17:14:11
リースの有効期限 . . . . . : 2154年11月23日 1:27:10
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 10.3.1.1
DHCP サーバー . . . . . : 168.63.129.16
DHCPv6 IAID . . . . . : 134221114
DHCPv6 クライアント DUID . . . . . : 00-01-00-01-00-57-32-00-00-0D-3A-52-4D-AA
DNS サーバー . . . . . : 168.63.129.16
NetBIOS over TCP/IP . . . . . : 有効

Tunnel adapter ローカル エリア接続* 2:

メディアの状態 . . . . . : メディアは接続されていません
接続固有の DNS サフィックス . . . . . : 3repsybecfsufidsug5jd4mlrc.lx.internal.cloudapp.net
説明 . . . . . : Microsoft ISATAP Adapter
物理アドレス . . . . . : 00-00-00-00-00-00-E0
DHCP 有効 . . . . . : いいえ
自動構成有効 . . . . . : (はい)

Tunnel adapter ローカル エリア接続* 3:
```

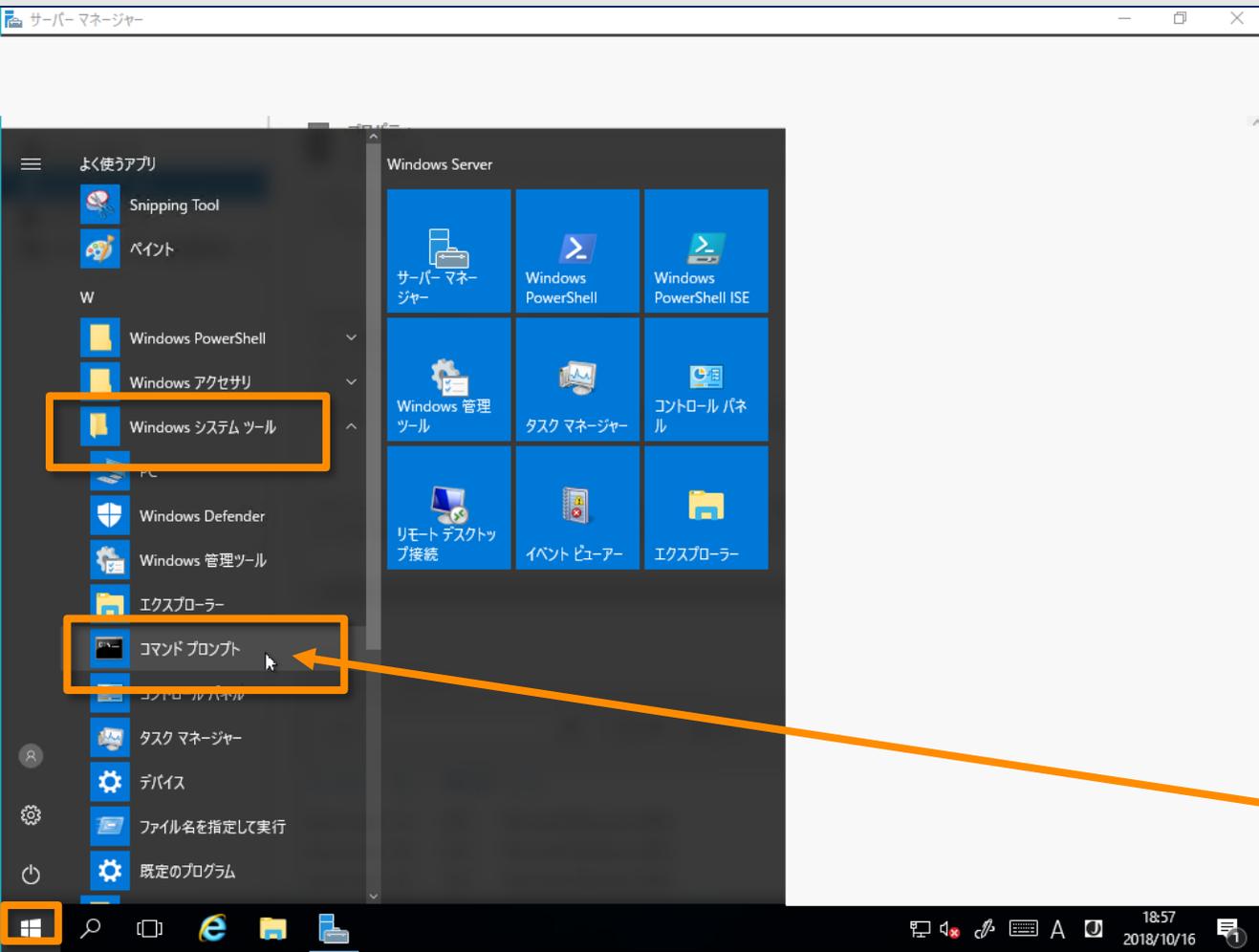
✓ “IPConfig /ALL”で参照しているDNSを確認します。

“ipconfig /all”を入力し改行キーを入力します。

DNS サーバー : 168.63.129.16

✓ Azureの標準DNSがDHCPで配布されています。

VMを再起動してDNSが切り替わるのを確認します



✓ VMを再起動してDHCPの情報を更新します。

← 左下のWindowsアイコンをクリックし電源ボタンから「再起動」を選択します。そのまま「続行」をクリックします。

✓ 先ほど講師がDNSをAAD-DSのアドレスに変更したのでVMを再起動すると参照するDNSが変更されます。

← 数秒後に再度RDPファイルをダブルクリックして起動します。「接続」をクリックします。
ユーザー名：demovmadmin
パスワード：OnTime123456

起動したら左下のWindowsアイコンをクリックしアプリ一覧を表示し以下の順で再度コマンドプロンプトを表示します。

1. 「Windowsシステムツール」を開きます。
2. 「コマンドプロンプト」をクリックして開きます。

IPConfigでDNSが切り替ったのを確認します

```
管理者: コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.14393]
(c) 2016 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\demovmadmin>ipconfig /all

Windows IP 構成

ホスト名 . . . . . : demovm90
プライマリ DNS サフィックス . . . . . :
ノード タイプ . . . . . : ハイブリッド
IP ルーティング有効 . . . . . : いいえ
WINS プロキシ有効 . . . . . : いいえ
DNS サフィックス検索一覧 . . . . . : reddog.microsoft.com

イーサネット アダプター イーサネット 3:

接続固有の DNS サフィックス . . . . . : reddog.microsoft.com
説明 . . . . . : Microsoft Hyper-V Network Adapter #3
物理アドレス . . . . . : 00-0D-3A-52-4D-AA
DHCP 有効 . . . . . : (はい)
自動構成有効 . . . . . : (はい)
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . . : fe80::9de8:1fd8:e04c:f3f0%4(優先)
IPv4 アドレス . . . . . : 10.3.1.5(優先)
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
リース取得 . . . . . : 2018年10月16日 19:33:28
リースの有効期限 . . . . . : 2154年11月23日 2:03:45
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 10.3.1.1
DHCP サーバー . . . . . : 168.63.129.16
DHCPv6 IAID . . . . . : 134221114
DHCPv6 クライアント DUID . . . . . : 00-01-00-01-22-57-32-3D-00-00-0D-3A-52-4D-AA
DNS サーバー . . . . . : 10.3.0.4
                                           10.3.0.5
NetBIOS over TCP/IP . . . . . : 有効

Tunnel adapter ローカル エリア接続* 3:

接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
説明 . . . . . : Teredo Tunneling Pseudo-Interface
物理アドレス . . . . . : 00-00-00-00-00-00-E0
DHCP 有効 . . . . . : いいえ
自動構成有効 . . . . . : (はい)
IPv6 アドレス . . . . . : 2001:0:9d38:953c:65:3a0:f5fc:fefa(優先)
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . . : fe80::65:3a0:f5fc:fefa%5(優先)
デフォルト ゲートウェイ . . . . . :
```

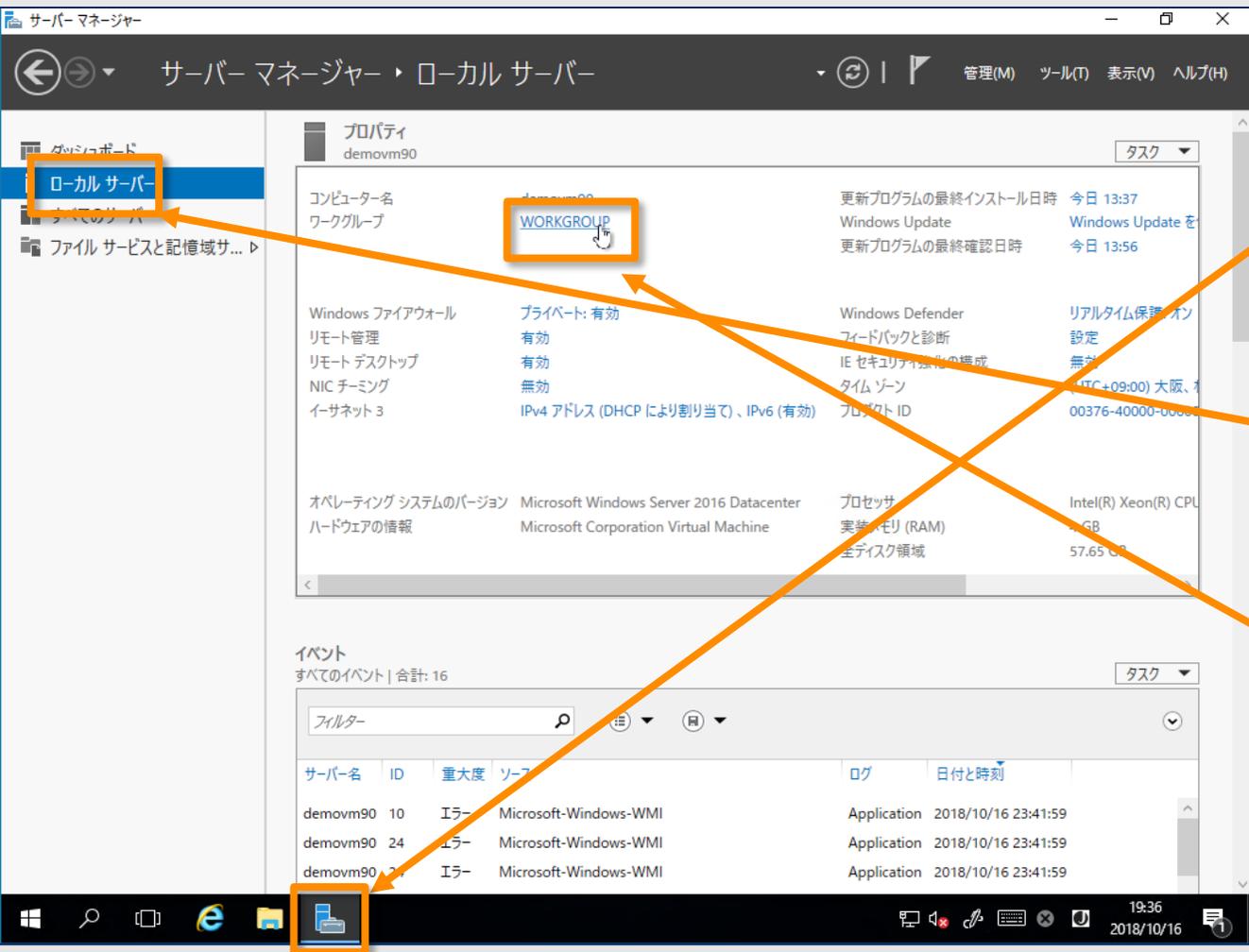
“ipconfig /all”を入力し改行キーを入力します。

```
DNS サーバー . . . . . : 10.3.0.4
                                           10.3.0.5
```

✓ 先ほど変更したAAD-DSのDNSが指定されています。

DNSを確認したらコマンドプロンプトを閉じます。

VMをAAD-DSのドメインへ参加させます 1



✓ 次にドメインに参加します。

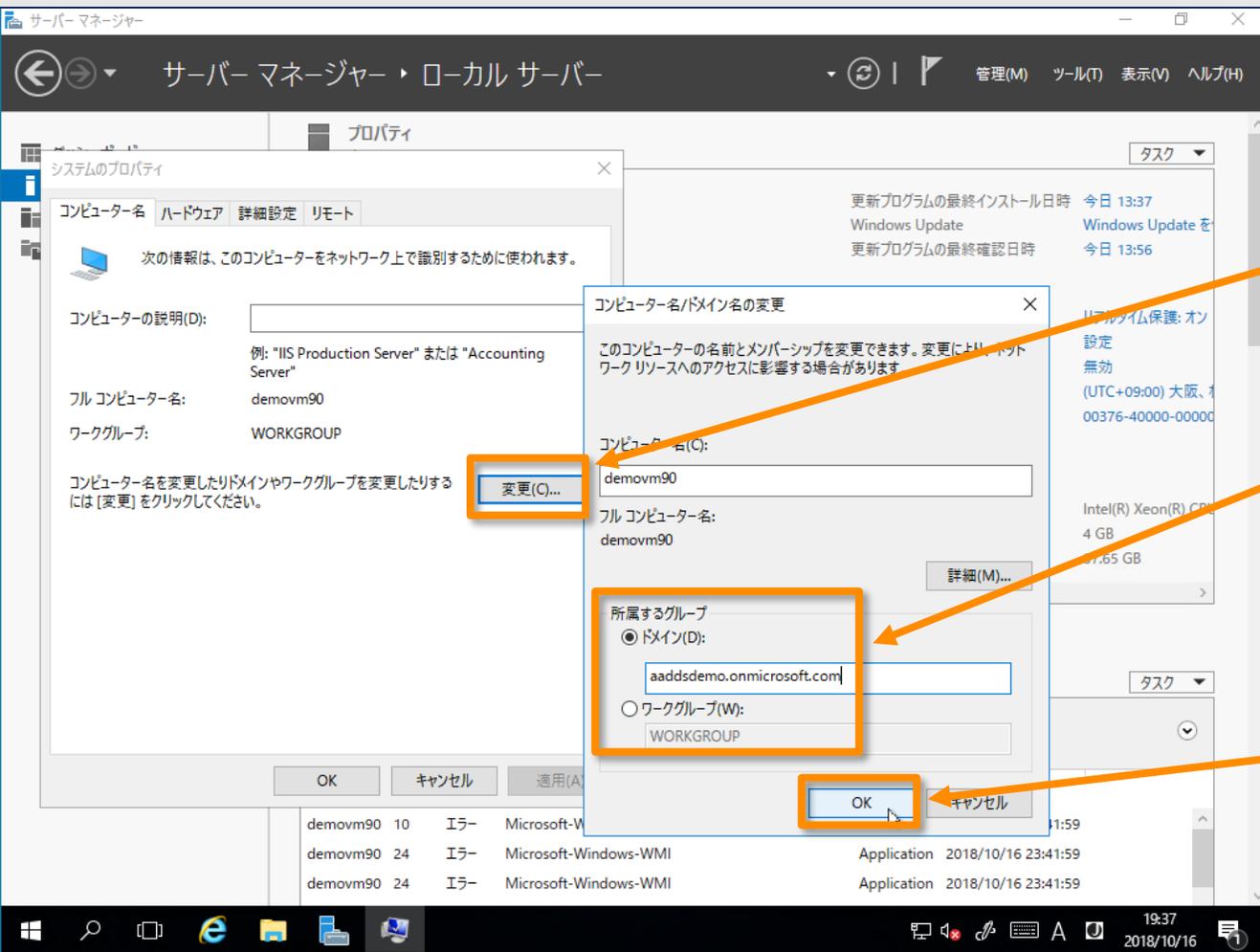
「サーバーマネージャー」を開きます。

「ローカルサーバー」を選択します。

ワークグループの「WORKGROUP」をクリックします。

「サーバーマネージャー」を閉じてしまった人は「Windows」アイコンをクリックするとアイコンがあるので再度開くことができます。

VMをAAD-DSのドメインへ参加させます 2



✓ 「システムのプロパティ」が開き「コンピューター名」タブが開きます。

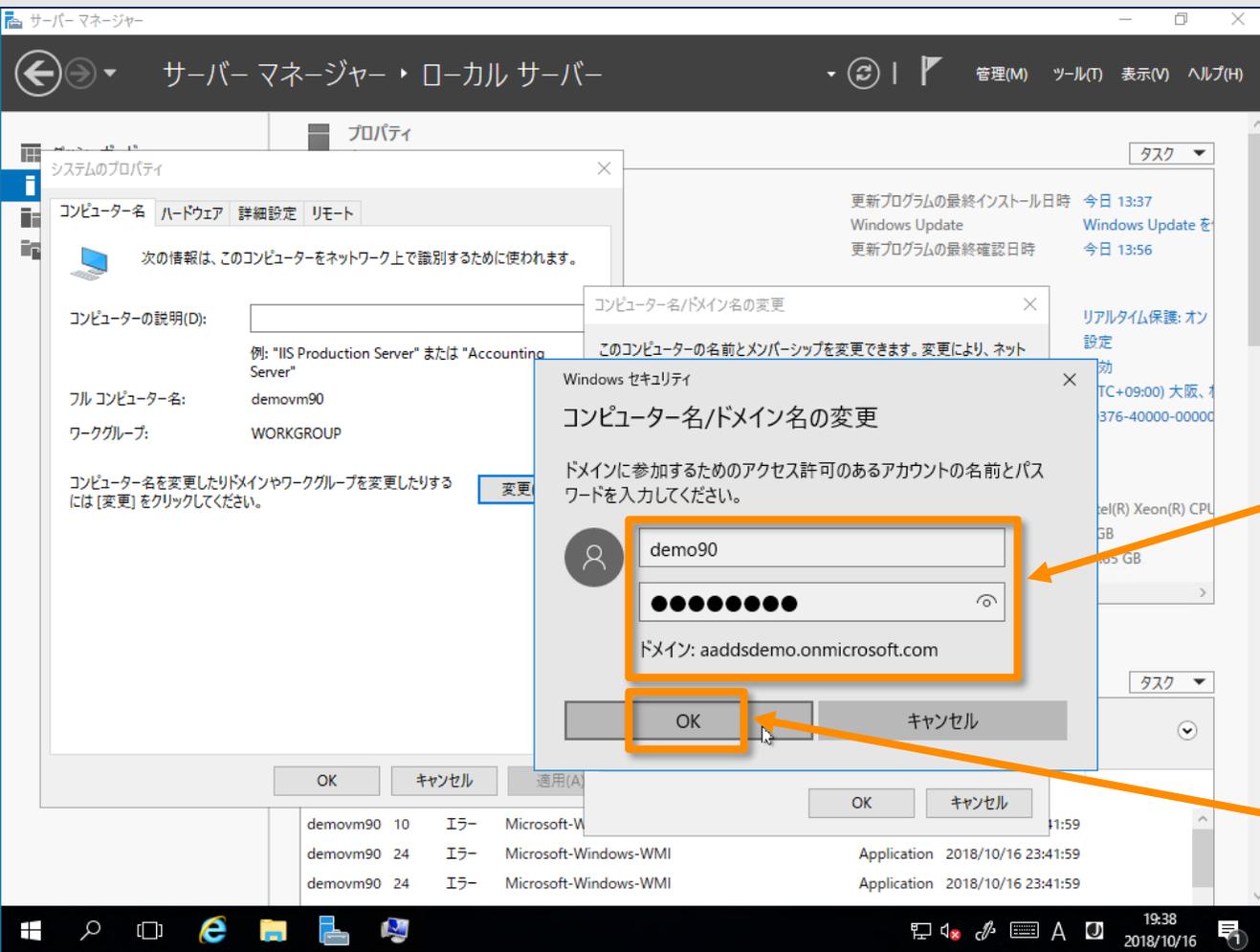
「変更」をクリックします。

所属するグループで「ドメイン」をクリックしてドメインを指定します。

ドメイン名は今回のデモ環境で準備した「aaddsdemo.onmicrosoft.com」を指定します。

入力できたら「OK」をクリックします。

VMをAAD-DSのドメインへ参加させます 3

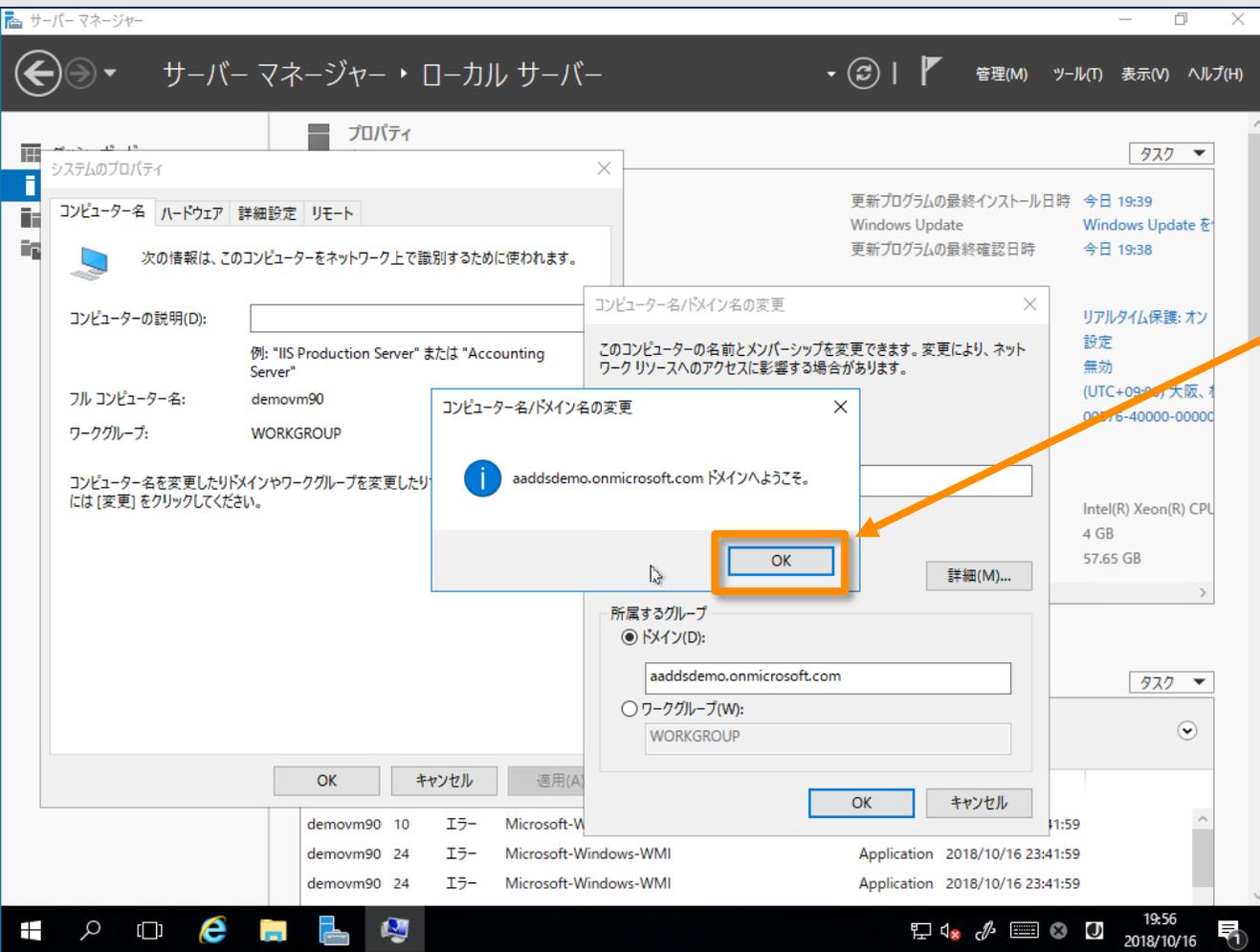


- ✓ DNSがドメインサーバーの名前解決が出来るためADからドメイン参加のアクセス許可を聞かれます。
- ✓ 本ハンズオンでは受講者のアカウントを管理者としてAAD DC Administratorsに登録済みです。99の部分だけVMの番号に変更して入力してください。

USER:
demo99@aaddsdemo.onmicrosoft.com
PW:
OnTime123456
入力を完了したら「OK」をクリックします。

入力できたら「OK」をクリックします。

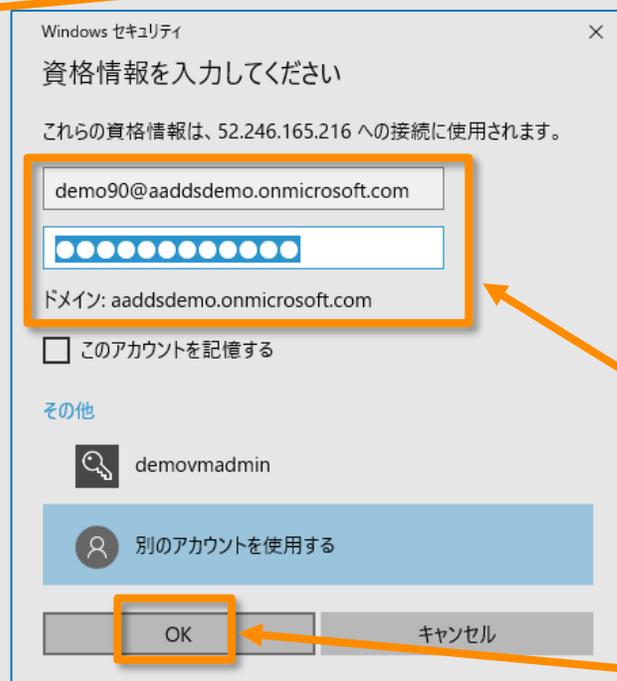
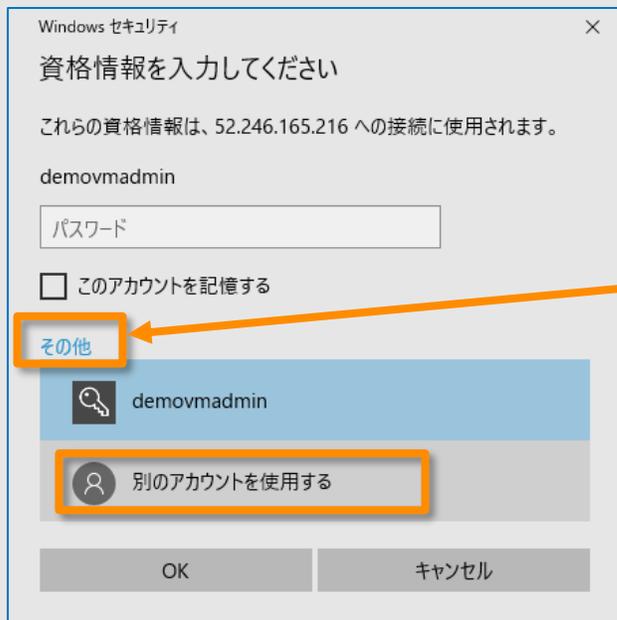
VMをAAD-DSのドメインへ参加させます 4



- ✓ 正常な管理者のアクセス許可があれば左図のメッセージと再起動を促されます。

「OK」を順に押して再起動をします。
左下の「Windows」アイコンから再起動します。

再起動後はドメインユーザーでログインします



- ✓ 再起動時は新しくドメインユーザーでログインします

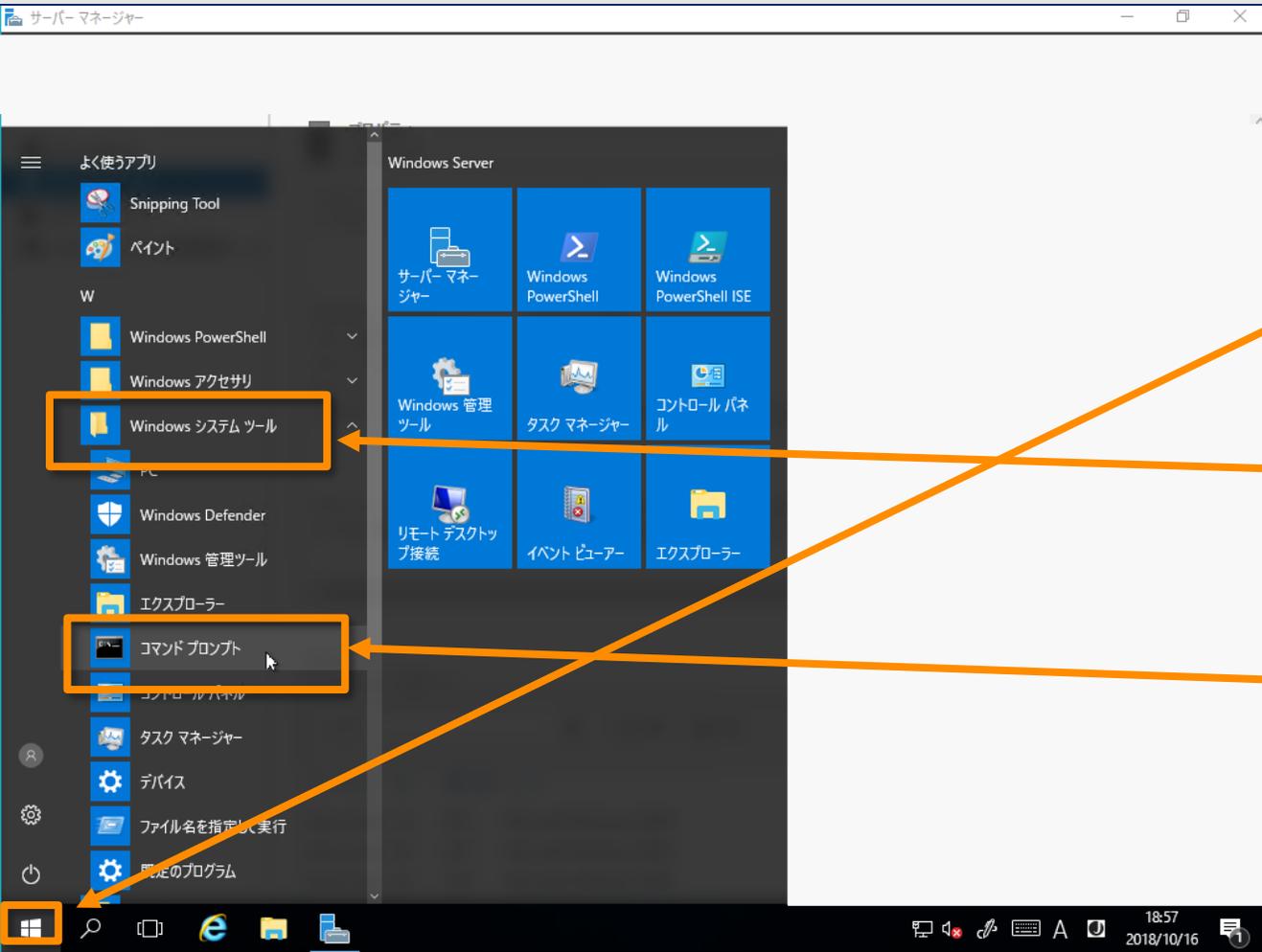
「その他」をクリックします。
「別のアカウントを使用する」を選択します。

- ✓ 本ハンズオンでは先ほどドメイン許可を与えた同じユーザーを指定してログインします。
- ✓ ドメイン参加時のユーザーは既にAAD-DSへパスワードハッシュを同期済みです。

USER:
demo99@aaddsdemo.onmicrosoft.com
PW:
OnTime123456 と入力します。

「OK」をクリックします。

コマンドプロンプトを開き環境を確認します



左下のWindowsアイコンをクリックしアプリ一覧を表示。

「Windowsシステムツール」を開きます。

「コマンドプロンプト」をクリックして開きます。

SETを実行してUSERDOMAINを確認します

```
Microsoft Windows [Version 10.0.14393]
(c) 2016 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\demo90>set
ALLUSERSPROFILE=C:\ProgramData
APPDATA=C:\Users\demo90\AppData\Roaming
CLIENTNAME=WINMAC
CommonProgramFiles=C:\Program Files\Common Files
CommonProgramFiles(x86)=C:\Program Files (x86)\Common Files
CommonProgramW6432=C:\Program Files\Common Files
COMPUTERNAME=DEMOVM90
ComSpec=C:\Windows\system32\cmd.exe
HOMEDRIVE=C:
HOMEPATH=\Users\demo90
LOCALAPPDATA=C:\Users\demo90\AppData\Local
LOGONSERVER=\\JSQ3U-HEFFCY3PF
NUMBER_OF_PROCESSORS=2
OS=Windows_NT
Path=C:\Windows\system32;C:\Windows;C:\Windows\System32\Wbem;C:\Windows\System32\WindowsPowerShell\v1.0\;C:\Users\demo90\AppData\Local\Microsoft\WindowsApps;
PATHEXT=.COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC
PROCESSOR_ARCHITECTURE=AMD64
PROCESSOR_IDENTIFIER=Intel64 Family 6 Model 79 Stepping 1, GenuineIntel
PROCESSOR_LEVEL=6
PROCESSOR_REVISION=4f01
ProgramData=C:\ProgramData
ProgramFiles=C:\Program Files
ProgramFiles(x86)=C:\Program Files (x86)
ProgramW6432=C:\Program Files
PROMPT=$P$G
PSModulePath=C:\Program Files\WindowsPowerShell\Modules;C:\Windows\system32\WindowsPowerShell\v1.0\Modules
PUBLIC=C:\Users\Public
SESSIONNAME=RDP-Tcp#2
SystemDrive=C:
SystemRoot=C:\Windows
TEMP=C:\Users\demo90\AppData\Local\Temp
TMP=C:\Users\demo90\AppData\Local\Temp
USERDNSDOMAIN=AADDSDEMO.ONMICROSOFT.COM
USERDOMAIN=AADDSDEMO
USERDOMAIN_ROAMINGPROFILE=AADDSDEMO
USERNAME=demo90
USERPROFILE=C:\Users\demo90
windir=C:\Windows
```

“SET”を入力し改行キーを入力します。

- ✓ USERDOMAINにはいわゆる所属するAAD-DSのNETBIOSドメイン名が表示されています。本ハンズオンでは“AADDSDEMO”です。

```
USERDNSDOMAIN=AADDSDEMO.ONMICROSOFT.COM
USERDOMAIN=AADDSDEMO
```

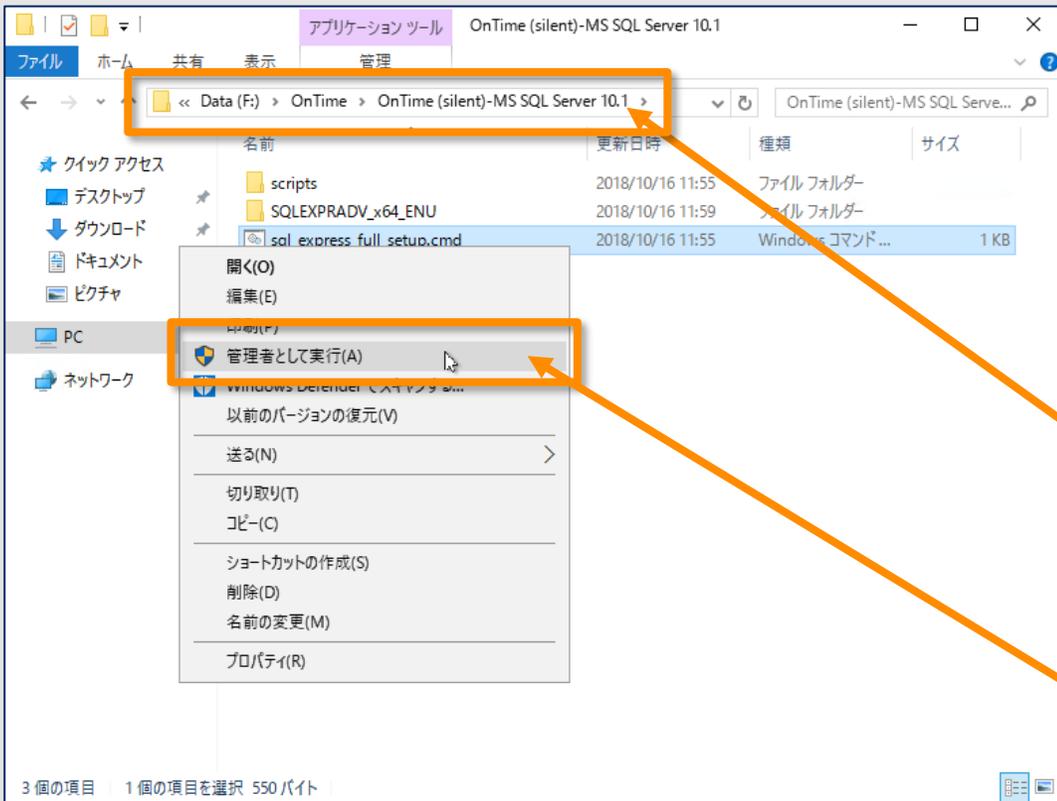
- ✓ このUSERDOMAINは後ほどインストールするOnTimeサーバーのライセンス確認時にチェックされます。

補足
USERDNSDOMAINはもちろん先ほどログインした“aaddsdemo.onmicrosoft.com”になっています。

USERDOMAINを確認したらコマンドプロンプトを閉じます。

OnTimeサーバーの為に 「SQL Server」のインストール

OnTime用SQL Serverのインストール



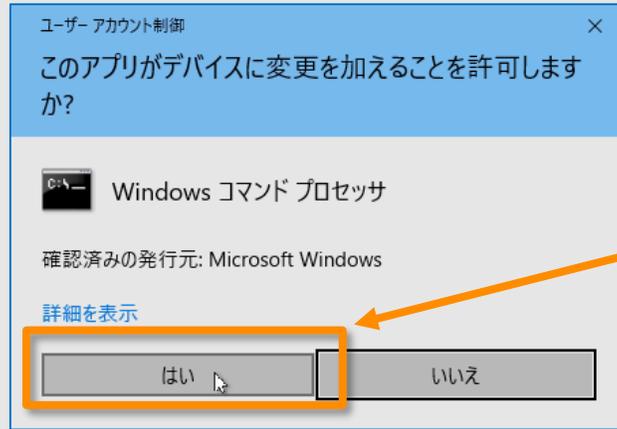
- ✓ OnTimeではバックエンドのデータストアとしてSQL Serverを使用します。
- ✓ 簡易にインストール出来るようサイレントインストール用スクリプトファイルを準備しています。
- ✓ 今回は予めダウンロードして展開してあります。
- ✓ SQL Serverのインストールは10分程度掛かるので先に行っておきます。

エクスプローラーを開き、以下のフォルダに移動します。

F:¥OnTime¥OnTime (silent)-MS SQL Server 10.1

“sql_express_full_setup.cmd”を選択します。
マウス右ボタンメニュー「管理者として実行」を選択します。

SQL Serverのインストール画面



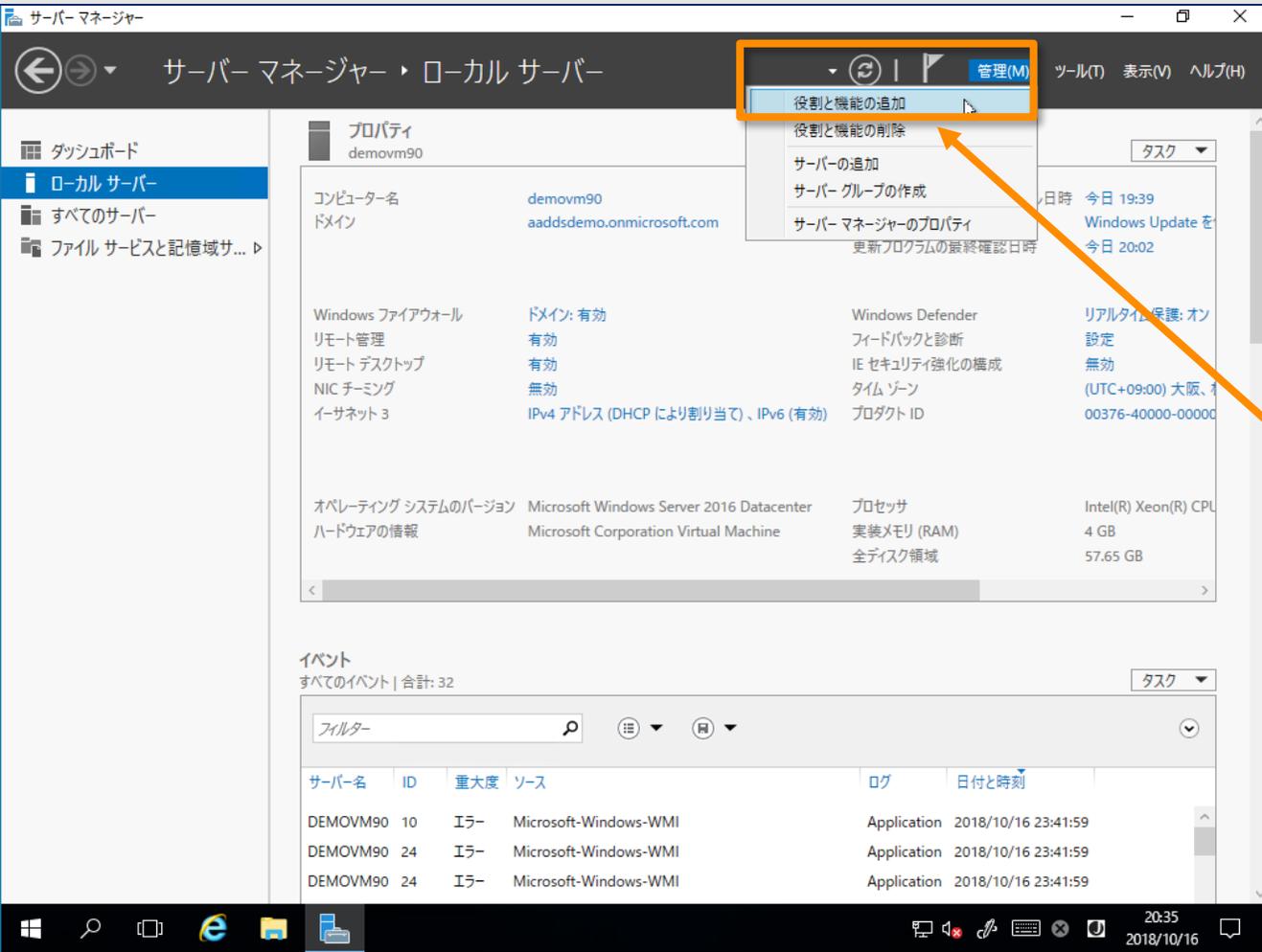
インストールの確認画面(UAC画面)が開きますので「はい」をクリックします。



- ✓ スクリプトが実行されている画面が出てきますので閉じずにそのままお待ちください。インストールが完了するとコマンドプロンプトは自動的に閉じますのそのまま置いておきます。
- ✓ インストールは通常5分から10分程度で完了します。

Azure AD Domain Servicesの 管理用機能の追加

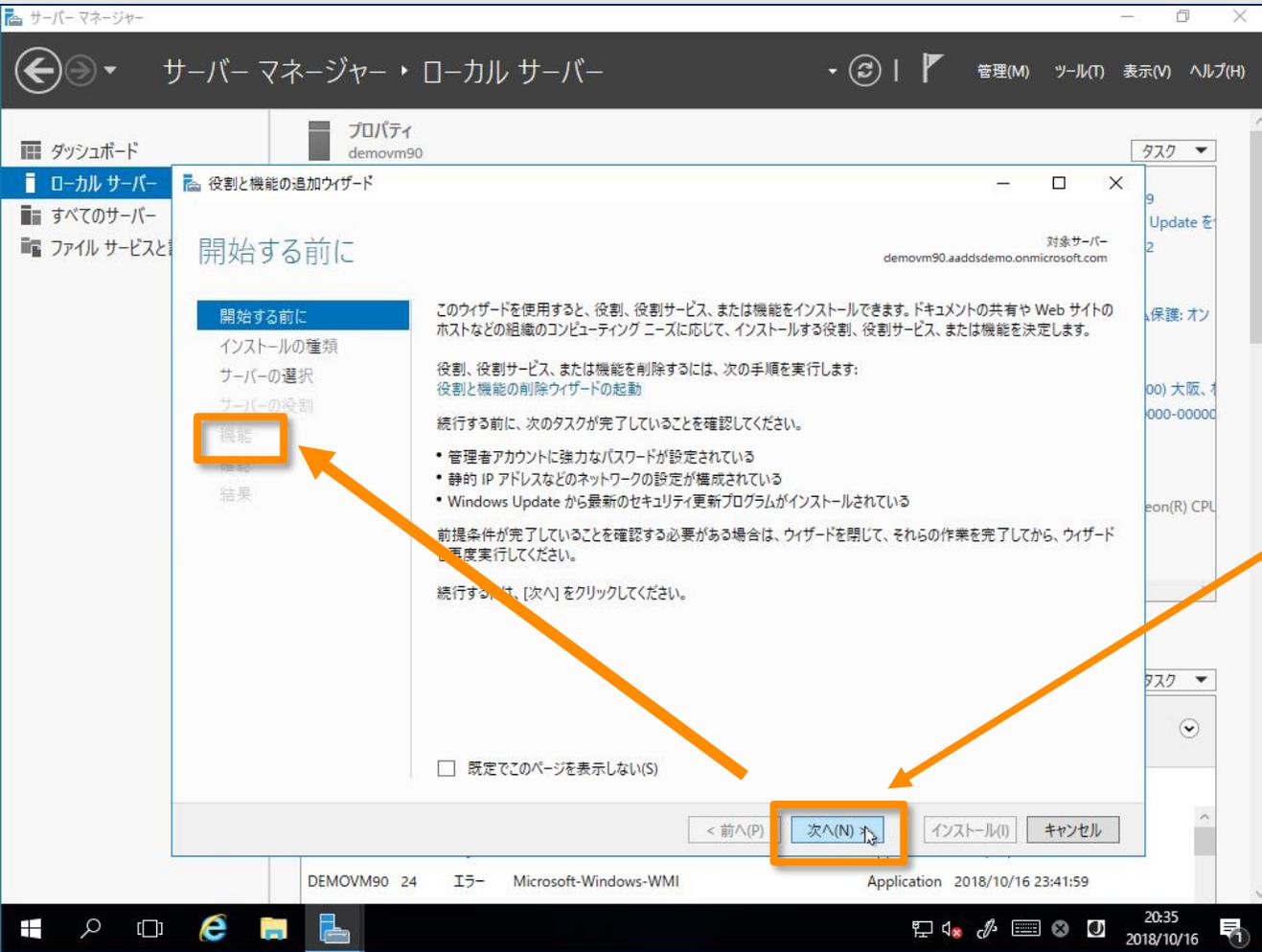
AAD-DS管理用機能の追加 1



- ✓ AAD-DSはサービスを提供するサーバーに直接ログインすることは出来ません。よってADの各種管理タスクはメンバーサーバーから管理することになります。
- ✓ 本ハンズオンでは操作中のVMにAAD-DS管理用の機能を追加してAAD-DSの状態を確認します。

サーバーマネージャーの右上の管理から「役割と機能の追加」をクリックします。

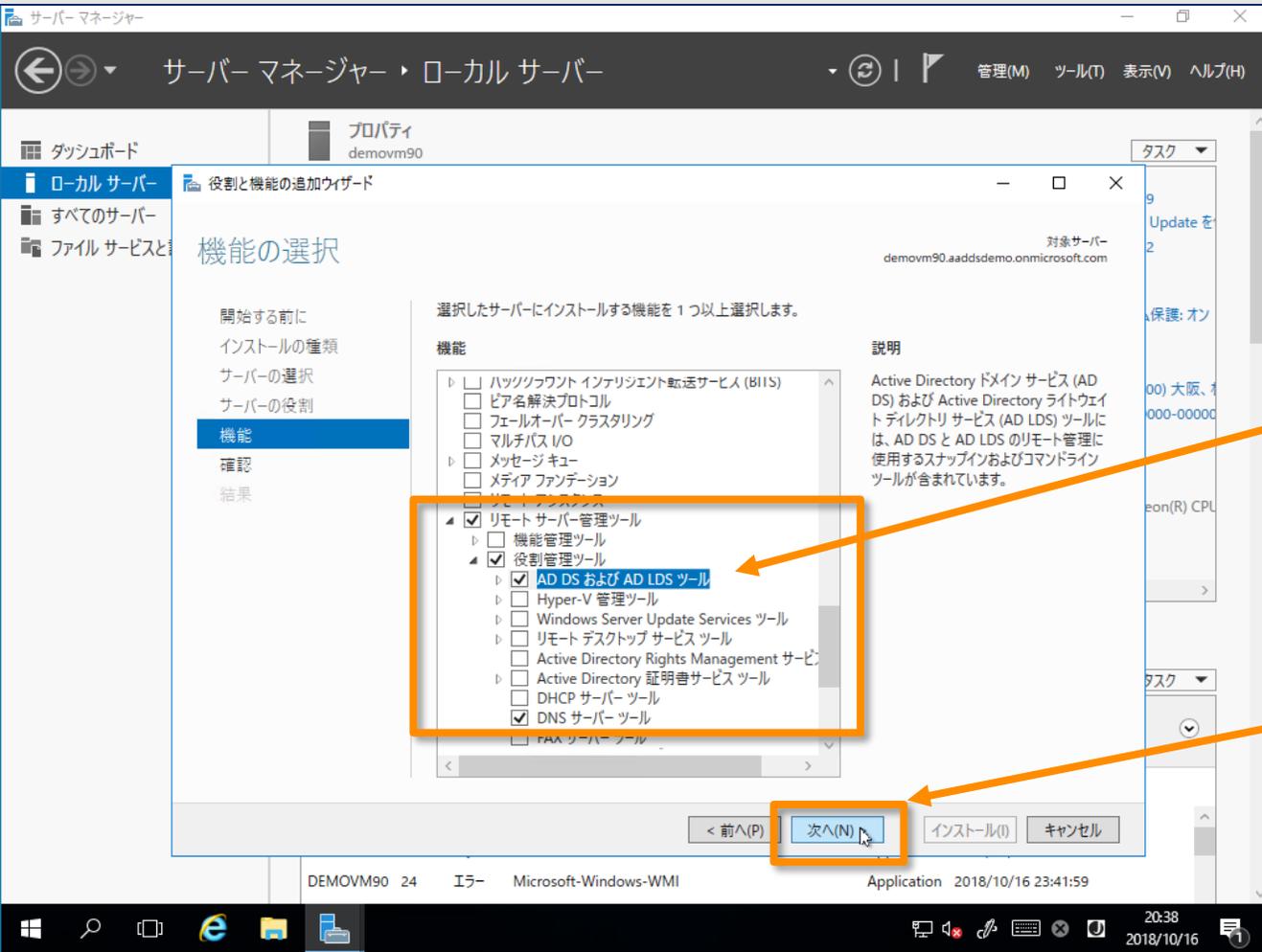
AAD-DS管理用機能の追加 2



✓ 「役割と機能の追加ウィザード」が立ち上がります。

「機能」のステップまで「次へ」を4回クリックします。

AAD-DS管理用機能の追加 3

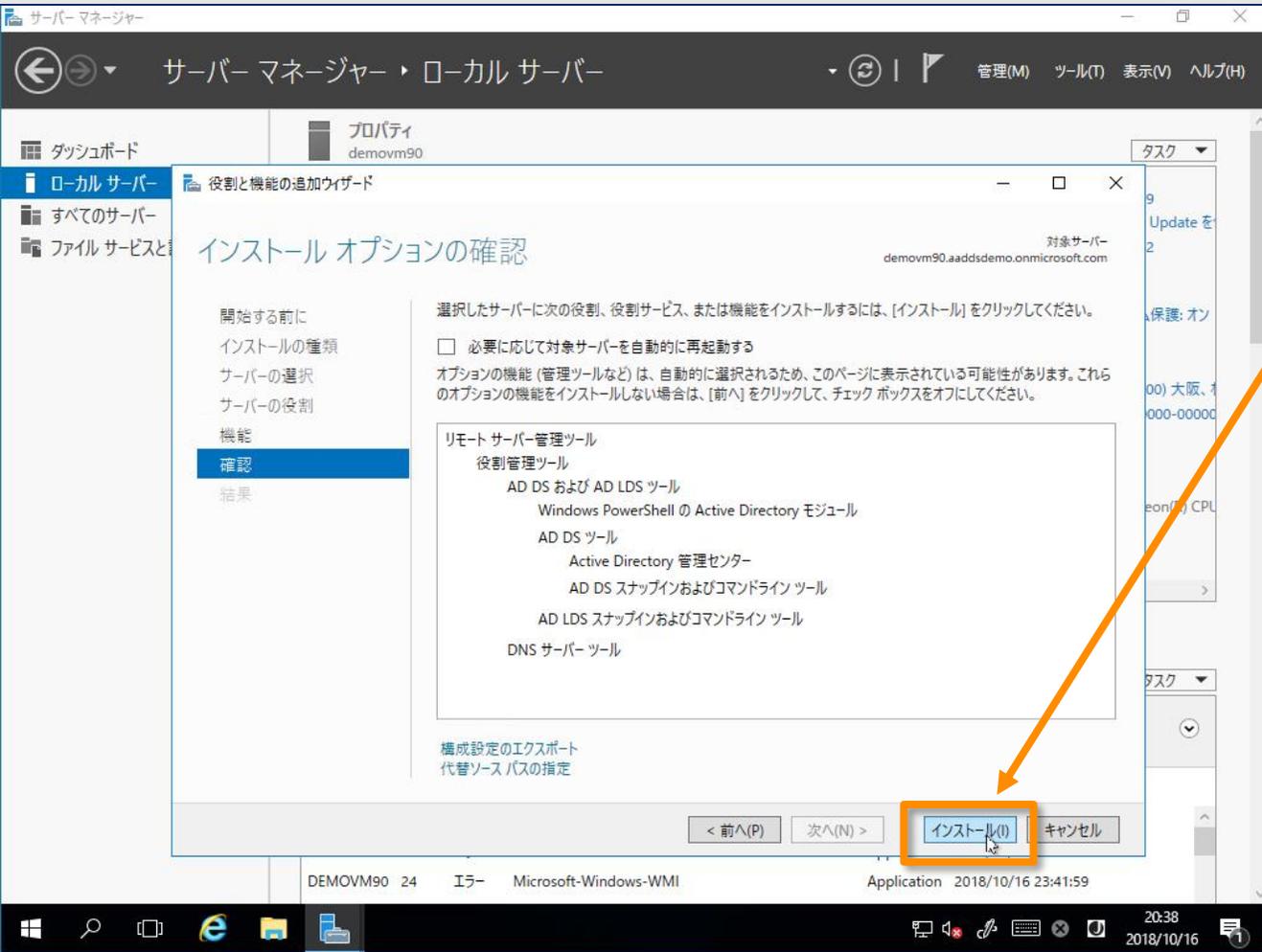


- ✓ 「機能」ステップでは「AD DS および AD LDS ツール」「DNS サーバーツール」など適宜必要に応じて選択します。

下までスクロールして「リモートサーバ管理ツール / 役割管理ツール」を展開し「AD DS および AD LDS ツール」「DNS サーバーツール」をクリックして選択します。

「次へ」をクリックします。

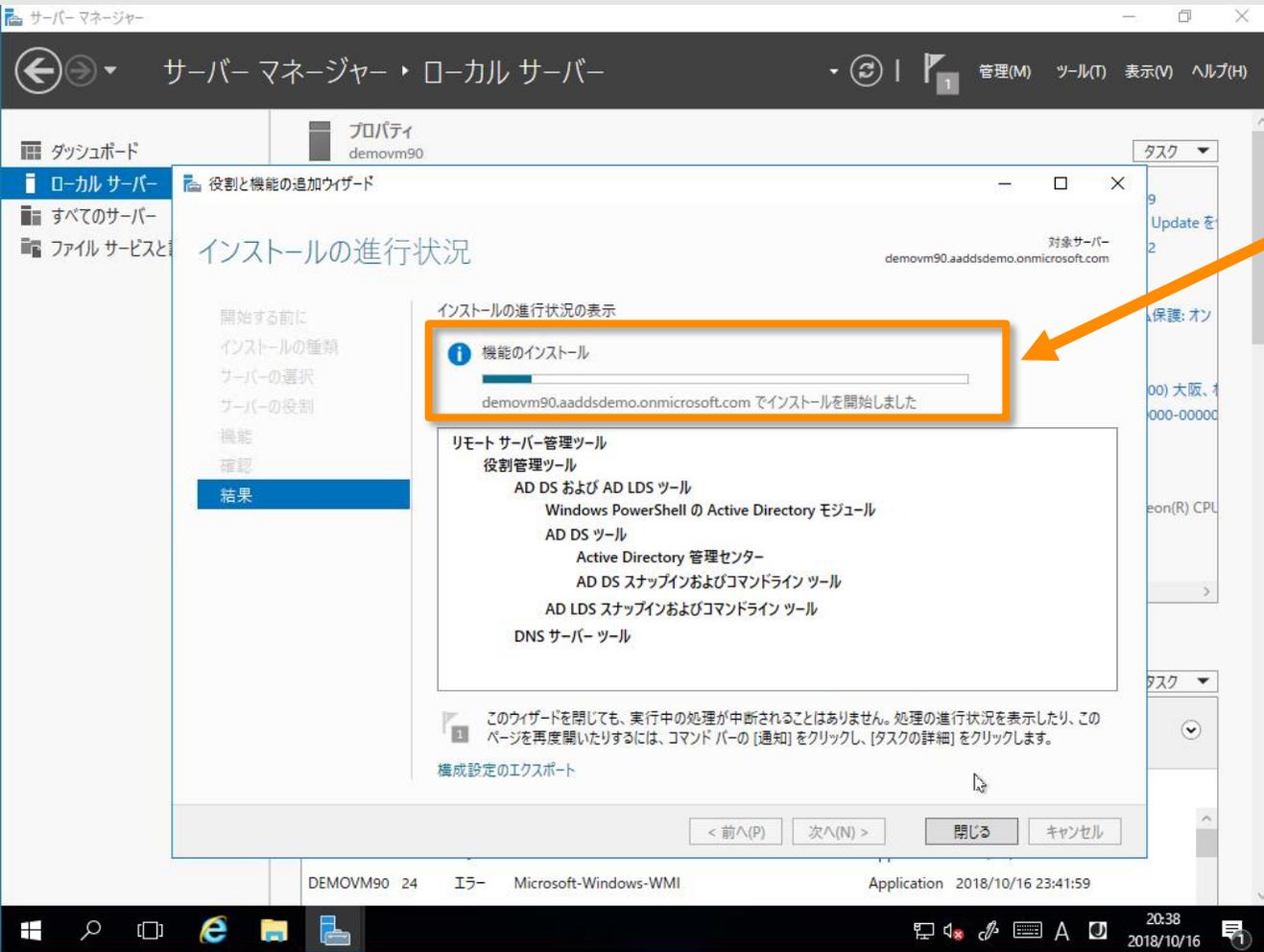
AAD-DS管理用機能の追加 4



✓ 選択したツールだけであれば再起動は発生しません。

そのまま「インストール」をクリックします。

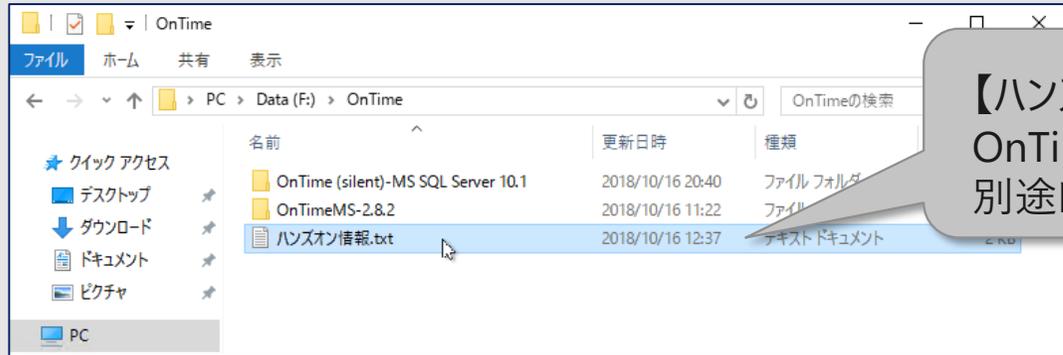
AAD-DS管理用機能の追加 5



- ✓ 5分程度でインストールが完了しますのでそのまま置いておきます。
- ✓ ウィザードを閉じずに本ハンズオンでは次のステップに進みます。

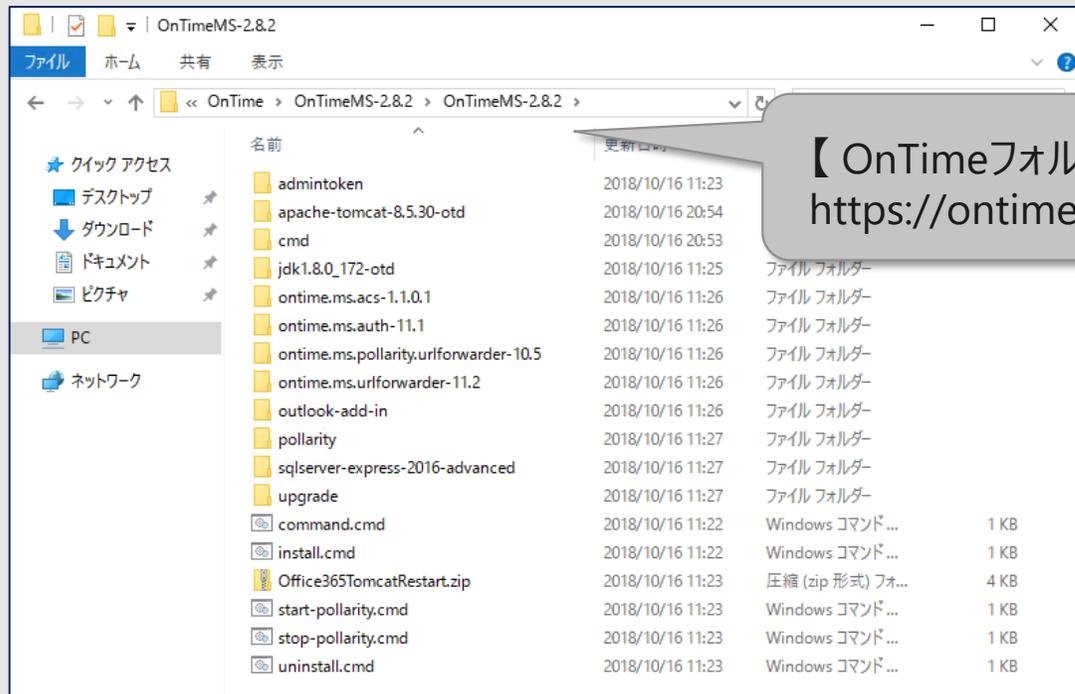
「SQL Server」とAAD-DS管理用 機能の追加の間に 準備したフォルダとファイルの紹介

VMに準備したフォルダとファイルのご案内

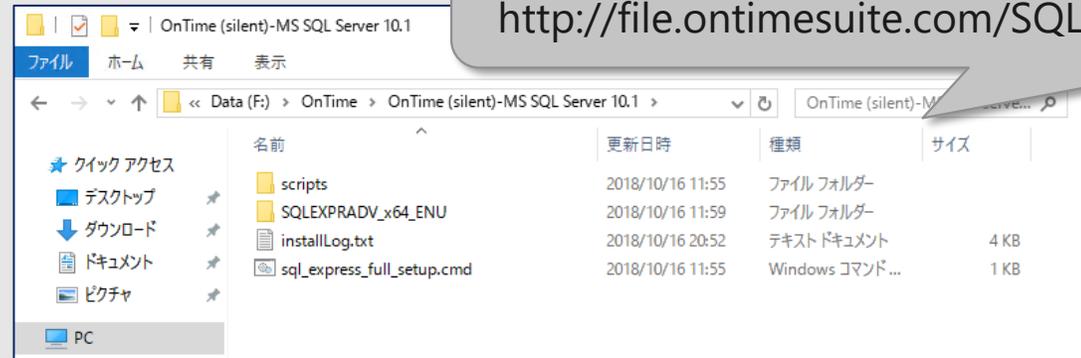


【ハンズオン情報.txt】
OnTime各種設定メモ
別途印刷してお手元に。

- ✓ VMには後ほど作業するOnTimeのインストールに必要なファイル群が“F:OnTime”フォルダに準備されています。
- ✓ それらファイルは全てOnTimeサイトからダウンロードできます。
- ✓ 本ハンズオンでは予めzipを展開して準備してます。



【OnTimeフォルダ】
<https://ontimesuite.jp/downloads/downloadms/>



【SQL Serverフォルダ】
<http://file.ontimesuite.com/SQLExpress/>

“ハンズオン情報.txt” ファイルの中身について

```
ハンズオン情報.txt - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
■OnTime Admin Center
http://demovm99.aaddsdemo.onmicrosoft.com:8080/ontimegcms/admin

id:
admin
pw:
Innovation

■アクティベーションキー
9vrdIKAiA_Xt835ax4_jskMJQwF8Pqv0_DVwk-t0uxo7KpSZkDrTGEd6ByYyLpbfZr6GY84Lpiga
DGzBqZRRk iw0UcraLTaMstBMQMxvJc j6brqVMTw_dBv3fWQ0TF7NxMzcgCvUv5URMw-E7tExnCSA
ZXNud2DVhSQc812kFTb9nwJRV75GJvz7 lLnTfw05THAFzLoj5EFMRbvJlci IP01oTt6712HA2YKG
JAGb0A0dJZMLdIvjMOfEhXmXmJGBEj7JM5_hhyFByqs1 IQA8UnumsU8K-wZ_Ky- izpsV4n2yZVe
U8bMcJstQv0-CYtFCHw-Dz3QYs5CjZi9W-OGOR_YaT0bvPVPKMHY1FbSF9ze7u68XUUSJV-SNA5
o0am

■OnTimeDemo
Impersonation User:
otsyncdemo@ontimedemo.onmicrosoft.com
pw:
OnTime123456

ユーザー
ontimeusers@ontimedemo.com
会議室
ontimerooms@ontimedemo.com
備品
ontimeresources@ontimedemo.com

■デフォルトユーザ-設定
9:00-12:00,13:00-17:30
顧客 教育 休暇 出張 在宅 サポート プロジェクト 休日

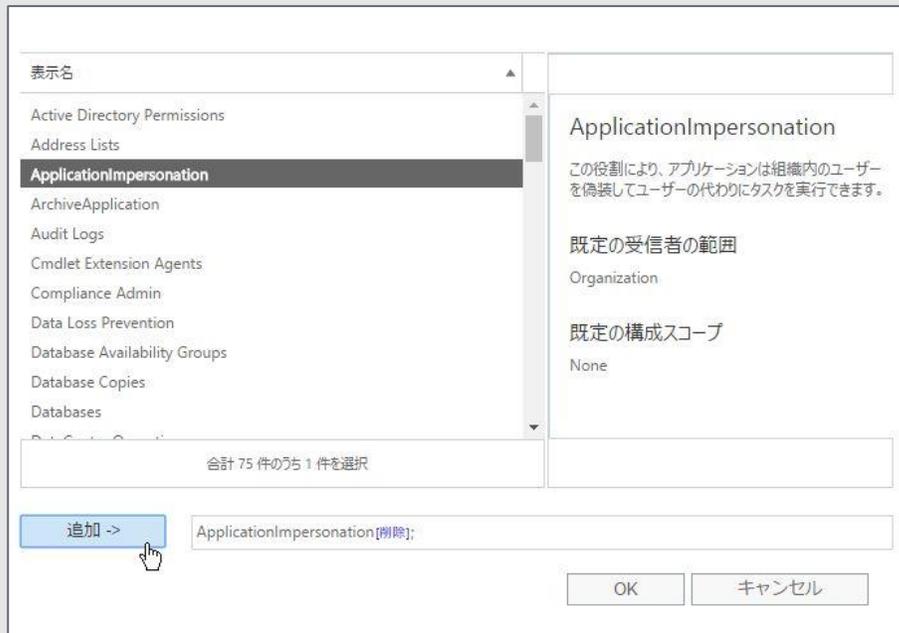
■OnTime Desktop クライアント
http://demovm99.aaddsdemo.onmicrosoft.com/ontimegcms/desktop

■OnTime Mobile クライアント
http://demovm99.aaddsdemo.onmicrosoft.com/ontimegcms/Mobile
```

1. OnTime Admin CenterのURL
2. OnTime Admin Centerのログイン情報
3. アクティベーションキー
試用版のダウンロードは以下のURL
 - <https://ontimesuite.jp/downloads/tryms/>
4. 一つ目の同期対象のOffice 365情報
 - 偽装ユーザー(Impersonation User)情報
 - 同期対象のユーザー、会議室、備品のグループメールアドレス
5. デフォルトユーザー設定情報
6. OnTime デスクトップ クライアントのURL
7. OnTime モバイル クライアントのURL
8. 二つ目の同期対象のOffice 365情報
 - 偽装ユーザー(Impersonation User)情報
 - 同期対象のユーザー、会議室、備品のグループメールアドレス

各用語の説明

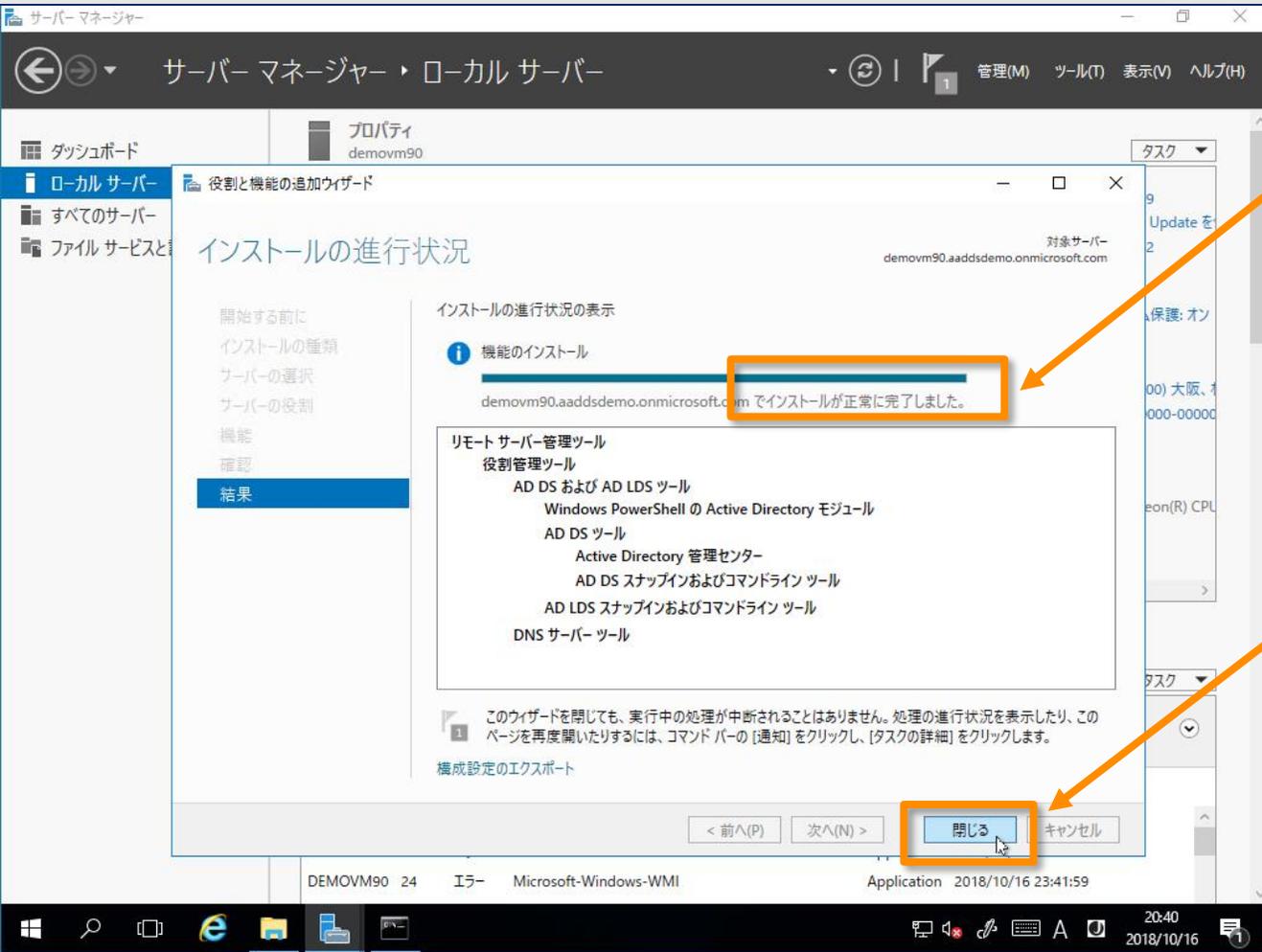
- ✓ 偽装ユーザー(Impersonation User)について
 - OnTime for MicrosoftをExchange OnlineやオンプレのExchangeに接続する際に、全ユーザーをImpersonation(日本語で演技や偽装)してスケジュールデータの入出力を行う1人のユーザーアカウントを指します。
詳細は以下のURL参照
<https://www3.ontimesuite.jp/impersonation/>



- ✓ グループメールアドレス
 - OnTime for MicrosoftをExchange OnlineやオンプレのExchangeと同期させる際に対象となるユーザー、会議室、備品を選択する必要があります。
 - OnTimeでは配布グループ、アドレス付きセキュリティグループもしくはLDAPにて指定できます。
 - 作成する際、「このグループをアドレス一覧に表示しない」のチェックは必ず外してください。

AAD-DS管理用機能でAAD-DS を確認

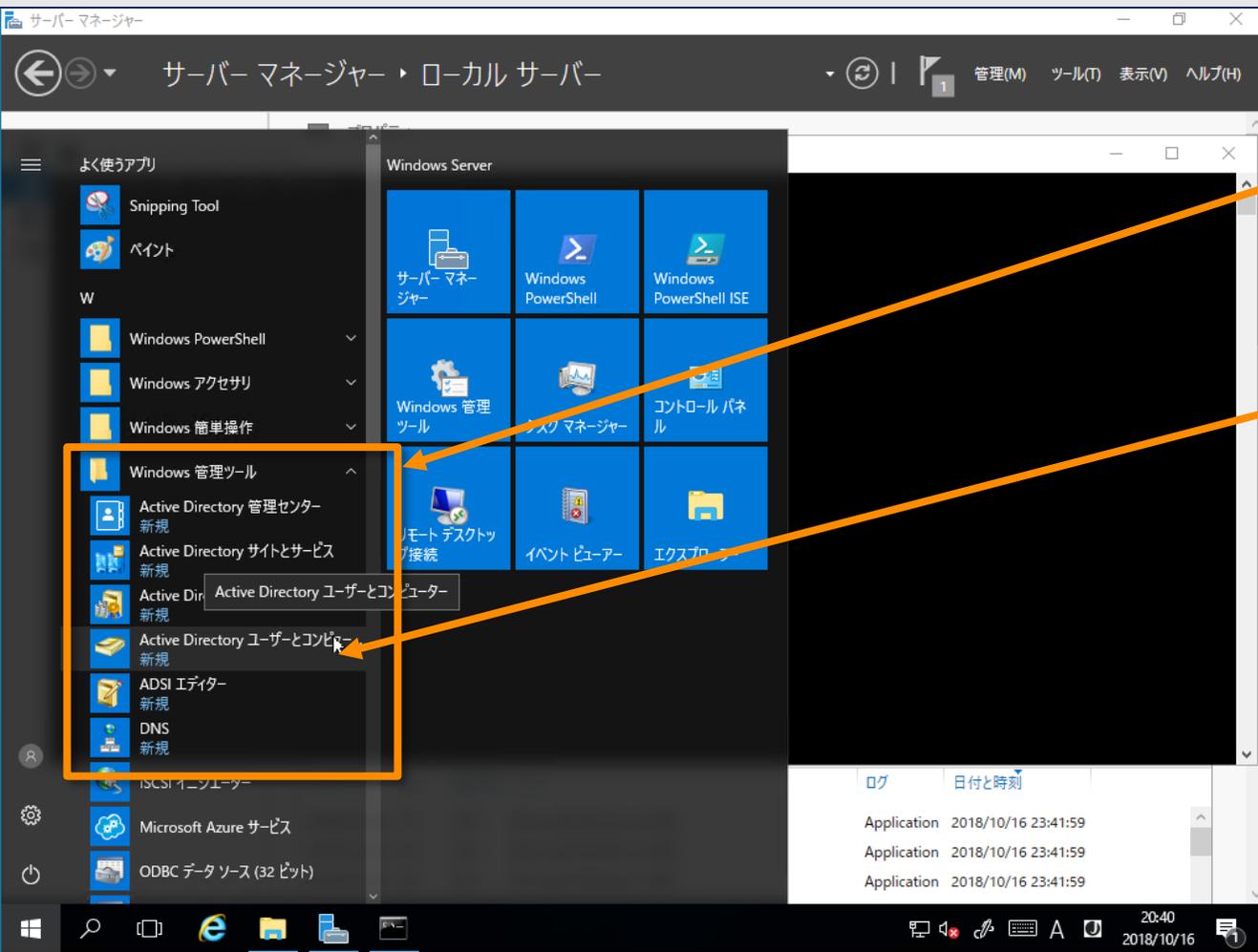
AAD-DS管理用機能の追加の続き



「……完了しました。」と表示されているのを確認します。

「閉じる」をクリックします。

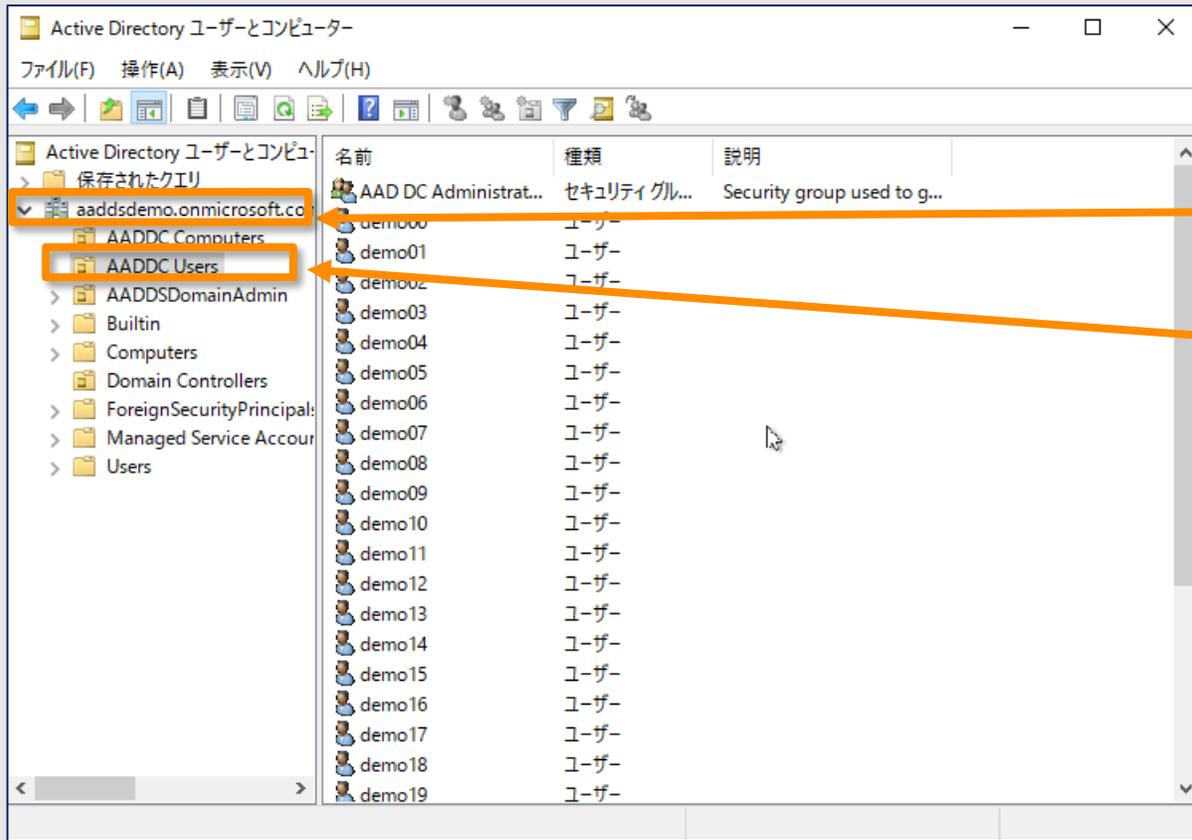
AAD-DS管理用機能でAAD-DSを確認します



Windowsメニューのアプリから「Windows管理ツール」を開き各種AD管理ツールがインストールされたことを確認します。

「Active Directory ユーザーとコンピューター」をクリックして起動します。

「Active Directory ユーザーとコンピューター」で確認 1



- ✓ 起動すると本ハンズオンで既に所属する "aaddsdemo.onmicrosoft.com" ドメインに接続しています。

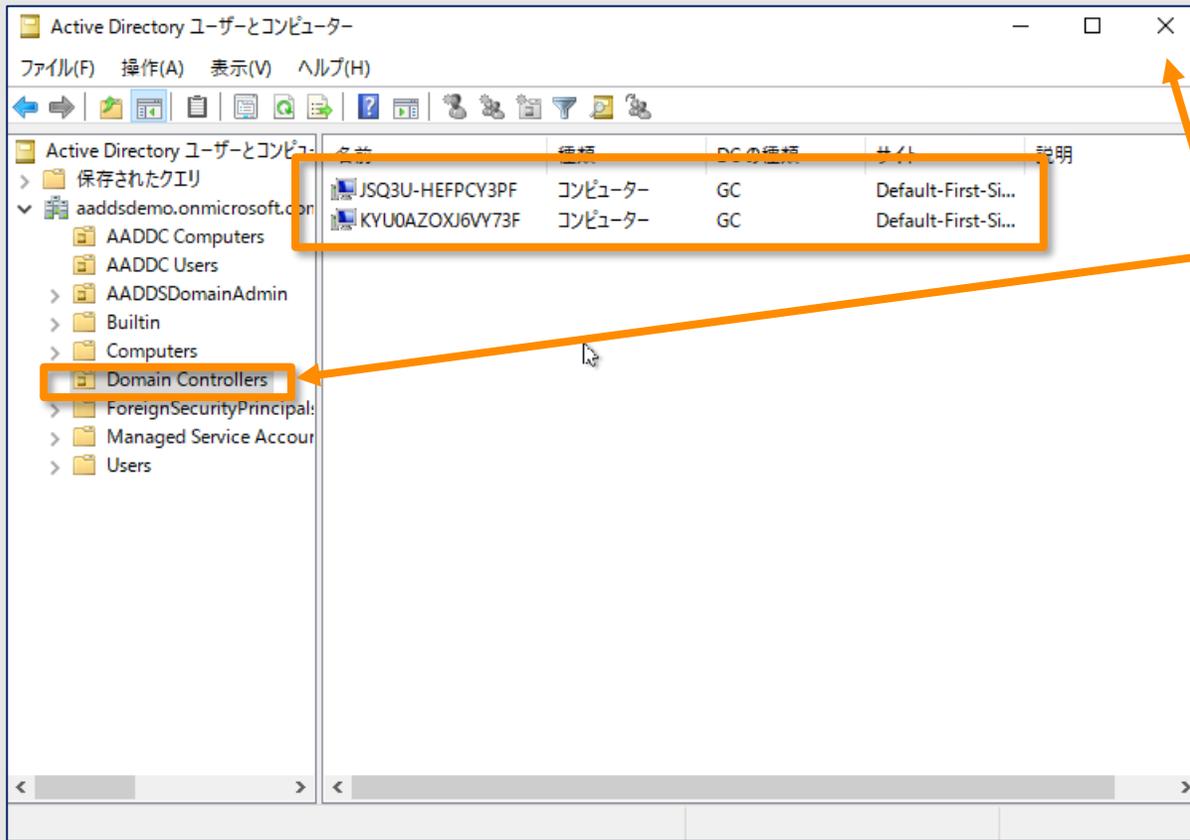
ドメインをクリックして展開します。

次に「AADDCC Users」をクリックします。

- ✓ 一覧には本ハンズオンのユーザーが表示されています。
- ✓ リンクの管理はできるのは以下の3種類です。
OU:AADDCC Users (作成・削除は不可)
OU:AADDCC Computers (作成・削除は可能)
管理者が作成したOU

GPOの管理ができるのは以下のGPOです。
AADDCC Users GPO
AADDCC Computers GPO
管理者が作成したGPO

「Active Directory ユーザーとコンピューター」で確認 2



次に「Domain Controllers」をクリックします。

- ✓ 一覧にはSaaSとして提供されている「Azure AD Domain Services」のサーバーに値するコンピュータが表示されています。

右上の「×（閉じる）」からツールを閉じます。

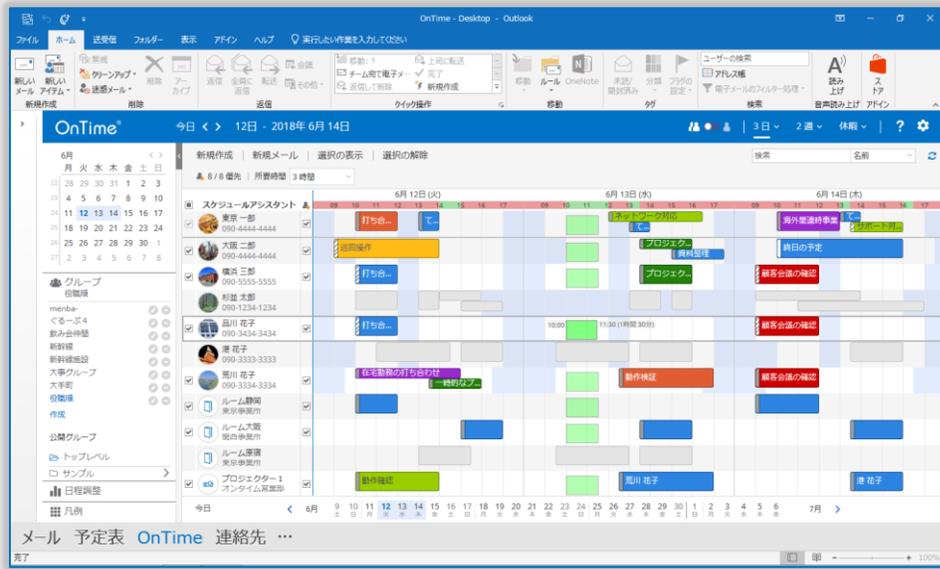
OnTime製造元CEOよりご挨拶

Jens Overgaard Dinesen

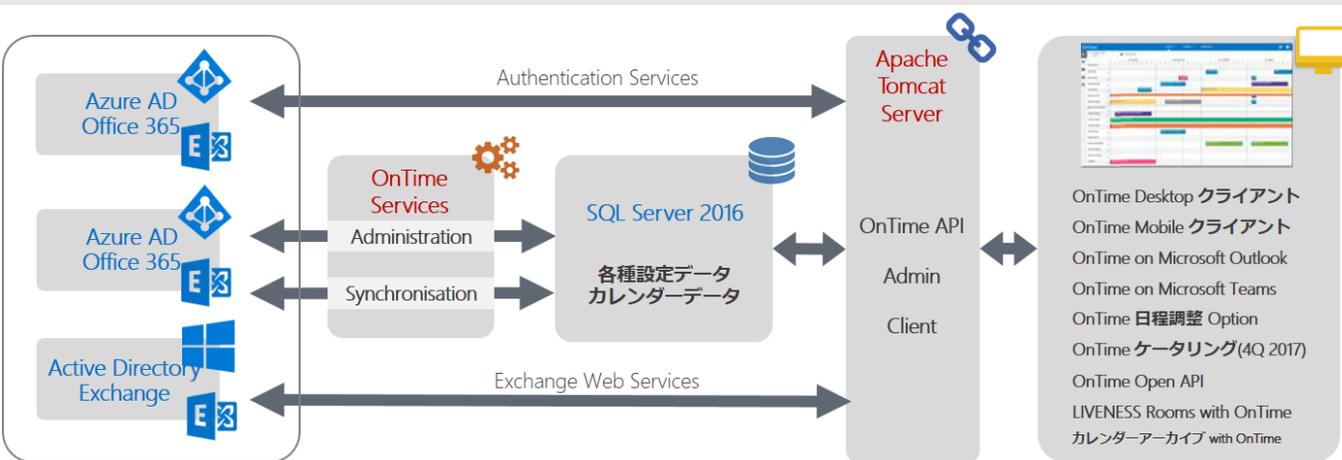


- ✓ IntraVision Aps
CEO & Founder
- ✓ Office 365 Brugergruppen i Danmark
(Office 365 User Group in Denmark)
Founding Board Member
- ✓ jod@intravision.dk
- ✓ [@JensOvergaard](#)
- ✓ <https://www.linkedin.com/in/jensovergaarddinesen/>
- ✓ <https://www.facebook.com/Jens.Overgaard.Dinesen>

OnTime Group Calendar for Microsoftとは



- ✓ ExchangeやExchange Onlineと同期して使える高速高機能グループスケジュールソフトです。
- ✓ 大規模ユーザー数でもサクサク動作します。
- ✓ マルチテナント、オンプレとクラウドのハイブリッドなど複数のExchange環境と同時接続できます。
- ✓ Active Directoryの属性を使用した階層化グループを自動生成します。
- ✓ Microsoft Teamsにチームのスケジュール管理も実現します。
- ✓ OpenAPIによるアプリケーション開発も可能です。
- ✓ 会議室前ドアサイン
「LIVENESS Rooms with OnTime」
- ✓ 毎日のスケジュールスナップショット
「カレンダーアーカイブ with OnTime」
- ✓ 組織に合わせた認証方式をサポート。



OnTimeサーバーのインストール

OnTimeサーバーのインストール

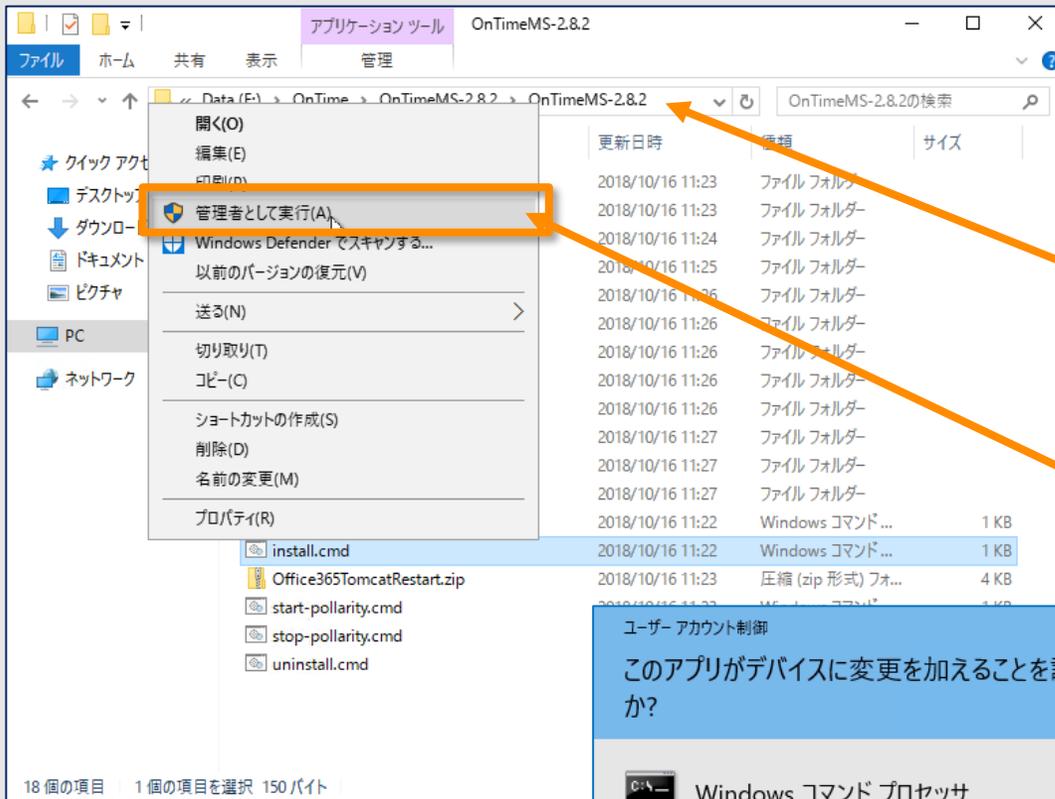
- ✓ 次にActive Directoryの認証を必要とするアプリとして「OnTime Group Calendar for Microsoft」をインストールします。
- ✓ 先ほど実行したSQL Serverのサイレントインストールが完了していることを確認します。

以下のフォルダに移動します。

F:¥OnTime¥OnTimeMS-2.8.2¥OnTimeMS-2.8.2

“install.cmd”ファイルを選択しマウス右ボタンメニューから管理者として実行します。

インストールの確認画面(UAC画面)が開きますので「はい」をクリックします。



約 1 分程度のOnTimeインストール画面 (参考)

コマンドプロンプト
が開きインストール
バッチが走り出
します。

```
F:\OnTime\OnTimeMS-2.8.2\OnTimeMS-2.8.2%cmd>sqlcmd -i ".\sqlser
Changed database context to 'ontimems.25.8'.
F:\OnTime\OnTimeMS-2.8.2\OnTimeMS-2.8.2%cmd>PAUSE
続行するには何かキーを押してください . . . . .
```

そのままリターン

```
F:\OnTime\OnTimeMS-2.8.2\OnTimeMS-2.8.2%cmd>sc config "ontime.ms
[SC] ChangeServiceConfig SUCCESS
F:\OnTime\OnTimeMS-2.8.2\OnTimeMS-2.8.2%cmd>pause
続行するには何かキーを押してください . . . . .
```

そのままリターン

```
SERVICE_NAME: ontime.ms.acs
TYPE           : 10  WIN32_OWN_PROCESS
STATE          : 2  START_PENDING
                (NOT_STOPPABLE, NOT_PAUSABLE, IGN
WIN32_EXIT_CODE : 0  (0x0)
SERVICE_EXIT_CODE : 0  (0x0)
CHECKPOINT     : 0x0
WAIT_HINT     : 0x0
PID           : 4904
FLAGS         :
F:\OnTime\OnTimeMS-2.8.2\OnTimeMS-2.8.2%cmd>pause
続行するには何かキーを押してください . . . . .
```

そのままリターン

```
SERVICE_NAME: ontime.ms.urlforwarder
TYPE           : 10  WIN32_OWN_PROCESS
STATE          : 2  START_PENDING
                (NOT_STOPPABLE, NOT_PAUSABLE, IGN
WIN32_EXIT_CODE : 0  (0x0)
SERVICE_EXIT_CODE : 0  (0x0)
CHECKPOINT     : 0x0
WAIT_HINT     : 0x7d0
PID           : 1404
FLAGS         :
続行するには何かキーを押してください . . . . .
```

そのままリターン

```
SERVICE_NAME: ontime.ms.pollarity.urlforwarder
TYPE           : 10  WIN32_OWN_PROCESS
STATE          : 2  START_PENDING
                (NOT_STOPPABLE, NOT_PAUSABLE, IGN
WIN32_EXIT_CODE : 0  (0x0)
SERVICE_EXIT_CODE : 0  (0x0)
CHECKPOINT     : 0x0
WAIT_HINT     : 0x7d0
PID           : 3588
FLAGS         :
続行するには何かキーを押してください . . . . .
```

そのままリターン

```
SERVICE_NAME: tomcat8
TYPE           : 10  WIN32_OWN_PROCESS
STATE          : 2  START_PENDING
                (NOT_STOPPABLE, NOT_PAUSABLE, IGN
WIN32_EXIT_CODE : 0  (0x0)
SERVICE_EXIT_CODE : 0  (0x0)
CHECKPOINT     : 0x0
WAIT_HINT     : 0x7d0
PID           : 1308
FLAGS         :
続行するには何かキーを押してください . . . . .
```

そのままリターン

```
Creating Metadata table: [dbo].[schema_version]
Current version of schema [dbo]: << Empty Schema >>
Migrating schema [dbo] to version 1 - create all tables release 1
Migrating schema [dbo] to version 2 - temporary add email date
Migrating schema [dbo] to version 3 - add dates to polls and users
Migrating schema [dbo] to version 4 - add timezone to poll
Migrating schema [dbo] to version 5 - add user email to failed call
Migrating schema [dbo] to version 6 - add casesensitivity to placeh
Migrating schema [dbo] to version 7 - set owner not null
Migrating schema [dbo] to version 8 - add config table
Migrating schema [dbo] to version 9 - add custom user emails
Migrating schema [dbo] to version 10 - non null created updated
Successfully applied 10 migrations to schema [dbo] (execution time 0
続行するには何かキーを押してください . . . . .
```

そのままリターン

```
Installing the service 'Pollarity' ...
Using CATALINA_HOME: "F:\OnTime\OnTimeMS-2.8.2\OnTimeMS-2.8.2%po
Using CATALINA_BASE: "F:\OnTime\OnTimeMS-2.8.2\OnTimeMS-2.8.2%po
Using JAVA_HOME: ""
Using JRE_HOME: ""
Warning: Neither 'server' nor 'client' jvm.dll was found at JRE_HOME
Using JVM: "auto"
The service 'Pollarity' has been installed.
Do you want to enable pollarity? (y/n) : y
```

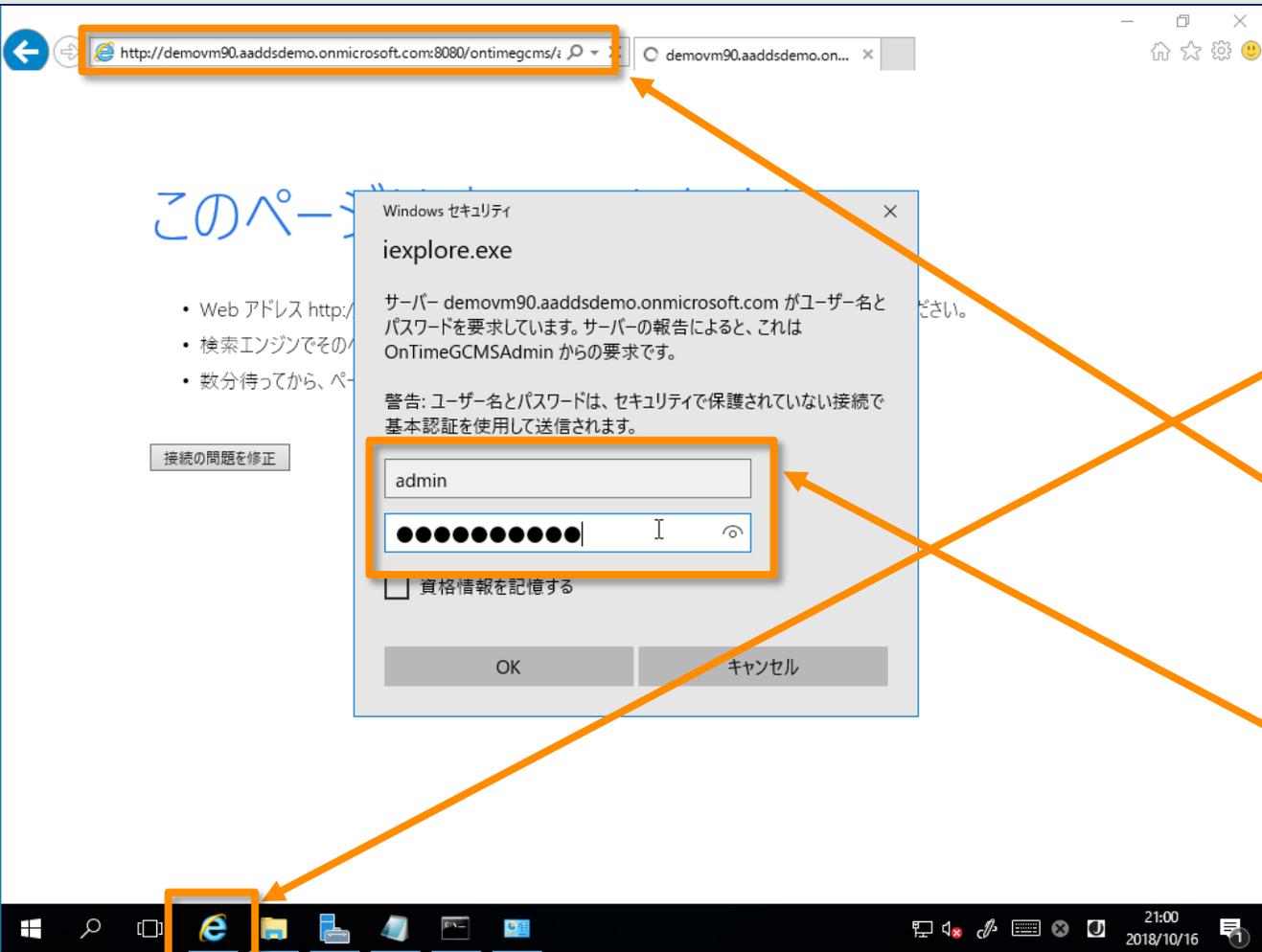
"y"とリターン

```
Apache Tomcat 8.5 Pollarity サービスを開始します。
Apache Tomcat 8.5 Pollarity サービスは正常に開始されました。
[SC] ChangeServiceConfig SUCCESS
Pollarity was successfully started
続行するには何かキーを押してください . . . . .
```

そのままリターン
で完了

OnTime Admin Centerで設定

OnTime Admin Center を開く



- ✓ インストールが正常に完了していると以下のURLでOnTime管理センターを開けます。
ポート8080の指定を必ずつけて下さい。
 - <http://HOSTNAME:8080/ontimegcms/admin>

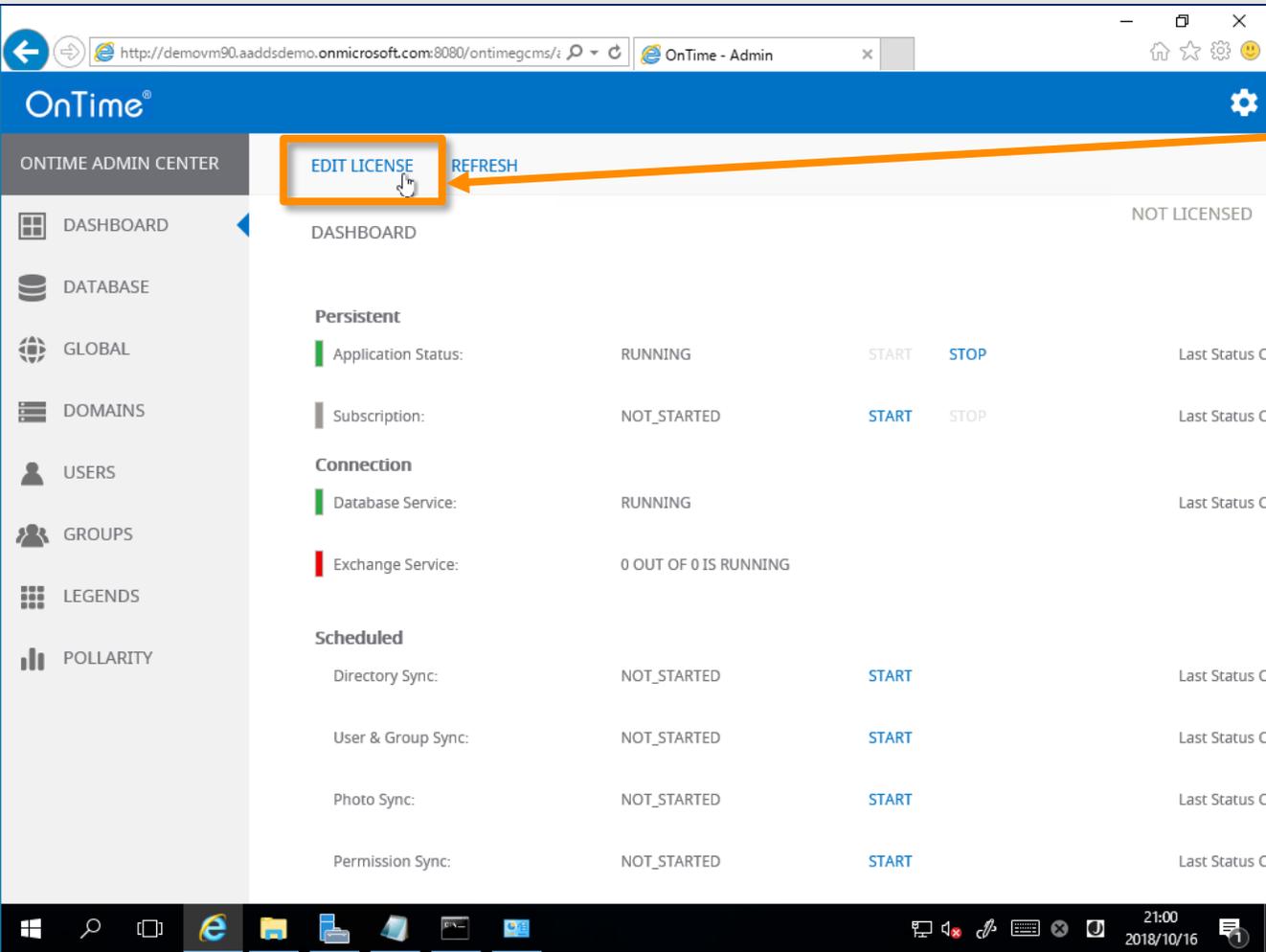
画面下のタスクバーから「IE」をクリックして起動します。
セキュリティのダイアログが出れば「OK」をクリックします。

本ハンズオンでは“ハンズオン情報.txt”に記載のURLのホスト名の99の部分だけVMの番号に変更して開いてください。
<http://demovm99.aaddsdemo.onmicrosoft.com:8080/ontimegcms/admin>

ログイン名とパスワードも“ハンズオン情報.txt”に記載のアカウントでログインします。

- ✓ パスワードの変更については以下のFAQを参照下さい。
 - <https://www3.ontimesuite.jp/change-pw/>

アクティベーションキーの登録



OnTime Admin Centerが開いたら
左上の「EDIT LICENSE」をクリックします。

アクティベーションキーの入力

The screenshot shows the OnTime Admin interface. The 'EDIT LICENSE' dialog is open, displaying a 'License Key' field with a text area containing a long alphanumeric string. The 'SAVE' button is highlighted with an orange box. The background shows the 'ONTIME ADMIN CENTER' with a 'DASHBOARD' tab selected. The application status is 'RUNNING'.

Application Status	START	STOP	Last Status C
Application Status: RUNNING	START	STOP	Last Status C
Directory Sync:	NOT_STARTED	START	Last Status C
User & Group Sync:	NOT_STARTED	START	Last Status C
Photo Sync:	NOT_STARTED	START	Last Status C
Permission Sync:	NOT_STARTED	START	Last Status C

「ハンズオン情報.txt」のアクティベーションキーをコピーして貼り付けて投入します。

「SAVE」をクリックします。

サブスクリプションのアクティベーション

Application StatusをSTOPをクリック。

Persistent	Application Status:	RUNNING	START	STOP	Last Status C
	Subscription:	NOT_STARTED	START	STOP	Last Status C

Application StatusをSTARTをクリック。

Persistent	Application Status:	STOPPED	START	STOP	Last Status C
	Subscription:	NOT_STARTED	START	STOP	Last Status C

F5でリロードでライセンス表示を確認。

LICENSED TO AXCEL DEMO LICENSE
Trial Expires: 2018/11/15 9:00:00

Persistent	Application Status:	STOPPED	START	STOP	Last Status C
	Subscription:	NOT_STARTED	START	STOP	Last Status C

SubscriptionをSTARTでグリーンを確認。

✓ Subscriptionの
グリーンランプを確認。

LICENSED TO AXCEL DEMO LICENSE
Trial Expires: 2018/11/15 9:00:00

Persistent	Application Status:	RUNNING	START	STOP	Last Status C
	Subscription:	NOT_STARTED	START	STOP	Last Status C

LICENSED TO AXCEL DEMO LICENSE
Trial Expires: 2018/11/15 9:00:00

Persistent	Application Status:	RUNNING	START	STOP	Last Status C
	Subscription:	RUNNING	START	STOP	Last Status C

UI を日本語に切り替えます

The screenshot shows the OnTime Admin Center interface. The top navigation bar is blue with the OnTime logo and a gear icon for settings. The main content area is divided into a left sidebar with navigation options (DASHBOARD, DATABASE, GLOBAL, DOMAINS, USERS, GROUPS, LEGENDS, POLLARITY) and a central dashboard. The dashboard displays system status for Persistent, Connection, and Scheduled services. A 'SETTINGS' modal window is open on the right, showing a 'Language' dropdown menu set to '日本語 (ja)'. A 'SAVE' button is highlighted with an orange box. The Windows taskbar at the bottom shows the time as 21:04 on 2018/10/16.

- ✓ OnTime Admin Center の UI は英語と日本語に対応しています。
- ✓ 以後の操作は日本語画面で行います。

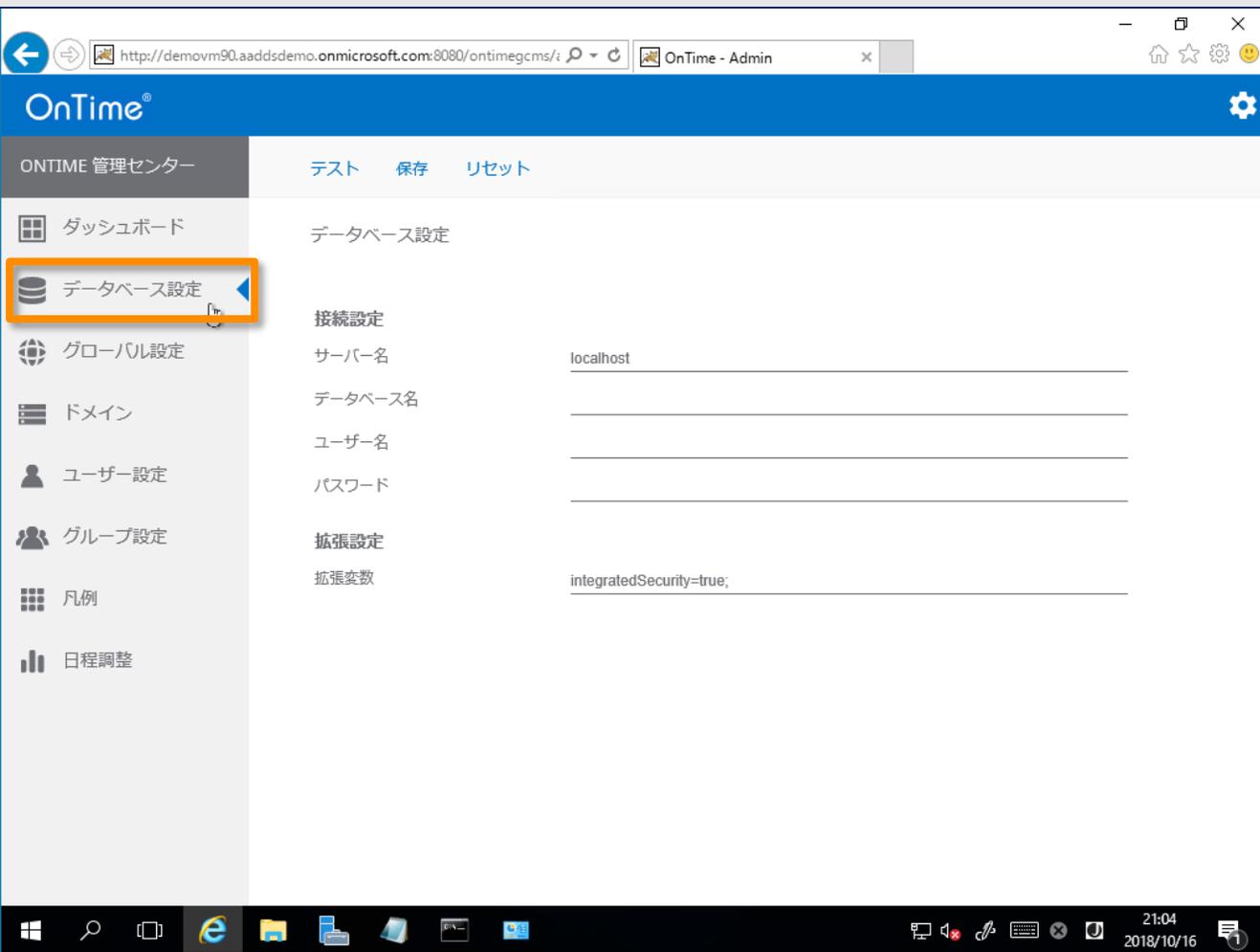
画面の右上の歯車アイコンをクリックします。

Language の選択を日本語に変更します。

「SAVE」をクリックします。

- ✓ 画面がリロードされ日本語の UI に変更されます。

データベース設定を確認します。



- ✓ 左サイドメニューで「データベース設定」を選択します。
- ✓ 標準インストール以外のSQL環境をご利用になる際は、この画面で接続情報の設定を行います。
- ✓ 本ハンズオンでは触りません。

グローバル設定/バックエンドの設定をします

The screenshot shows the OnTime Admin interface. The left sidebar has 'バックエンド' (Backend) selected. The main content area is titled 'グローバル設定 バックエンド' (Global Settings Backend). Under '同期設定' (Sync Settings), there are input fields for '過去の同期期間' (7 days) and '未来の同期期間' (180 days). Under 'サービスの起動' (Services Startup), the 'はい' (Yes) radio button is selected. Under 'ログ設定' (Log Settings), 'ログレベル' (Log Level) is set to '詳細(++)' (Detailed) and 'ログサイズ' (Log Size) is 500 MB. Under 'Authentication', the 'Authentication Service' dropdown is set to 'Form Based - Pass-through'.

- ✓ グローバル設定/バックエンドではOnTimeが動作するための各種設定を行えます。
- ✓ 本ハンズオンでは以下の2つを変更します。

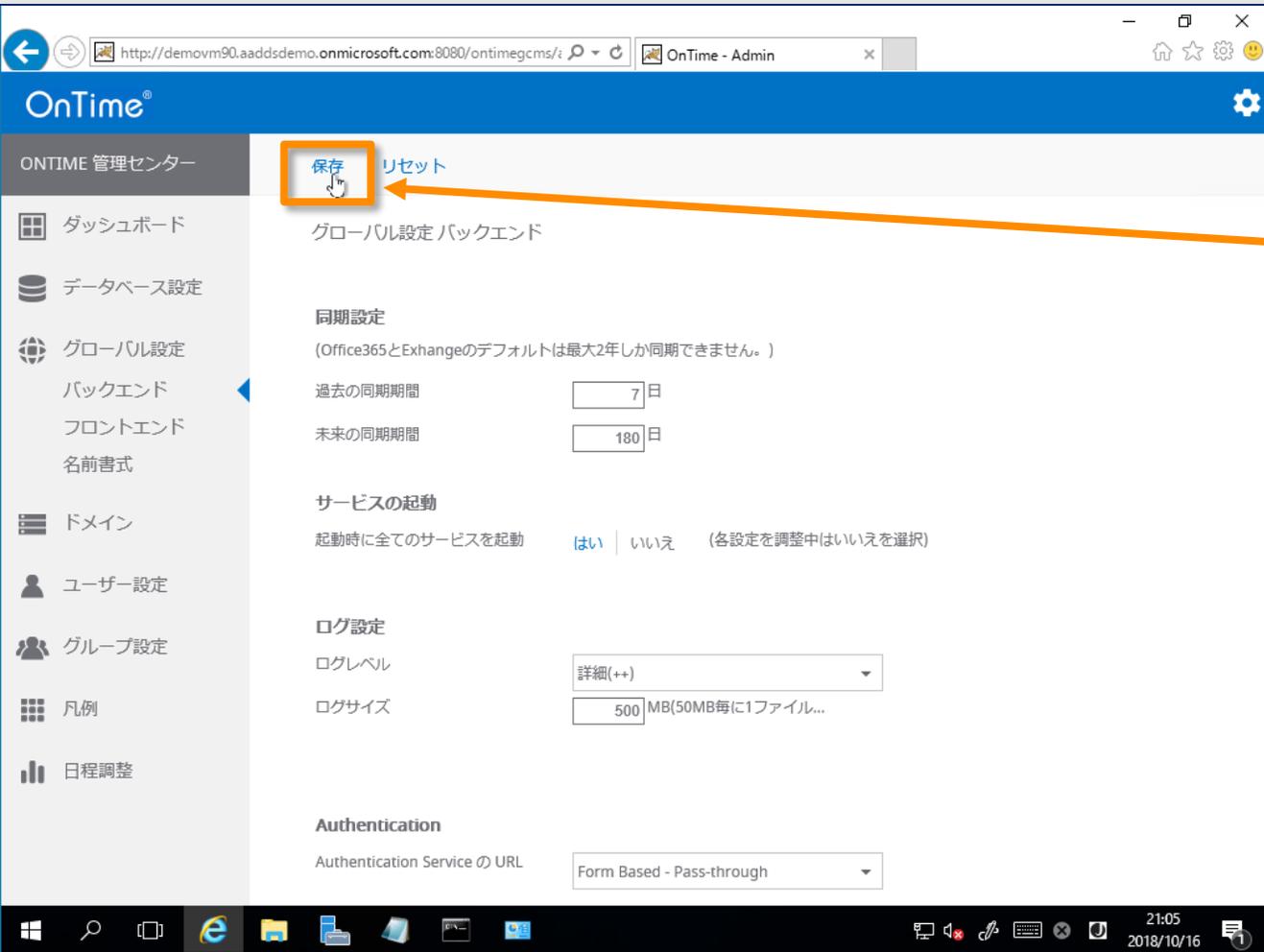
サービスの起動で「はい」を選択します。

- ✓ 「はい」を選択する事でTomcat起動時にサブスクリプションを有効にしてOnTimeを自動起動に設定します。初期設定を実施している際など頻繁に再起動をする場合は起動時の時間を短縮出来るため「いいえ」を選択する事も出来ます。

Authentication Serviceで「Form Based – Pass-through」を選択します。

- ✓ OnTime は幾つかの認証方法に対応しています。今回はシンプルなフォーム認証を使用します。Office 365のアカウントとパスワードでログインされます。詳細は以下のURLを参照下さい。
<https://ontimesuite.jp/forms/microsoftdemo/>

設定を変更した場合は保存します



- ✓ 設定を変更した場合は画面の左上の「保存」をクリックします。

設定を変更したので「保存」をクリックします。

- ✓ 再起動を必要とする場合は画面上に再起動を即すメッセージが表示されます。
- ✓ 再起動するタイミングでダッシュボードでアプリケーションステータスを「停止」した後に再度「実行」をクリックして再起動します。
- ✓ 本ハンズオンでは引き続き設定を行うので「保存」をクリックだけして再起動はしません。

グローバル設定/フロントエンド

OnTime 管理センター

ダッシュボード

データベース設定

グローバル設定

バックエンド

フロントエンド

右前表示

ドメイン

ユーザー設定

グループ設定

凡例

日程調整

保存 キャンセル

グローバル設定 フロントエンド

共有権限のオーバーライド設定

常に凡例の表示条件を反映 はい いいえ

常に会議召集の状態を反映 はい いいえ

非表示条件設定

追加 削除

分類	件名	公開方法	秘密度
----	----	------	-----

- ✓ グローバル設定/フロントエンドではOnTimeクライアントのスケジュール表示の以下の設定が出来ます。

凡例の表示条件の反映を「はい」にします。

- ✓ 「空き時間情報の表示」しか権限が無くても凡例の色表示をするかしないかを指定します。

会議召集の状態の反映を「はい」にします。

- ✓ 「空き時間情報の表示」しか権限が無くて会議召集に回答していない場合にグレー表示にするかどうかを指定します。

- ✓ 非表示条件設定
OnTimeメインビューで本人以外は予定を表示しないようにする条件を指定します。画面の通り「分類」「件名」「公開方法」「秘密度」の組み合わせで指定できます。ハンズオンでは設定しません。

設定を変更したので「保存」をクリックします。

グローバル設定/名前書式 1

OnTime 管理センター

名前書式

追加 削除 保存 キャンセル

形式名

First Name Last Name

Last Name, First Name

ユーザー

1行目

2行目

3行目

会議室

1行目

2行目

3行目

備品

1行目

- ✓ OnTimeは1つのサーバーで各種言語に対応しているため、複数のユーザー表記を設定できます。
- ✓ 「グローバル設定/名前書式」で作成した書式は「ユーザー設定」で選択出来るようになります。
- ✓ 「グローバル設定/名前表記」では各言語用に名前書式を作成します。
- ✓ 本ハンズオンでも日本語用に1つ新規作成します。

「追加」をクリックします。

グローバル設定/名前書式 2

OnTime®

ONTIME 管理センター

名前書式

追加 削除

保存 キャンセル

形式名

First Name Last Name

Last Name, First Name

形式名

ユーザー

1行目

2行目

3行目

会議室

1行目

2行目

3行目

備品

1行目

2行目

3行目

表示名

部署

役職

表示名

事業所

部署

表示名

事業所

部署

- ✓ 形式名を例えば「nihongo」として、後ほど作成するユーザー設定で使用します。

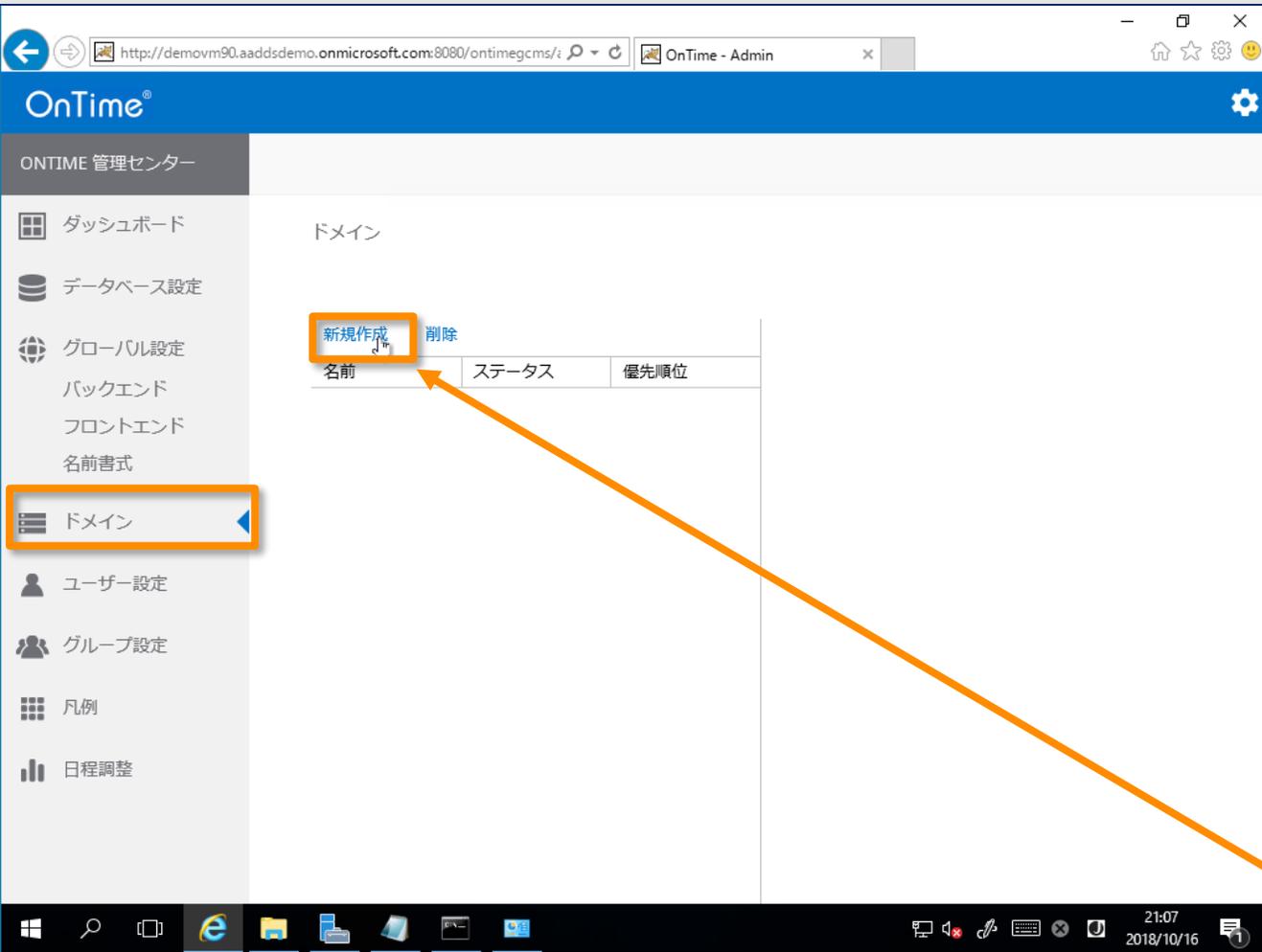
形式名には「nihongo」と入力します。

- ✓ ユーザー、会議室、備品それぞれの表示用にADの属性名を指定します。選択肢には「表示名」、「事業所」、「部署」や「メールアドレス」などがあります。

1行目を「表示名」とします。2, 3行目は選択しなくても構いません。会議室、備品も同じく入力します。

準備出来れば上の方にある「保存」をクリックします。

ドメイン設定（1つめのテナント） 1



- ✓ ドメインではOnTimeと接続するExchange OnlineまたはオンプレのExchangeサーバーを設定します。
- ✓ OnTimeは複数のテナントと接続することも可能です。よってOnTimeが稼働するテナントであるかは必須条件ではありません。
- ✓ Exchangeドメイン(テナント)に接続するために必要なExchange側の設定は以下の通りです。
 - Impersonation User（偽装ユーザー）
 - グループ
 - アクセス権限
 - 詳細は各種マニュアルをご参照ください。
<https://ontimesuite.jp/downloads/downloadms/>

“新規作成”をクリックします。

ドメイン設定（1つめのテナント） 2

OnTime®

ONTIME 管理センター

ダッシュボード

データベース設定

グローバル設定

バックエンド

フロントエンド

名前書き

ドメイン

ユーザー設定

グループ設定

凡例

日程調整

保存 キャンセル

ドメインの編集

ドメイン名

優先順位

同期設定

Impersonation User

パスワード

ドメイン

Exchangeサーバー

EWS URL

Autodiscover URL

Exchange Version

Proxy

ホスト名

ポート番号

- ✓ ドメイン名はOnTime 管理センターで識別しやすい名前をつけます。通常はテナント名です。

“OnTimeDemo”と入力します。優先順位は“1”を入力。

- ✓ 優先順位は複数のテナントを接続する際、場合によっては同じメールアドレスのユーザーがいた場合にどちらのドメインを優先するかを決めます。例えば、オンプレとクラウドのハイブリッド環境の移行時などに有効です。

「ハンズオン情報.txt」の「OnTimeDemo」ドメインの Impersonation User とパスワードをコピーして貼り付けます。

- ✓ EWSやAutodiscoverのURLはOffice 365の場合はデフォルトのままです。オンプレのExchangeの場合はホスト名を変更します。

「Exchange2013または新規」を選択します。

- ✓ Exchangeのバージョンを指定します。

ドメイン設定（1つめのテナント） 3

OnTime Admin

ONTIME 管理センター

ダッシュボード

データベース設定

グローバル設定

バックエンド

フロントエンド

名前書き

ドメイン

ユーザー設定

グループ設定

凡例

日程調整

Autodiscover URL:

Exchange Version:

Proxy

ホスト名:

ポート番号:

拡張設定

接続のトレース: はい | いいえ (トレースを有効にすると同期時間が増大するのでご注意ください)

Auto Discoverの最大数: (リクエスト毎のユーザー...)

起動スレッド数: (起動時のスレッド数)

同期スレッド数: (同期時のスレッド数)

最大イベント件数: (カレンダー毎の最大イベント同期件数)

同期ソース

LDAPを有効にする: はい | いいえ

ユーザー:

会議室:

備品:

- ✓ Proxy設定はExchangeに接続する際に必要とする場合だけ設定します。
- ✓ 拡張設定は本ハンズオンでは変更しません。
- ✓ 同期ソースは「LDAP」か「グループメールアドレス」のどちらかで指定します。
- ✓ 本ハンズオンではグループメールアドレスで指定します。

“LDAPを有効にする”で「いいえ」をクリックします。

- ✓ 次にOnTimeと同期するリストをグループ化したグループのメールアドレスを指定します。
- ✓ OnTimeで表示する、または操作出来るいずれの場合でも含まれている必要があります。

「ハンズオン情報.txt」の「OnTimeDemo」ドメインのユーザー、会議室、備品のそれぞれに指定されているメールアドレスをコピーして貼り付けます。

設定後は上までスクロールで戻り「保存」をクリックします。

ユーザー設定/デフォルト設定 1

OnTime®

ONTIME 管理センター

デフォルト設定

追加 削除 デフォルトの作成 **編集**

設定	Default
言語関連	
言語	English (en)
日時書式	Dansk (da)
表示関連	
分類	
出席可能時間検索の上限人数	200
顔写真の角丸め	50 %
名前書式	
パフォーマンス	
詳細のシンプル表示	いいえ

- ✓ 各ユーザー向けの各種初期設定を設定します。
- ✓ デフォルト以外に特定のユーザーやグループ向けの設定も準備出来ます。
- ✓ 本ハンズオンではデフォルト設定のみ作成します。

「Default」をクリックして選択します。

「編集」をクリックします。

ユーザー設定/デフォルト設定 2

The screenshot shows the OnTime Admin interface with the following settings for the 'Default' user profile:

- 名前: Default
- 言語: 日本語 (ja)
- 日時形式: 日本語, International (ja_jp)
- 出席可能時間検索の上限人数: 200
- 詳細のシンプル表示: はい | いいえ (速度が遅い時)
- 検索結果表示数: 100
- 顔写真の角丸め: 50% ((円は50%です))
- 名前書式: nihongo
- 分類: 顧客, 教育
- 稼働時間: (GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo
- タイムゾーン: (GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo
- スケジュール: (月) 09:00 - 12:00, 13:00 - 17:30; (火) 9:30-12:00,13:00-17:30

言語と日時形式をそれぞれ「日本語」に指定します。

名前書式では先ほど作成した「nihongo」を指定します。

- ✓ 分類はOutlookでいう分類と同じ項目です。本ハンズオンでは「色」ではなく業務内容の分類に近い項目「顧客」「教育」などを作成します。登録は項目名を入力した後に改行キーで登録出来ます。

“顧客”と入力して改行。“教育”と入力して改行。

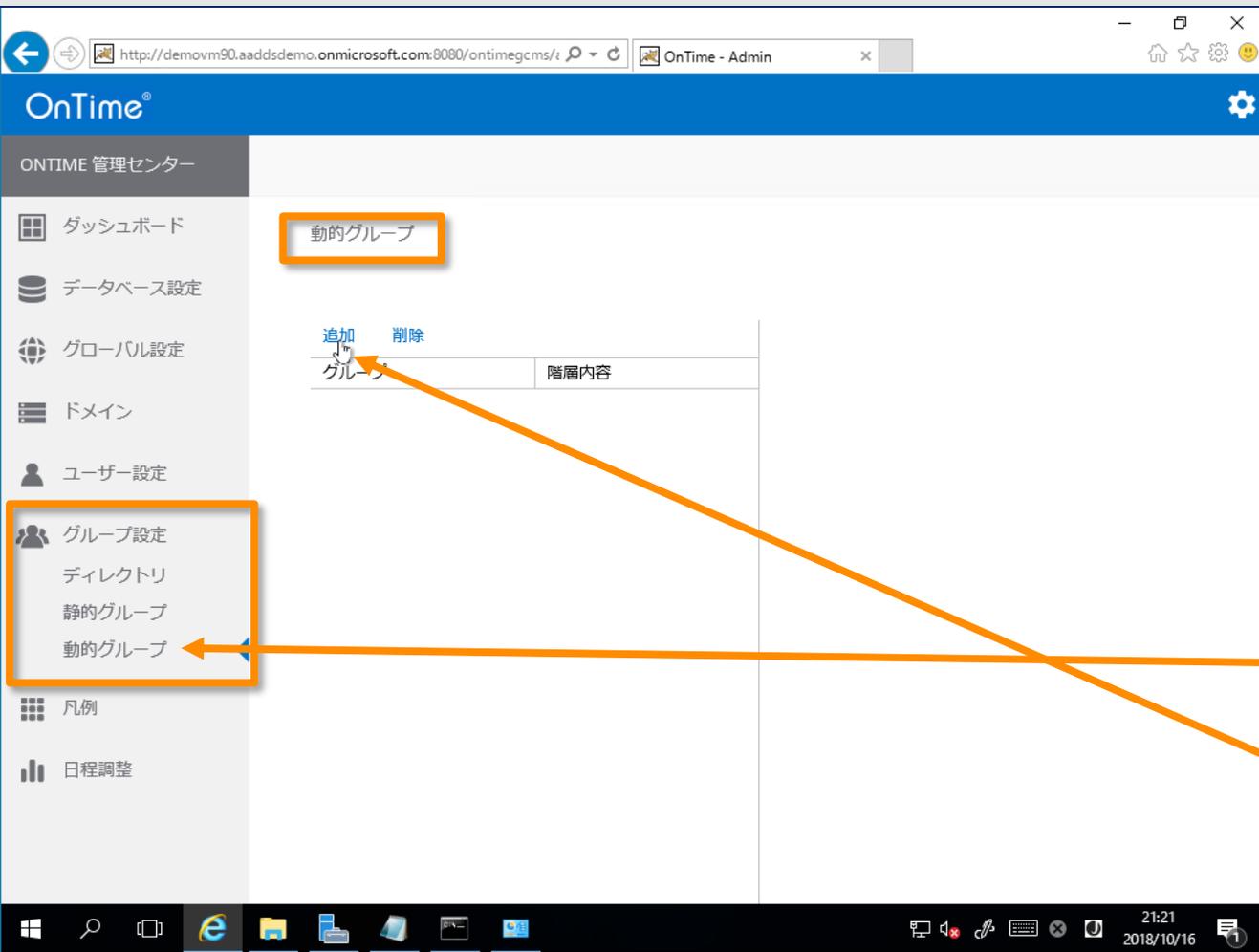
タイムゾーンは日本時間の「GMT+09:00」を選択します。

「ハンズオン情報.txt」の時間 “09:00-12:00,13:00-17:30” をそのままコピーして貼り付けます。

- ✓ 各曜日の稼働時間を背景表示するための時間を指定出来ます。

設定後は上までスクロールで戻り[保存]をクリックします。

グループ設定（表示用グループ）



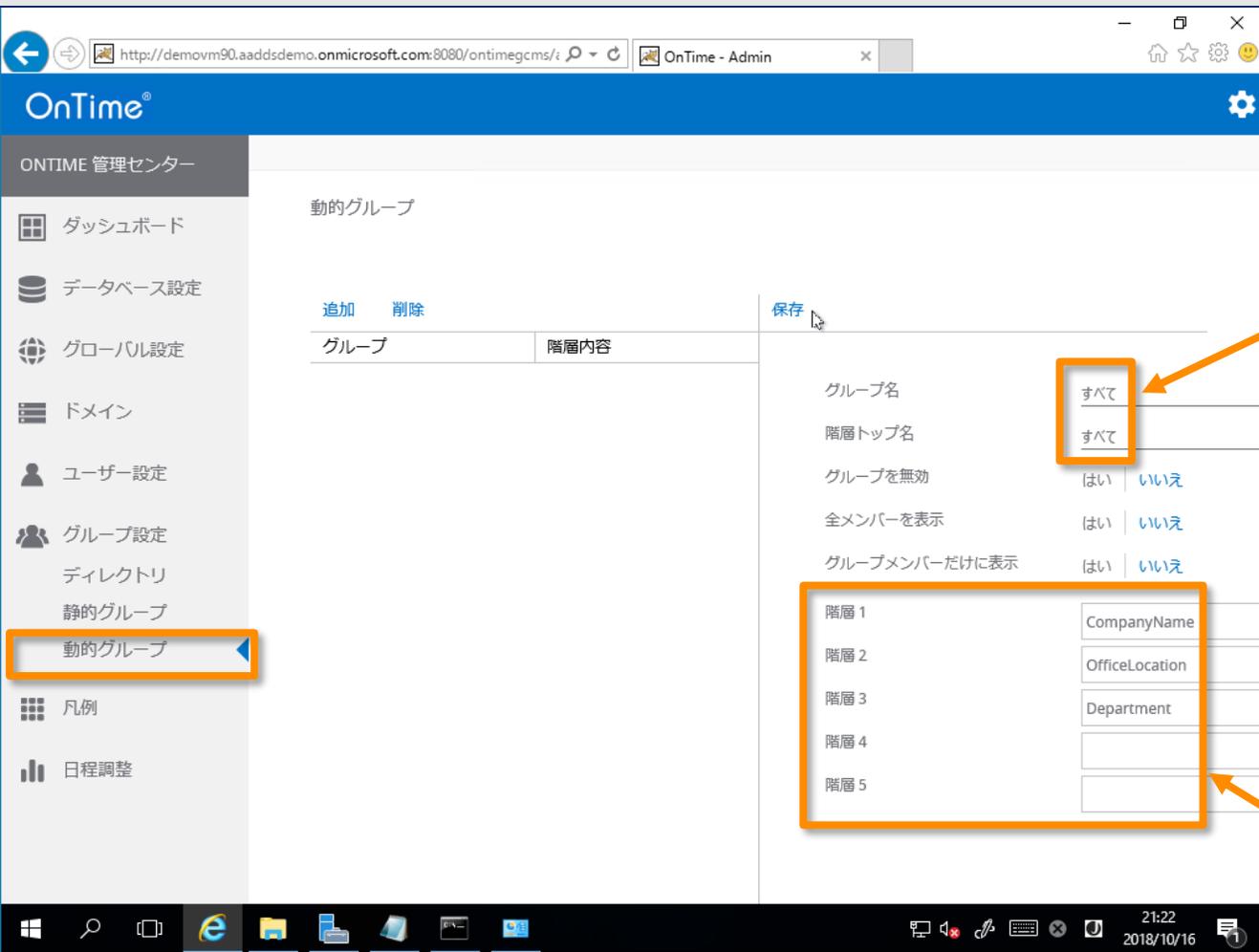
- ✓ OnTimeでは組織アドレス帳のように組織を階層表示してその組織名（グループ名）をクリックすることでメインビューに所属するメンバーのスケジュールを表示することが出来ます。
- ✓ グループ設定には以下の3つの方法があります。
 - ディレクトリ
Active Directory上のグループをそのまま利用します。
 - 静的グループ
Active Directoryのグループのようにユーザーやグループを登録。メンバーリストはマニュアルで並び替えが出来ます。
 - 動的グループ
Active Directory属性の値でグルーピングして組織を表現します

「動的グループ」を選択します。

「追加」をクリックします。

- ✓ 階層化グループについては以下のFAQを参照。
 - <https://www3.ontimesuite.jp/hier-group-mix/>
- ✓ （補足）OnTimeクライアントでユーザーが自分用のグループも作れます。

グループ設定/動的グループで1つ目を作成



- ✓ グループ名は管理センター内での名称です。
- ✓ 階層トップ名は作成される階層ツリーのトップ名を設定します。OnTimeクライアントではツリーの最初にクリックする名称になります。

グループ名に“すべて”、階層トップ名に“すべて”を入力します。

- ✓ “グループを無効”を「はい」にするとこのグループを一時的に使用できなくなります。本ハンズオンでは「いいえ」のままにします。
- ✓ “全メンバーを表示”を「はい」にすると属性設定なしで同期対象の全メンバーが表示されるグループが作成されます。本ハンズオンでは「いいえ」のままにします。
- ✓ “グループメンバーだけに表示”を「はい」にするとOnTimeクライアントにログインしたユーザーが所属するグループだけが表示されます。本ハンズオンでは「いいえ」のままにします。
- ✓ 階層 1 ~ 5 はADの属性を必要な階層数で指定します。

階層 1, 2, 3 をそれぞれ“CompanyName”, “OfficeLocation”, “Department”をそれぞれ選択します。

設定後は上までスクロールで戻り[保存]をクリックします。

グループ設定/動的グループで2つ目を作成

OnTime 管理センター

動的グループ

追加 削除 保存

グループ	階層内容
○ すべて	CompanyName/OfficeLocation

グループ名: 全体

階層トップ名: 全体

グループを無効: はい いいえ

全メンバーを表示: はい いいえ

✓ 全メンバーを表示するグループも作成しておきます。

「追加」をクリックします。

✓ 先ほどのグループと階層トップ名を同じにしても別にしても構いません。本ハンズオンでは別名を設定します。

グループ名に“全体”、階層トップ名に“全体”を入力します。

“全メンバーを表示”で「はい」をクリックします。

✓ 全メンバーを表示で「はい」を指定することでAD属性を選択できる階層レベル項目が非表示になります。

設定後は上までスクロールで戻り[保存]をクリックします。

アプリケーションステータスでOnTimeの再起動

ONTIME 管理センター

ライセンスの編集 更新

ダッシュボード

ライセンス先 AXCEL DEMO LICENSE
期限: 2018/11/15 9:00:00

システム状況

アプリケーションステータス:	RUNNING	実行 停止	最終実行日時
On Time サブスクリプション:	RUNNING	実行 停止	最終実行日時

接続状況

Database Service:	RUNNING	最終実行日時
Exchange Service:	0 / 0 RUNNING	

- ✓ ドメイン情報などを変更した場合はOnTimeサービスの再起動が必要になります。

左タブでダッシュボードに移動します。

「アプリケーションステータス」で停止をクリック。

「アプリケーションステータス」で実行をクリック。

- ✓ 下の囲みのステータスが全てグリーンなのを確認します。

ONTIME 管理センター

ライセンスの編集 更新

ダッシュボード

ライセンス先 AXCEL DEMO LICENSE
期限: 2018/11/15 9:00:00

システム状況

アプリケーションステータス:	STOPPED	実行 停止	最終実行日時
On Time サブスクリプション:	STOPPED	実行 停止	最終実行日時

接続状況

Database Service:	STOPPED	最終実行日時
Exchange Service:	0 / 0 RUNNING	

ONTIME 管理センター

ライセンスの編集 更新

ダッシュボード

ライセンス先 AXCEL DEMO LICENSE
期限: 2018/11/15 9:00:00

システム状況

アプリケーションステータス:	RUNNING	実行 停止	最終実行日時
On Time サブスクリプション:	RUNNING	実行 停止	最終実行日時

接続状況

Database Service:	RUNNING	最終実行日時
Exchange Service:	1 / 1 RUNNING	

続いてスケジュールで初回同期の実行

凡例	スケジュール			
日程調整	Directory Sync:	NOT_STARTED	実行	最終実行日時
	OnTime User Sync:	NOT_STARTED	実行	最終実行日時
	Photo Sync:	NOT_STARTED	実行	最終実行日時
	Permission Sync:	NOT_STARTED	実行	最終実行日時
	Event Sync:	NOT_STARTED	実行	最終実行日時

- ✓ 続いて初回のシンク(同期)を行います。
- ✓ OnTimeは通常はリアルタイムにシンクしますが起動時は手動で行います。

ダッシュボードを下にスクロールしてスケジュールに移動します。Directory Syncを実行します。

- ✓ STOPPEDで完了したことを確認します。

続いてPhoto Sync、Permission Sync、Event Syncを実行します。この3つは同時に実行しても構いません。

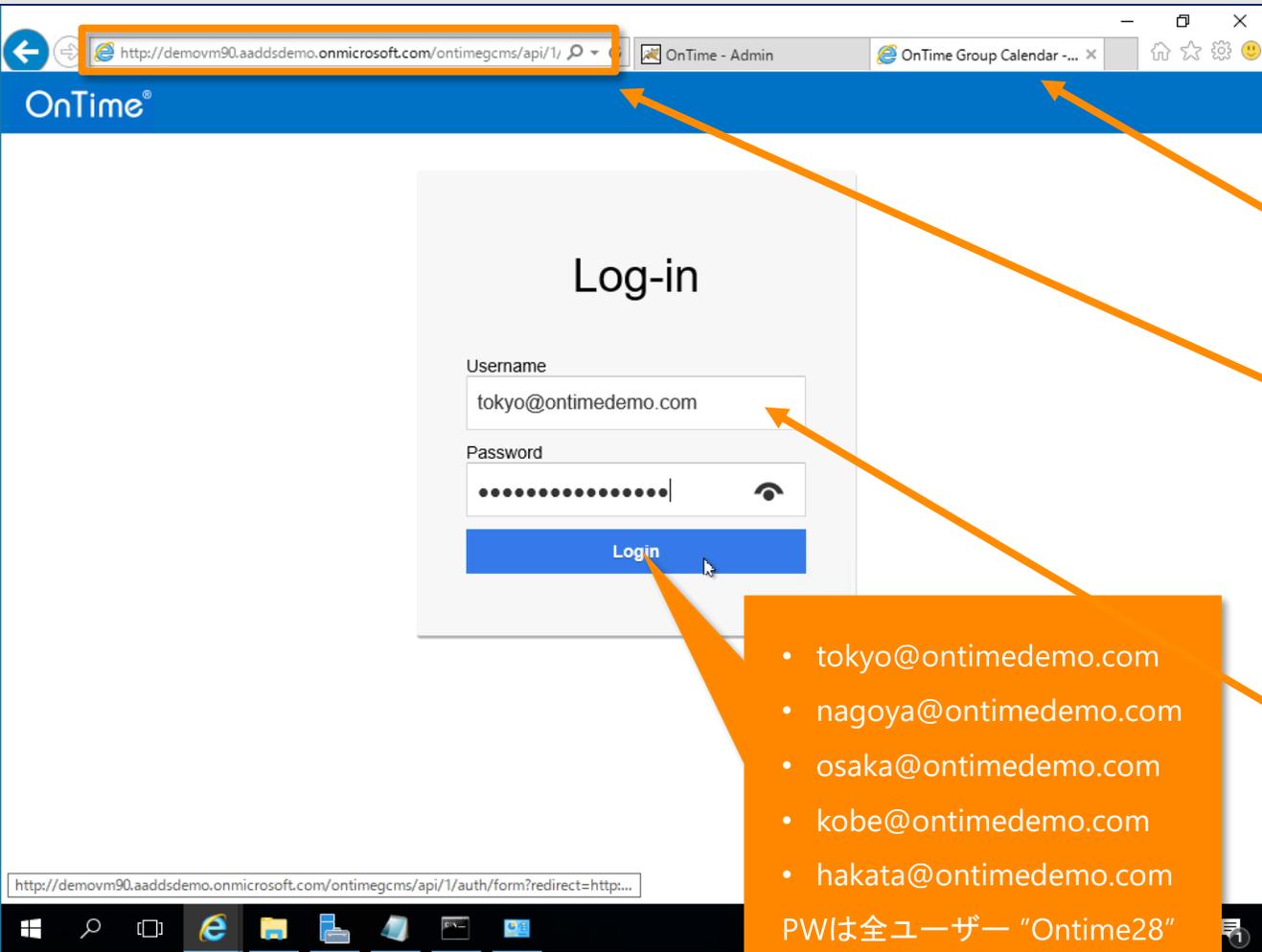
- ✓ 全てのSyncがSTOPPEDになるのを確認します。

凡例	スケジュール			
日程調整	Directory Sync:	STOPPED	実行	最終実行日時
	OnTime User Sync:	STOPPED	実行	最終実行日時
	Photo Sync:	NOT_STARTED	実行	最終実行日時
	Permission Sync:	NOT_STARTED	実行	最終実行日時
	Event Sync:	NOT_STARTED	実行	最終実行日時

凡例	スケジュール			
日程調整	Directory Sync:	STOPPED	実行	最終実行日時
	OnTime User Sync:	STOPPED	実行	最終実行日時
	Photo Sync:	RUNNING	実行	最終実行日時
	Permission Sync:	RUNNING	実行	最終実行日時
	Event Sync:	RUNNING	実行	最終実行日時

OnTimeクライアントを起動します

OnTimeクライアントを起動して動作確認します



- ✓ これまでの設定で正常に動作しているかをOnTimeクライアントを起動して確認します。

「IE」でタブを追加で1つ開きます。

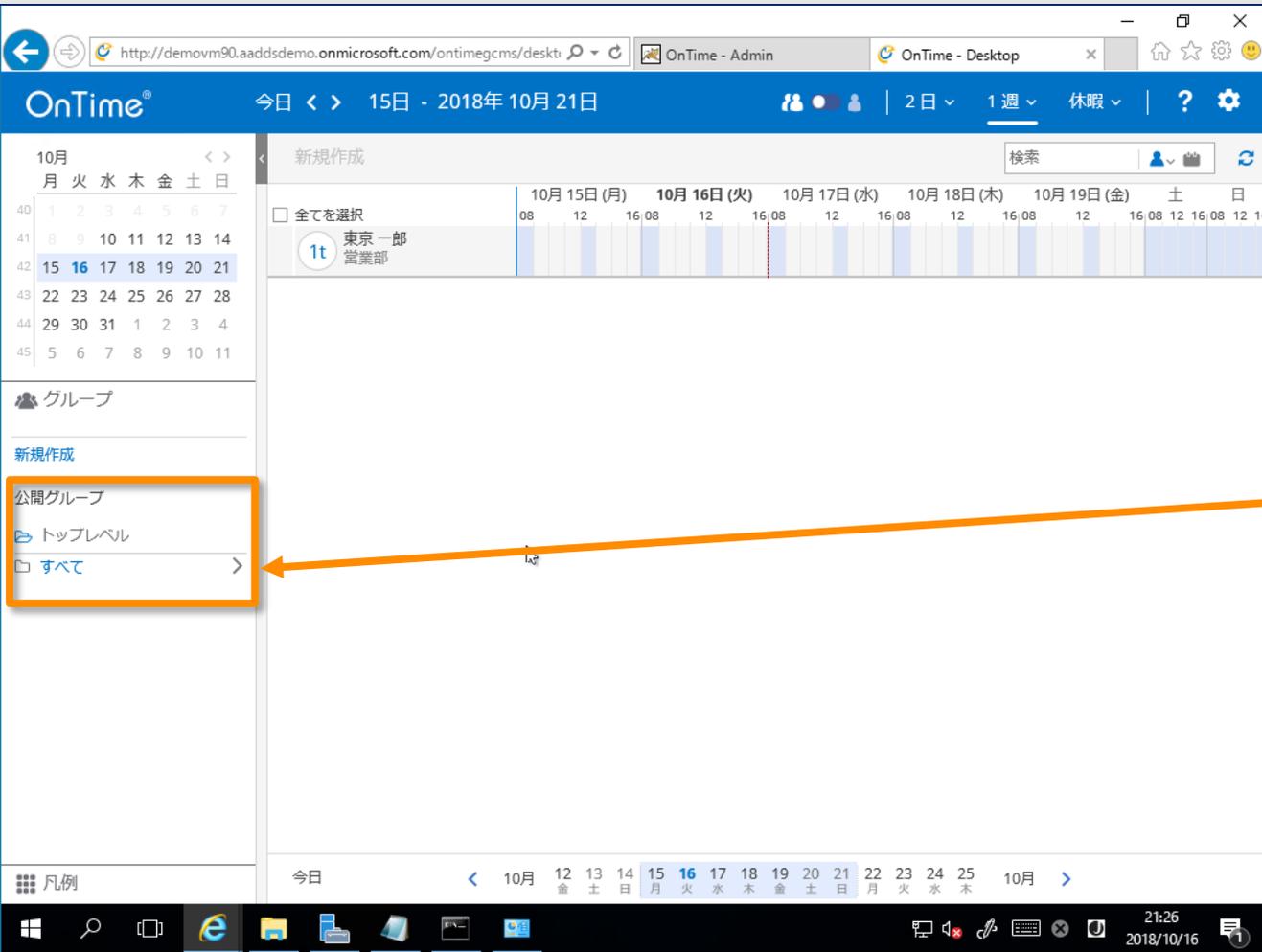
本ハンズオンでは“ハンズオン情報.txt”に記載のURLのホスト名の99の部分だけVMの番号に変更して開いてください。
<http://demovm99.aaddsdemo.onmicrosoft.com/ontimegcms/desktop>

- ✓ フォーム認証モードなので直接ログインユーザーとパスワードを入力します。

ログイン名とパスワードは左記の内容を利用します。

- ✓ ログインユーザーは以下のURLに記載のExchangeのメールアドレスを指定できます。
 - <https://ontimesuite.jp/forms/microsoftdemo/>
- ✓ パスワードもExchangeのパスワードを使用します。

OnTimeクライアントを開いた初期画面



- ✓ 無事にログインし画面が表示されることを確認します。
- ✓ デフォルト設定を行っているので表示が日本語になっています。

公開グループから先ほど作成した動的グループのトップレベル名の「すべて」をクリックします。

OnTimeクライアントで階層グループを確認します

The screenshot shows the OnTime Group Calendar interface. The top navigation bar includes the date '2018年10月21日' and user information. The main area displays a calendar grid for October 15-19, 2018. On the left, there is a sidebar with a '公開グループ' (Public Groups) section. The '営業部' (Sales Department) group is selected and highlighted. An orange arrow points from a text box on the right to this group.

- ✓ 組織階層をクリックしていくことで自動生成された組織を下っていきます。

組織名を右にユーザー一覧が表示されるまでクリックしていきます。

- ✓ グループを選択してメインビューにメンバー一覧が表示されることを確認します。

会議を作成してみます

OnTime® 今日 <> 15日 - 2018年10月21日

新規作成 | 新規メール | 選択の表示 | 選択の解除

検索

5/5 優先 (5/ビュー) | 所要時間 30分

スケジュールアシスタント

10月15日(月) 10月16日(火) 10月17日(水) 10月18日(木) 10月19日(金)

14:00 16:00 (2時間 0分)

グループ

全体

新規作成

公開グループ

トップレベル

すべて

全体

日程調整

凡例

公開グループの「トップレベル」に戻ります。
次に公開グループを「全体」に切り替えます。

メンバー名の左空白をクリックすることでチェックマークを付けることができます。

- ✓ チェックをつけるとタイムスケールで以下の3種類の色分けがされます。
 - グリーン 全員が参加できる時間
 - レッド 誰かが参加できない時間
 - ホワイト 空いているが所要時間を満たさない時間

いずれかの参加者の行で希望日時でマウスをドラッグします。

- ✓ 次のページのような画面が開きます。

会議イベントの作成編集画面が開きます

OnTime® 今日 < > 15日 - 2018年 10月 21日

送信 | 重複予定の確認 | 出席可能時間の検索 | キャンセル

件名: 会議を行いましょ

場所: [] 会議室の追加

必須: 神戸 四郎 × 大阪 三郎 × 大阪会議 2 × プロジェクタ 3 × 東京 一郎 ×

任意: []

開始: 2018年10月18日 (木) 14:00 [] 終日

終了: 2018年10月18日 (木) 16:00 2時間

公開方法: 予定あり [] 非公開

分類: []

作成先: 東京 一郎 ×

詳細: []

- ✓ この画面からExchangeの予定表イベントを作成できます。
- ✓ データストアがExchangeなので項目もちろん同じになります。

適宜加筆修正した後に「送信」をクリックします。

数秒お待ち頂き、右上の検索窓の右のリフレッシュアイコンをクリックします。

- ✓ OnTimeのメインビューで会議イベントが表示されることを確認ください。

(お時間がある人へ) OnTimeサーバーのその他の設定

凡例設定画面

麻痺	表示	#	優先順位
<input checked="" type="radio"/> いいえ	表示例	1	1
<input type="radio"/> いいえ	表示例	1	1
<input type="radio"/> はい	表示例	1	1
<input type="radio"/> いいえ	表示例	3	1
<input type="radio"/> いいえ	表示例	3	1
<input type="radio"/> いいえ	表示例	4	1
<input type="radio"/> いいえ	表示例	6	1
<input type="radio"/> いいえ	表示例	7	1
<input type="radio"/> いいえ	表示例		

- ✓ OnTimeの凡例とはOnTimeクライアントで予定を表示する際の色分けの設定となります。
- ✓ Outlookの分類とは若干違い、件名や公開方法なども条件にできます。
- ✓ ユーザーごとの設定ではなくOnTime全体での設定となりますので、どなたの予定であっても色を見るだけで内容の識別が可能となります。
- ✓ いずれかの凡例設定を選択し「編集」をクリックします。本ハンズオンでは一番上の赤色の設定を選択します。

一番上の赤背景の●の部分をクリックします。

「編集」をクリックします。

凡例の設定画面に条件などを付与します

✓ 「凡例名」は管理センターでの識別用です。

条件は“分類”、“件名”と“公開情報”をAND条件かOR条件で設定します。

件名は部分一致の文字列を入力します。

✓ 色指定を変更できます。

✓ 「休暇表示に含む」は休暇専用の長期予定を見るビューに表示させるかどうかを指定します。

凡例の設定画面で日本語情報も付与します

OnTime® 管理センター

ダッシュボード
データベース設定
グローバル設定
ドメイン
ユーザー設定
グループ設定
ディレクトリ
静的グループ
動的グループ
凡例
日程調整

表示

背景色 表示例

文字色 >

休暇表示に含む はい | いいえ

優先順位

優先順位

並び順

言語

Dansk (da) _____

Deutsch (de) _____

English (en) _____

Français (fr) _____

Italiano (it) _____

日本語 (ja)

Norsk (no) _____

Svenska (se) _____

下にスクロールします。

- ✓ 優先順位は凡例条件が競合した場合にどちらの色を表示させるかを指定します。数字が小さいと強くなります。
- ✓ 並び順はクライアント画面左下の「凡例一覧」の並び順を指定します。
- ✓ 言語毎に「凡例一覧」に表示する際のタイトルを入力します。入力されていない場合この設定の「凡例名」が使用されます。

「顧客」と入力します。

設定後は上までスクロールで戻り[保存]をクリックします。

ドメイン設定（2つめのテナント）

OnTime 管理センター

ダッシュボード
データベース設定
グローバル設定
バックエンド
フロントエンド
名前書式

ドメイン

ユーザー設定
グループ設定
凡例
日程調整

保存 キャンセル

ドメインの編集

ドメイン名: OnTimeBiz

優先順位: 2

同期設定

Impersonation User: otsyncdemo@ontimebiz.onmicrosoft.com

パスワード:

ドメイン: (Office)

Exchangeサーバー

EWS URL: https://outlook.office365.com/EWS/Exchange.asmx

Autodiscover URL: https://outlook.office365.com/autodiscover/autodiscover.svc

Exchange Version: Exchange2013 または新規

Proxy

ホスト名: _____

ポート番号: _____

- ✓ お時間のある人は二つ目のOffice 365テナントも追加します。

ドメイン名は"OnTimeBiz"、優先順位は"2"とします。

「ハンズオン情報.txt」の後半に1つめのテナントと同様に Impersonation Userと同期グループアドレスをご準備しています。適宜コピーしてご利用下さい。

設定後は上までスクロールで戻り「保存」をクリックします。

ドメインを追加したのでダッシュボードに移動して以下の手順を実行して下さい。

1. 「アプリケーションステータス」で停止
2. 「アプリケーションステータス」で実行
3. 「Directory Sync」で実行、STOPPEDを確認
4. 「Photo Sync」、「Permission Sync」、「Event Sync」をそれぞれ同時実行

日程調整オプションの設定

- ✓ 日程調整オプションは複数の会議候補日時を参加予定者に送信し多数決を取って最終的に会議イベントを送信出来る有料オプションです。
- ✓ 詳細は以下のURLを参照下さい。
 - <https://ontimesuite.jp/forms/pollarityms/>
- ✓ ご利用になるには有効なアクティベーションキーを登録後に機能を有効にする必要があります。

日程調整を開き「日程調整を有効にする」で「はい」をクリックします。

- ✓ 設定画面ではリンク先に設定やロゴの登録など指定できるようになっています。

設定後は上までスクロールで戻り「保存」をクリックします。

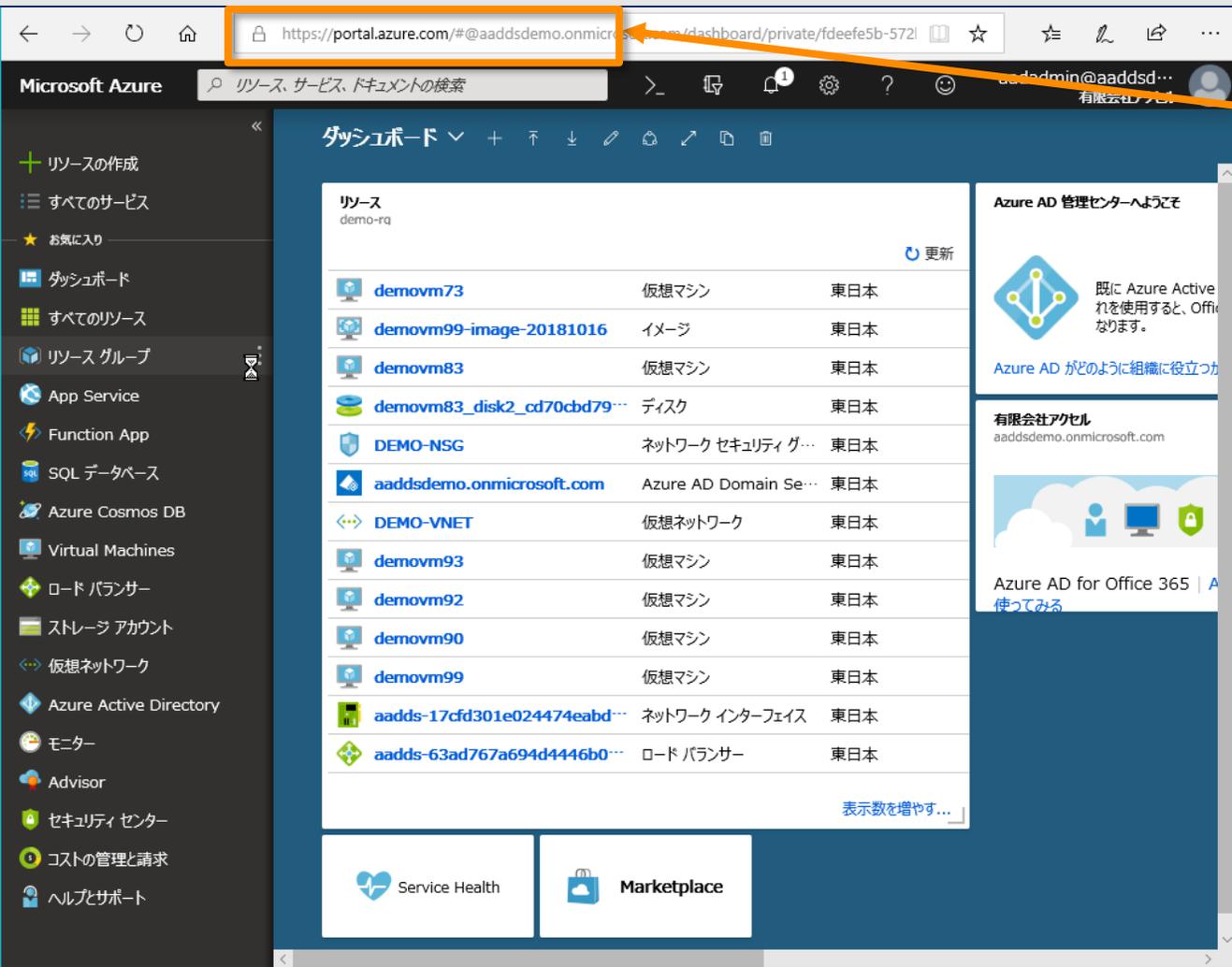
ドメインを追加したのでダッシュボードに移動して前頁と同じく

1. 「アプリケーションステータス」で停止
2. 「アプリケーションステータス」で実行
3. 各シンク処理を実行してください。

(付録)

「Azure AD Domain Services」の導入準備

ご自身のAzure Resource Managerに接続



The screenshot shows the Azure portal dashboard for a user named 'demo-rq'. The browser address bar is highlighted with an orange box and contains the URL: `https://portal.azure.com/#@aaddsdemo.onmicrosoft.com/dashboard/private/fdeefe5b-5721`. An orange arrow points from this box to a text box on the right. The dashboard itself features a left-hand navigation pane with various service categories like 'リソースの作成', 'すべてのサービス', and 'リソース グループ'. The main area displays a table of resources:

リソース	種類	地域
demovm73	仮想マシン	東日本
demovm99-image-20181016	イメージ	東日本
demovm83	仮想マシン	東日本
demovm83_disk2_cd70cbd79...	ディスク	東日本
DEMO-NSG	ネットワーク セキュリティ グループ	東日本
aaddsdemo.onmicrosoft.com	Azure AD Domain センター	東日本
DEMO-VNET	仮想ネットワーク	東日本
demovm93	仮想マシン	東日本
demovm92	仮想マシン	東日本
demovm90	仮想マシン	東日本
demovm99	仮想マシン	東日本
aadds-17cfd301e024474eabd...	ネットワーク インターフェイス	東日本
aadds-63ad767a694d4446b0...	ロード バランサー	東日本

At the bottom of the resource list, there is a link: `表示数を増やす...`. The right-hand side of the dashboard contains several informational panels, including 'Azure AD 管理センターへようこそ' and '有限会社アキセル'.

`https://portal.azure.com` にログインします。

「リソースグループ」を準備します

The screenshot shows the Azure portal interface for creating a new Resource Group. The left-hand navigation pane has 'リソースグループ' (Resource Groups) selected. The main content area displays the 'リソースグループ' creation wizard. The form includes the following fields:

- リソースグループ名** (Resource Group Name): demo-rg
- サブスクリプション** (Subscription): 従量課金 (Pay-as-you-go)
- リソースグループの場所** (Resource Group Location): 東日本 (East Japan)

A blue '作成' (Create) button is located at the bottom right of the form.

✓ 既存のリソースグループがあれば指定します。

✓ 未作成であれば新規で作成します。

左サイドメニューから「リソースグループ」を選択します。
画面の「+ 追加」をクリックします。

✓ 各項目を入力します。本ハンズオンでは以下の様に指定及び選択しています。

1. リソースグループ名
「demo-rg」
2. サブスクリプション
お持ちのサブスクリプション、「従量課金」
3. リソースグループの場所
通常は「東日本」か「西日本」

概要を確認したら「OK」をクリックします。

リソースグループの確認

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

ホーム > リソース グループ

リソース グループ

追加 列の編集 更新 タグの割り当て

サブスクリプション: 従量課金

名前でフィルター... すべての場所 すべてのタグ グループ化なし

1 項目

名前	サブスクリプション	場所	
demo-rg	従量課金	東日本	...

✓ リソースグループ一覧で確認します。

左サイドメニューから「リソースグループ」を選択します。

次に「仮想ネットワーク」を準備します

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

ホーム > リソース グループ

リソース グループ

+ 追加 列の編集 更新 タグの割り当て

サブスクリプション: 従量課金

名前でフィルター... すべての場所 すべてのタグ グループ化なし

1 項目

名前	サブスクリプション	場所	
demo-rg	従量課金	東日本	...

- ✓ リソースグループ一覧で作成したリソースグループを確認します。

画面の「+ 追加」をクリックします。

「仮想ネットワーク」の項目を入力します

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索

ホーム > リソースグループ > demo-rg > Everything > 仮想ネットワーク > 仮想ネットワークの作成

仮想ネットワークの作成

* 名前
DEMOVM-VNET ✓

* アドレス空間
10.3.0.0/16 ✓
10.3.0.0 - 10.3.255.255 (65536 アドレス)

従量課金

* リソースグループ
demo-rg

新規作成

* 場所
東日本

サブネット

* 名前
DEMOVM-SN ✓

* アドレス範囲
10.3.1.0/24 ✓
10.3.1.0 - 10.3.1.255 (256 アドレス)

DDoS 保護
 Basic Standard

サービス エンドポイント
 無効 有効

作成 Automation オプション

- ✓ 各項目を入力します。本ハンズオンでは以下の様に指定及び選択しています。

仮想ネットワーク名前
「DEMO-VM」
アドレス空間
「10.3.0.0/16」

サブネット名前
「DEMO-SN」
アドレス空間
「10.3.1.0/24」

概要を確認したら「OK」をクリックします。

(付録) 「OnTime」の導入作業の補足説明

(参考)SQL Serverをインストールするドライブの変更

The screenshot shows a Windows File Explorer window titled 'scripts' with the following files:

名前	更新日時	種類	サイズ
check_for_admin_rights.cmd	2018/10/16 11:55	Windows コマンドスクリプト	1 KB
ConfigurationFile.ini	2018/10/16 12:22	構成設定	13 KB
enable_tcpip_connection.ps1	20	開く(O)	2 KB
install_express_db.cmd	20	印刷(P)	1 KB
setup_express_db.cmd	20	編集(E)	1 KB

The context menu for 'ConfigurationFile.ini' is open, showing options like '開く(O)', '印刷(P)', '編集(E)', 'Windows Defender でスキャンする...', 'メモ帳', 'ワードパッド', etc. The 'メモ帳' option is selected.

The text editor window shows the following content:

```
; Specify the root installation directory for shared components. This directory must be specified for the SQL Server Enterprise Edition.
INSTALLSHAREDDIR="C:\Program Files\Microsoft SQL Server"
; Specify the root installation directory for the WOW64 shared components. This directory must be specified for the SQL Server Enterprise Edition.
INSTALLSHAREDWOWDIR="C:\Program Files (x86)\Microsoft SQL Server"
; Specify the Instance ID for the SQL Server features you have specified. SQL Server Enterprise Edition requires the instance ID.
INSTANCEID="SQLEXPRESS"
; TelemetryUserNameConfigDescription
SQLTELSVCACCT="NT Service\SQLTELEMETRY\SQLEXPRESS"
; TelemetryStartupConfigDescription
SQLTELSVCSTARTUPTYPE="Automatic"
; Specify the installation directory.
INSTANCEDIR="C:\Program Files\Microsoft SQL Server"
```

- ✓ ScriptフォルダにはSQL Serverをサイレントインストール出来るように各種cmdファイル、sqlファイルが準備されています。
- ✓ インストール先がAzure VMの場合はデータディスクはF:ドライブ以降を推薦されていますのでインストール先を変更する場合はパラメーターが記載されているコンフィギュレーションファイルの内容を変更する必要があります。
- ✓ ハンズオンと同様にインストールフォルダを変更したい場合はコンフィギュレーションファイルを変更してください。
- ✓ デモ環境ではF:ドライブに変更しています。
- ✓ scriptフォルダを開きます。
- ✓ "ConfigurationFile.ini"ファイルをメモ帳などのテキストエディタで開きます。
- ✓ エディタの検索機能を使用して3つの"C:"の箇所を"F:"に指定して変更します。

(参考)OnTimeがサポートする認証の種類

Authentication

Authentication Service の URL

Outlook Authentication URL

Token期限

- Form Based - Pass-through
- Form Based - Pass-through
- HTTP Domain (SSO)
- HTTPS Domain (SSO)
- HTTPS ADFS (SSO)
- HTTP Mail Auth
- HTTPS Mail Auth
- カスタム

- ✓ OnTimeは各種認証方式を選択出来ます。
 - ✓ マルチドメイン(マルチテナント)での運用の場合は Active Directory Federation Servicesを利用できないためメールによるワンタイム認証を推奨します。
1. フォーム認証
 - 従来からのフォーム画面上でログイン名とパスワードを入力します
 2. WEB認証 (HTTP/HTTPS)
 - Active Directory等にログインしたデバイスからのブラウザ接続によるSSO
 3. Active Directory Federation Servicesによる組織認証 (HTTPSのみ)
 - Active Directory Federation Servicesの組織認証ヘリダイレクトによって認証するSSO
 4. メールによるワンタイム認証 (HTTP/HTTPS)
 - 指定したメールアドレスに認証用URLを送りURLにアクセス頂く事で認証しTokenを付与する認証方式
 5. カスタム
 - その他についてはご相談下さい

さいごに

本日はありがとうございました。

- ✓ 本日のAzure VMは2018年11月15日9:00までご利用いただけるようにします。
- ✓ お手元のSurfaceの“demovm99.rdp”はお持ち帰りください。
- ✓ Tech Summit 2018でブースを出しております。
ぜひ「OnTime Group Calendar Direct Shop」ブースにお立ち寄りください。
- ✓ OnTimeについてのお問い合わせはブースにいますので講師までご連絡ください。

ご参考リンク

- ✓ Azure Active Directory Domain Services の概要
 - <https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/active-directory-domain-services/active-directory-ds-overview>
- ✓ ApplicationImpersonation (偽装ユーザーについて)
 - <https://docs.microsoft.com/ja-jp/exchange/client-developer/exchange-web-services/how-to-configure-impersonation>
- ✓ OnTime Group Calendar for Microsoft の概要
 - <https://ontimesuite.jp/forms/>
- ✓ OnTime for Microsoft デモサイト
 - <https://ontimesuite.jp/forms/microsoftdemo/>

参考情報

✓ 「Azure AD DSドメインに仮想マシンを参加させる (トレノケ雲の会 mod1)」

- <https://www.slideshare.net/TrainocateJ/azure-ad-ds>
- トレノケート株式会社 横山 哲也 氏
2003年～ Microsoft MVP



✓ 「ひと目でわかるAzure 基本から学ぶサーバー&ネットワーク構築 改訂新版」

- 日経BP社
- ISBN-10: 482229899X
- ISBN-13: 978-4822298999
- トレノケート株式会社 横山 哲也 氏
2003年～ Microsoft MVP



